

真福寺藏新樂府注 総索引 (一)

— 本文篇 — 自立語索引篇 —

来 田 隆
福岡教育大学国語史研究会

本稿は、真福寺藏新樂府注正嘉元年（一二五七）写本（一冊）の総索引であつて、本文篇・自立語索引篇・付屬語索引篇のうち、本文篇と自立語索引篇とを収める。

鎌倉時代語資料としての本書の言語の性格については、小林芳規先生の御論があり、[↑]本稿の筆者（来田）も本誌第一輯で論じたことがある。[↑]

本書の全文は、太田次男氏の翻印によつて紹介されている（「真福寺藏新樂府注と鎌倉時代の文集受容について」— 付・新樂府注翻印 —）。「斯道文庫論集」第七輯 昭和三十二年）が、本稿では、未だ原本調査の機会に恵まれていないので、すべて、太田氏の翻印された本文（以下底本と呼ぶ）に従つて

いる。

○ 本文篇について

一、片仮名宣命体。句読点は底本のままとした。

二、漢字の字体は現行の正字体に統一した。但し、「躰」「万」については底本のままとし、字跡未

詳の場合も底本のままとした。誤字・宛字と考へ

られる場合は、その該当文字の左傍に正しかるべき字を（ ）に入札て示した。

一、片仮名字体も現行の字体に統一したが、「ㇿ」（キ）、「ㇾ」（ロ）は底本のままとした。「レ」は「レ」の仮名と紛れないように、「ㇿ」の字体とした。

一、底本では、文字の痕跡などにより推定の可能な

- 場合に、該当文字を確實度から（ハ）と（ヘ）とを以て、二類に区別して示してあるが、本文篇では、それを区別せず、ともに「ハ」を以て示した。
- 一、本文篇の頁数・行数は底本のそれを以て示した。底本は上下二段組みになつてゐるので、下段の場合の行数には○で囲んで、上段の行数と区別した。
- 二、本文篇の注記は、太田氏の細印注記（漢字片仮名交り文）と、主として語詞の認定に係める事柄や、新樂府の原文を必要に応じて掲げた。参考にした白氏文集訓点資料は次の通りである。
- 神田本白氏文集卷三・卷四 天永四年点（古典保存会複製本に依る。所在は複製本の頁数で示す。）
- 大東急記念文庫蔵文集卷四嘉禎四年点（小林芳規先生御移点本に依る。）
- 自立語索引篇について
- 一、自立語索引は、本文篇に基くものである。
- 二、新樂府原典の語句を引用した部分には索引には採らず、一括して自立語索引の末尾に掲げた。本文に關係の無い書き込みの部分（和歌一首）は索引に採り、その所在に「ハ」を付して、本文の語句と区別した。

- 一、見出し語は平仮名で表記し、歴史的仮名遣（字音仮名遣）により、排列は五十音順とした。
- 二、見出し語には、意味識別の便宜上、漢字を宛てた。

一、活用語の場合は、下接の付属語・補助用言・形式体言を、補助用言の場合は、上接語をも併せて掲げた。

この絶索引の作成に従つた福岡教育大学国語史研究会のメンバーは、次の通りである。

草野十四郎 熊牛童夫 佐々木智子
 佐本和子 多久桂一 深山裕子
 藤井須磨子 松並潤子 三ヶ島正人
 水城秀美 吉田満子代 村上啓子
 来田 隆

注「ハ」の中世片仮名文の国語史的研究（ハ）
 島大学文学部紀要「持輜号 昭和四十六年」
 ハ2「国語史料としての真福寺蔵新樂府注正
 嘉元年書写本」

本文篇

493 新樂府注上

- 2 玄宗 七 肅宗 八 代宗 九 德宗 十 順宗 十一 憲宗
- 3 七德舞 武者ニ美シ、徳ノ之七候ヲ唐ニハ舞候ヲ七徳
- 4 ノ之舞トハ申候也
- 5 此段ノ意ハ、唐ノ太宗ト申ケル御門、政直スナラニ
- 6 世ヲ治給亭ヲホメテ候也。此御門、或ハ
- 7 御方ノ軍之庭ニ命ヲ滅或ハ貳心無ク仕ヘ
- 8 進セテ、斯世ヲ背キ候ケル人ミノ骸ハネナムト人
- 9 自野山ニ散テ候ケルヲ、御倉ヨリ絹金ナント
- 10 下ヲ下基ヲ作埋給ケリ。埋ミナムトシ
- 11 テ候者ニハ様シノ物タヒ候ケリ。又口口口レカタナ
- 12 クテ子ナムトヲウリテ哀候ケルヲハ、金ヲ下レシ
- 13 見ル子哀立張蓮哀聞辰日哭申候ハ、
- 14 人、世ノ中ヲ墓テ御政ヲ治テ候ケレハ、又無キ
- ① 物ニ思シ召シケルレ程ニ、此人己ニ病ニ臥候ニケリ。
- ② 其比、御門御夢ニ、暇口給リテマカリ候ナムト御

- ③ 覽シテ、我鏡失ヌトテ竟夜立明サセ給ケリ。張
- ④ 瑾ト申人失ハ給ケレハ、哭哀給ケレハ、人々
- ⑤ 候、今日ハ辰ノ日ニ相宛タレリ、故サラ哀事可
- ⑥ 忘日テ候也ト申ケレトモ、御門ノ敷、更ニ不止候
- ⑦ ケリ。年夕ケ又ル後ハ、祖ヲ失ハル人モ、ウキ世
- ⑧ ノ學ナレハナムト思ヘテ、サシモ歎又人モ
- 候ヲ、人ヲ惜セ給心懲ナレリケレハ、人目ニモ
- ⑨ 不憚立哀給ケルニ候。三斗之后候ケルヲモ、何ト
- ⑩ ナハク宮中ニ込居テ苦事有、各心
- ⑪ ニ思候ヘシトテ三斗餘人ヲハ出給ニケリ。此
- ⑫ ヲモ人ノ痛息人思」送サセムカ爲セケル
- ⑬ ニ候。重名候テ命ヲ可召着、三斗百九十人候ケル
- ⑭ ヲ、今年ハ冬ニ成ヌレハ獄ヨリ皆可出、秋可行事
- ⑮ ナレハ、明年秋必ス可テ、悉放セ給ニケ
- リ。サテ、其秋ニ成候ケレハ、サナカラ獄ニ返リ
- ⑯ 入候ニケリ。感應重ク御在ケレハ、逃ケ不、失返レ

494 詣リテ候ケルニ候。

(1) 原文は「**翫**」。「**翫カハ子**」(観智院本名義抄
公下本6) (2) 「**ミ**」ハ原文「**ミ**」ノ如ク見ユ。イマ
「**ミ**」ヨ充ツ。(3) 魏徴**夢見**子夜立**張**護哀間

辰、**日** **野** (文集卷三天永四年点5) (4) モト「見

テ」。テ「消シ」、「シカハ」ニ改ム。(5) 「**間**」ノ
右下仮名ヲ消シ、左下ニ「**カハ**」ヲ加フ。イマ右下

ニ移ス。(6) モト「**申ケル**」。「**ル**」ノ上ニ壺ネテ「**候**
ハ」ニ改ム。(7) 「**鑿**」カ「**ミル**」(観名僧上ハ
声点ママ) (8) モト「**充タリ**」。「**リ**」ヲ「**リ**」ニ改ム。

(9) 「**准**」ナ「**スラフ**」ノ誤写ナラン。「**准**」ナ「**スラフ**」(観
名法上46) (10) モト「**可**」。「**テ**」ヲ消シ「**ト**」ニ改

ム。(11) 「**放**」ハ「**ツ**」ユルス(観名僧中引) (12)
「**ノ**」上「**濃墨筆**」ニテ更ニア「**ヲ**」ヲ書加フ。

494 法曲 賢コ、御門、世中ノ静ナルヘキ事、舞歌

樂ナムト二作テ、舞歌ト初給ヲ、法曲トハ
申ナリ。

5 此段之意ハ、世々、御門、國司、治、舞樂ヲ既給ル
6 程、世々、静ケルヲ、唐、玄字ト申御門、カ、
アル樂ト云、胡、國、申遠キ井中ヨリ出キテ候

494 ①ケル」舞歌ヲ既給ケ「**リ**」。□□人城コノ風ヲ棄テ、
② 放テ事熊ヲ用ラル、「**何**」□□申ケル程ニ、明
③ クル年國モ亂レ、御門モ入込モリ給ケリ。此段ノ
④ 意ハ、古ヲ新メテ、**用**、**近**、**棄**、**遠**ヲ既給
⑤ 事ヲ「**謗**」リテ候也。

(1) 迄ノ声点不鮮明。(2) 京「**字**」ニ作ル。文中コ
ノ例多ク、マ、濃墨筆ニテ「**京**」ニ改ム。始ヨリ「**京**」
ニ作ル個所モアリ。(3) 「**ト**」ノ上、更ニ濃墨筆ニテ
「**ト**」ヲ加フ。(4) 亂「**何**」レモ「**亂**」ニ書ク。(5) 原文
「**棄**」テ「**テ**」**林**ニ書ク。(6) 近「**ニ**」**純**キ「**用**」トア
ルヲ消ス。

494 ⑥ 二王後 隋煬帝ト申ス御門、子恭帝封鄴國公、後靜

帝封介國公ト申ス二人ヲ、二王後ト申也。

⑦ 此段ニハ、大字「**之**」御心、深事ヲ護マイラセテ」

⑧ 候也、彼煬帝ト靜帝ト申ス御門、乍爾「**國**」ヲ滅」

⑨ 「**結**」ケレハ、大字「**兩**」ノ、王ヲ失テ、其、子一人ツ

⑩ 「**取**」テ「**命**」ヲ封テ、大廟、祭ナムトト申ス、祭、時ハ

⑪ 此二人」王子共、事ヲ給ニケリ。太宗ノ御言、
⑫ 王ノ氏「**ヲ**」サレノミ可斷、事ナラネハ、失ハヌセト

453 アリケレトモ、御心ノ「中」ニハ、國ヲ失ヘル國
 4 王ノ末ヲハハ加様ニ成タル事ニコソト見セテ、世
 5 ヲヲサメン人ノ心ヲ深ク誠メント思シテ、此二人
 6 之王子共殘被置ケルナリ。

① 鄭公(文集卷三天永四年点) ② 「字」右下
 「形」虫損アルモ、痕跡ハ無シ。他例(例)「漢」
 武帝ノ「ハ」ハ「形」虫損ニ僅カノ墨痕跡アリニ
 準ズルトスレバ、「太宗」トスベキカ。③ 原文
 兩「」に書く。(4) 「カカリヨ」曲墨筆。(5) 「字」トア
 ル上濃墨筆ニ「宗」ニ改ム。(6) 「モ」ノ下、一字ア
 ルヲ消シ、其右書入ノ一字ヲモ消ス。(7) モト
 「ニソモ」、「モ」ヲ消シ、「ト」ニ改ム。(8) 「共」ノ「ヨ」
 ヲ消ス。

457 海邊々 海、廣ヨト邊リ量リモ難知事ヲ海邊々ト申
 也。

8 斯段ニハ、秦始皇漢武帝ト申シ二人リノ御門蓬
 ① 萊山ヲ求テ、人ノワツラヒヲ成給ケル事ヲ諺リテ候
 ② 也。「秦」始皇ノ時、徐福ト由ケル人、東ノ海ニ蓬
 ③ 萊山有リ。其山ニ多ク藥アリ。服ツル人千乃
 ④ 命ヲ得テ、空ヲ翔ルトシ承ハルセト申ケレハ、(幼)

459 童少キ女三千人ヲ集メテ、多ノ舟ニ蓬萊被
 ⑥ 求ケルニ、海ノ上ニテ年積ニケレトモ、不得
 ⑦ 「求」□□ニケリ。童男ト申テハ此等也。其後、
 ⑧ 又漢武帝、□□成ト申ス人必ス可求彼山ヲ由シヲ
 ⑨ 申ケレハ、亦多ノ童男ト申テ遣ハシテ被求ケレ
 ⑩ トモ、如前「不叶」シテ止ニケリ。大方タハ蓬萊
 ⑪ 山ハ慥方ニ有、可成「仙」人ハ不「求」至。
 ⑫ 仙ヲ得マシキ人ハ、求トモ不相「事」ニテ有ナリ。
 ⑬ 此段ノ意ハ、國ヲ治ル人ハ、叶マシキ事ヲ治テ國
 ⑭ ノ弊ツイハヲ成、人煩ヲ至、事有マシキ事ト成
 ⑮ タルナリ。

① 原文は「皇」。② 「皇」トスベキヲ「皇」ニ作ル例
 所多シ。③ 「服」ノ「ス」ニ重不、ツルニ改ム。(4)
 始メ「約」シテ消ス。「幼」ノ誤字カ。(5) モト「ト」、上
 ニ重不「ヨ」ニ改ム。(6) モト「承」加筆シテ「前」ニ改
 ム。

466 立部伎 城ノ中ニ、エヒスノ國ヨリ出キテ候樂ヲ
 立部伎ト申セ
 2 此段ノ意ハ、唐玄宗皇帝ノ實、事ヲ棄テ諺リテ
 3 候也。「昔」ヨリ君、祈國、助ト可成樂内ハ坐
 4 部伎ト名、圓丘后土、祭ナムトニモ被用是

406 5 事^③候ヲ、唐ノ玄宗ノ時、^②都坐部〔伎〕樂人^③撰抽^{ヌキテ}
 6 戎、立部伎之樂人ニ被加ケレハ、戎樂ハサカ
 7 へ都ノ樂ハ廢タレ候ニケレハ、都ノ樂、笛、笙、琴、
 8 調^モ皆道ヲ守リ、舞、神^ノ歌音^ハモ皆様々メシ有事^ニ
 9 候。戎ノ樂ハ、喧シク調ヘ^ル亂カハシク、舞一トシ
 10 于戎メヨ守^ル事無シ。カ、ル輕^クシキ事ヲモテナ
 ① シテ、直^{ハシキ}事ヲハ棄^{ステ}事吉カラ又^シ事也ナント、
 ② 時^ハ人々申ケル程ニ、幾^ク無シテ國亂候^レケリ。

①「京ハ濃墨筆、(2)モト「字」濃墨筆ニテ「宗」ニ
 改ム。(3)「樂」ノ「ヲ」ヲ消シ、「樂人」トス。(4)「音
 ハ濃墨筆。(5)「亂」ミタレカハシク「内」ニミタ
 レ」ノ三字ヲ消ス。

406 花原磬

樂人ノ打候者、中^ニ磬申^ヌ物候ナリ。
 花原^ト申所、石^ヲ「取」テ、磬ニ被作
 候シヲ花原磬トハ申也。

- ④ 此段ニハ、唐玄宗ト申セシ御門、古、事棄テ、新^ハ
 ⑤ 事ヲ用給シヲ誇リテ候也。昔^{ヨリ}四濱ト申所、石^ヲ
 ⑥ 磬ニ作テハ、代^メ相繼、明堂大廟ノ祭ニ用ラ
 ⑦ レ候ケルヲ、唐ノ玄^口口^口始テ花原ノ石ヲ被用候
 ⑧ ケリ。時ハ又^ク候テ、昔無^キ事「共」万^ク可有憚^一

④ 上ハニ、此新^シシキ磬、音ハ、國亂ヘキ響ナムト申
 ⑥ シテ、帝ヲハ申^ルエスシテ樂人ノ愚シテカ^ル物ヲ
 ⑩ 用ヨソヘテ誇リ候^レケル程ニ、幾程無シテ、此國^ハ
 407 1 國ヨリ軍^ハ發^テ國^ハ亂ケレハ、帝モ蜀山ト申山ニ
 2 入込給ヌ。唐土賢人トモハ、風ノ聲水ツノ色ニ付
 3 モ、國榮ハ國ノ可傾^一事ヲ計^リ、歌音樂ノ響ヲ聞
 4 モ、政、可亂^一事ヲ誇^リ候ナル^レニ候。

①「字」ニ重テ、濃墨筆ニテ「宗」ニ改ム。(2)「帝」
 行末余白無キタメ小字。補入ニ非ズ。

407 上陽白髮人

有^ル后^キ年十六ト申ケルヨリ、「上」
 陽宮^口籠^ラレテ六十ニ成マテニ不^シテ
 出、「其」髮モ白^毛候ニケリ、其^ヲ
 上陽白髮トハ申也。

- 6 此段ニハ、唐、玄宗皇帝ノ政ニ意ヲ入給サリシ事ヲ
 7 誇^リ、楊貴妃^ハ心^口口^口「色」ヲ染ケ^テ事ヲ誇^リテ
 8 徳^レ宗皇帝ノ物ノ哀ヲ知給シ事ヲ讀^テ候也。玄宗^ハ
 9 皇帝、「昔」「元」憲^ハ皇^ハ后武淑妃ト申ケルニ人^ノ
 10 姫^キニ後テ、歎ニ泥^テ時、政ヲモ不知^シテ、此二人ニ
 11 似^テ「人」ヲ尋^ネテ心ヲモナクサメムト思^シテ
 12 可然^一家^ハ人^ト「付」^テ尋^ラレケル程ニ、楊

407 ①「玄」破ト申ケル人ハ娘ニシテ楊貴妃ト申人ヨリ尋出テ、

②帝無疑ト思シケリ。其後新妃サキ百餘人有リ。コ

③ノ有ケル中ニ、形フルマヒ勝タル人ヲ有ケリ。楊貴

④妃思候ケル様、帝此ヲ御覽スル事モ有ラハ、我ヨ

⑤リ道々事「モ」有ナ「ム」口思テ、諸ニ上陽宮ト

申置宮、中ニ込メテ、僅ニ曰フ可送一專計ヲ人ニ

⑥付テ仰セ、扇守ヲセケリ。カナル程ニ、楊貴妃ヲ失

⑦セ帝「モ」陰給テ、三代ノ帝ノ御世ヨ盡マテニ章モ

⑧不有ケルヲ、「德宗皇帝ト申ケル帝ノ御時、尋出シテ

⑨哀ナル事ニシテ思シテ、司ヲタヒケリ、尚書號ナリ。」

①玄宗皇后ニ「元獻」ノ名アリ。(2)「ト」或ハ「カ」

カ。(3)「人」ハ「人」ニ作ル。(4)口ノ個所「ト」ニ近シ、或ハ

「ト」カ。(5)「カ」ルノ次「様」トアルニ字ヲ消シ「程」

ニ改ム。

407 ⑩ 胡旋女

康居國ヨリタクヒ無ク舞面白シケル女
詠イリタリケリ。此ヨリ胡旋女トハ申ナリ。

①此段ニハ、玄宗皇帝、世ヲ可治ム事ヲハ不知シテ、

408 1 輕キ事ヲ好シシ給シヲ諫詰タル玄宗皇帝、御

2 世盡ナントセシ此殊ニ舞樂ヲ好テ、人々ニ舞

3 セ給ケリ。帝自覺「裳」羽衣ト申ヌ舞ヲ楊貴妃

4 安祿山ヲモト舞セ給ケリ。カナル程ニ、胡旋女詠

408 5 チレハ此ニ並舞ハナカリケリ。③「絃」鼓一ト聲ストハ

6 雙袖ヲ穿テ、迴雪飄飄トシ轉蓬トシ舞ト申ハ、

7 此胡旋女カ舞ケル有様ヨリ申タル「梨花」蘭、中ニハ

8 冊ヲ作ス妃ト金鷄障、下ニ養ヒテ爲兒ト申ス。楊貴妃モ

9 右ナトモ舞給ケリ。安祿山ハ楊貴妃ノ「養」ナヒ子

10 也。然トモ舞シケルコトヲ書タルナリ。サリケル

程ニ國々ノ人々帝ノカナル事ヲ「御心」入テ、世

11 事ハリヲシツタマハサリケルヲ「衛」イリテ、打チ

12 「詩」ヲ事「ヲ」儀シタハカリケレハ、安祿山申

13 ケル様、天下ヲ失ハ楊貴妃ト其弟楊國忠ナリ。此

14 ヲ失イテ「ハ」帝「モ」空キ御意ニ成給ヒナム。我レ楊

①貴妃ノ養子ナレトモ御門ヲ失イテ詠ラセムヨリハ、

②此等ヲ失ヘシト申シテ、單ヲ發シテ失ケリ。此偏

ハニ帝ヲ思詰スル故ナリケレトモ、右ニ後レヌル事ヲ

③哀ナシムテ、帝モ入込リ給ケリ。

①胡旋女(文集卷三、天永四年点1) (2)「ト」シトア

ル上重ネテ、濃墨筆ニテテニ改ム。(3)絃鼓一

聲・雙袖・穿・迴雪・飄飄・轉蓬・舞(文集同上)

7) (4)梨花園、中冊、作妃ト金雞障、下ニ養ヒテ爲

兒ト(同上18) (5)コノ字不詳、或ハ「衛」(名義抄

「徵」トナル)ヲ誤用カ。(6)モト「養」トアルヲ消シ、

上欄ニテ「楊」ニ改ム。上欄ヨリ、イマ本行ニ移ス。
④「ケレ」ヲ「ケル」ニ改ム。

408 ④ 新豊折臂翁 若カリケル時ニ軍トモノ世ヲシノカ
ンカ爲ニ、熊臂折翁新豊ト申所ニ
有ケルヲ、新豊「折」翁「翁」口「軍」也。

⑤ 此段ニハ、玄宗皇帝、時、楊國忠ト申ケル人、時、
⑥ 政ヲ事トシテ、國ノ費ヲ不瀟マ、人散ヲ不知、事ヲ
⑦ 謗タルナリ。南方ノ國ノナリニ南蠻申スエヒス
⑧ ノ國アリ。帝斯ヲ隨ハシ給事難有ニ事ニアルヲ、
楊國忠申ケル様、二十万人軍ヲ給候ハ、彼ヲ打隨シ

⑨ ハナムト申ケレハ、玄宗皇帝サモアリナムト思ヲホ
⑩ シテ、レ國ニ軍ヲメシケリ。其時、此、折臂翁年
⑪ ニ十四ニ有ケルカハ、申様彼コハマカル道ニ瀘水ト

409 ① 申テ水ヲ濫海廣シ五千里ナル河アリ。
② 此河「渡」人十人ニ三人ハ死ヌル事也。其本繩
橋ヲ渡ナムトスル「ケ」シキ道アリ。命不レニ

③ 軍ニ前死ナム事無疑ニ事ナレハ、我臂折テ軍、催ヲ
④ 遣テ思テ、熊ト左ノ臂ヲ折タリケリ。サテ、楊國
⑤ 幾、軍ヲ率レ罷リケレトモ、カ、ル道ニテ多
⑥ 人死ケレハ、空テ返ヌ。人ヲ率、楊國忠世ヲ
⑦ 政ナラハ國滅サント申ケレバ、國ヲ歎ヲ息ヲ爲

ナリ。安祿山ト申ヌ人爲蕃陽節度使 楊國忠ヲ失
⑧ ケレハ、帝モ入込給ケリ。此段ニハ、楊國忠方叶ハ
⑨ 又事、故ニ多、人ノ歎ヲ成テ、「己」至「滅」テ帝ノ
位ヲモ失、世ノソシリトナリケリ。

① 新豊折臂翁（文集卷三 天永四年点一） ② 「其」
ノ右下ア字形虫損アリ。或ハ「」アルカ。 ③ 瀘水
（文集同上 19） ④ 名義抄「瀘」タキル。 ⑤ 「」キ
「」ヨリ「」我臂レマテ「」ニ「」一字、行間小字。イ
マ、本行ニ改ム。

411 大行路 常山ト申ヌ山ノ巖サカシキ、車ヲ摧カ故
ニ、大行路ト申也。常山ハ通「碣」石山
道也。

① 此段ニハ、車ヲ摧ク道ヨリモ人ノ心ハサカシク、舟
② 覆カハス 水ヨリモ人ノ心ハケハシト申候也。人ヲ
③ 吉ト思フ時ニハ、翅生テ空ヲモ飛ヒ翔ル様ニ讚
④ メ、惡シト思時ニハ、疵ヲ求過ヲ顯ハス。有「事」ヲ
申スマテハ事モヤサシク候。無「事」ヲ申付ルニ

⑤ 夫ノ間タモ、昨日マテハ七夕ヒコ星ノ斷ヘ又契ヲ
⑥ 下之間ニモ朝「」タニ御額「」深ケレトモ、夕ハニイノ

409 ④ 子ヲ召レ 數限無事ナレハ、車ヲ措ク自山一舟ヲ覆ス
 自河、心□□「忽」ト申ナリ。

① 大行路ハ、注文選云ク、大行路ハ在常山ハ上瀾ノ通、
 福ハ石ハ山ニ也。「新樂存略意」太田氏翻刻本
 ② 原文ハ「新」。「新」或ハ「斷」ニ改メタルカ。
 參高（文意卷三、天永四年点22）「口」個所、
 ノ如ク見ユ。不詳。③「忽」イルカセ「銀名法
 中83」

409 ⑧ 司天臺 高、十丈ノ臺、立テテ天文道ノ者ヲシテ
 位天、氣色ヲ見セテ帝御爲ニ世ノ可、
 吉事可然事ヲ申也。此司天臺トハ申
 也。

- ⑨ 此段ニハ、御門ノ御爲「三」惡カ「リ」又ヘキ天變ノ「有」
- ⑩ ルヲ、目出「事」申「天」文道之者共爲申スヲ諺リ
- ⑪ テ候ナリ。高上「文臺」ヲ立テテ、毎夜「星」ノ循リ
- ⑫ 雲ノ色ナムトヲ見セラレ、事、天變有ラハ御所ヲ
- ⑬ モシ、又政ヲ改メテ過ヲ追レムカ「爲」也。而テ
- 天變有ル時モ御氣色イカト「イ」ツハリテ、御
- 410 喜ヒトノミ申ヘ、ユシヒカコト也。後ニ、サレ
- 2 ハ、漢、元帝周成帝ノ時、時變落、有ケレトモ

3 致テ申サレリケレハ、御祈ナムトモナク、政コト
 4 「ナ」ヲサル、事モ無リケレハ、國モ滅ケリ。此段
 5 「」、サノミ爲ヲ申サハ煩ク、高百「天」ノ司天臺立
 テモ由シ無シ。カナル徒ツカサニ、多ノ俸
 6 祿ヲ賜モ空ナシク成ヌト諺「ナ」リ。

410 捕蝗

夏ノ由ノ青ヲ食、失イシ虫ヲ蝗虫ト申也。人
 催、虫ヲ取ラスル事アリキ。其ヲ捕蝗ト
 ハ申也。

- 8 斯段ニハ、玄宗皇帝ノ時、河南ノ長吏、申ス「者」
- 9 「蝗」ハ虫「ト」トラセシ事ヲ諺リテ候也。河南ト申
- 10 ス「河内」ニ「國」候、其國ニ蝗虫出來テ、千里程ニ
- 11 齊、苗モ無ク食失ヘル事アリ。河南長吏、國々
- 12 催シテ蝗虫ト「ラ」セケリ。唐ニハ、多ノ國
- 13 政、人ヲハ長吏ト申也。民「程」ニ隨、年貢
- ④ ナトノ様ニ蝗虫ヲ取セテ粉リ「納」ケレハ、蝗虫
- ② 蝗虫ヲ取り得々物ハ買ナントシテ納ケリ。人ノカヲ以テ
- ③ 天災ヲ競「難」キ事ニテ「候」ハハ、一ノ虫ヲ取レト
- ④ モ、虫來リテ、更ニ不稱、飢「民」ヲ彌ヨ煩ス

40 ⑤ 亭ニ候也。唐ノ太宗レ之時、蝗虫出来ケレハ、上林

⑥ 苑ニ□□ノ蝗虫ヲ取レテヤカ國ニ作物滅スハ

⑦ 民ノ命ヲ失セ。政事ミシレ、事ハ天ノ責ナク

⑧ 來タル 今年モ天災ヲコレリ、是レ我レアヤマテ

可有、只多ノ人ヲ滅サムヨリハ人一ヲ失ヘ。トカヲ

⑨ 我身ニライテ、國ノ滅ツクハントテ、一ノ蝗虫ヲノ

⑩ ミ給ケレハ、蝗虫皆ヲ去テ失ハミシケレ。又

⑪ 陳留ト申所ニ蝗虫出来ハカレ文伯ト申ス人、惡キ政

⑫ 事ヲステ、善キ政事ヲハしめりレハハ、蝗虫

⑬ 境ヒラ出ニケリ。此段ノ意者政事惡レハ天災必

ス發レ、自ラ天ノ災ヲコラハ政事アラタムヘレ

⑭ シト也。

(1) モト「ナムトヨ」、「ララ消シ」、「ノ様ニレ改ム。(2) 一虫

雖「死」虫「來」豈「將」人「力」競「天ノ災」

(文) 雙卷ニ天永四年点28 (3) 虫損、痕跡ナキモ

「ニ似ル。(4) 「ナラスト」讀ムベキカ。(5) 「我」

「我」ノ上 稍濃筆ニテ「人」ヲ書加ム。(6) 貞觀之初

道「欽」皇「仰」天「看」リ「蝗」モ(文) 集同上28

(7) 墨痕跡ハ「王」モ、虫損「レ」ニ似ル。

41 1 昆明春冰満 漢ノ武帝ト申ケル帝ノ時、昆明園ト

41 1

申國ヲ責ラレケルニ其國ニ、水海ノ有

リテ責カクナシ。水ノ上ノ軍ヲ人々

ヲ掘セテ有ケリ。昆明園ノ水海ヲ遷ルカ

故ニ昆明池ト申也。

2 此段ニハ、遠、民近、民バケスシテ御哀ヒ、人ノ可

3 然一ノ事ヲ申タル也。昆明池ト申ス也都邊リナリ。

4 近民共レ或ハ鱗クツヲ取商イ或ハ鷹ヲ捕ナムト申ス

5 草ヲ苜賣ケレトモ、御制非ケリ(孤)補ナムト申

6 スハ、彼ノ池ノ有様ヲ書テ候レ也。又都ノ「外」ニ邊

7 吳興山ト申山ニ苜ト申ス草有。放ケルサレネハ、

「其」□□取者候ハス。又鄱陽坑ト申所候。都ノ外

8 邊也。「其」所ニ銀カネ有トモ、放サレネハ又取者

9 ナシ。此段ノ意「ハ」□□□□彼ノ□□レヌレハ、

10 銀ヲ「ハ」放シテ取ラシメ給ハシ。苜ト申ス草ヲモ放

① レシテ取給ヘシ。年々、年貢急ナクハ國ノ費ハ

不可成候。タゞイツレヲモ制止ヲ加ラレスハ、近ラ

② 遠ヲモ、同クイサミヲナシナムト申スナリ。

(1) 「ハ」ケヌ、「ハ」ハ「コ」トモ解シ得ル。(2) 獲「狐」補「利」

(又) 雙卷ニ天永四年点28 (3) 洲「香」ニ「杜」若

抽「心」長。(同上28) 41 1 個所「不詳」

411 城鹽洲

唐ニハ西方ニエヒスノ國アリテ、(帶)都
ハ□□候ナル故ニ、西方境ニ將軍ヲ一人
ツ□□□各構タル也。北ノ境ニ鹽洲ト
申所ニ城□□□候ヲ城鹽洲トハ申也。

- ④ 此段ニハ、唐德宗ト申ス帝ヲ讚テ、其時、將軍ヲ諱
リテ候也。昔唐、高宗ト申帝ノ時、北方、エヒス
- ⑤ 常ニ打入レケレハ、韓公ト申ケル人々、三ノ城ヲ
- ⑥ 梁防ケルヨリ、被破レ、(尋)候はサリケリ。其後、
- ⑦ 德宗ノ御時、復或ス可入ヨシレキコヘケレハ、帝自
- ⑧ 指圖シテ、鹽州城ヲ梁カセ給テ、將軍レヲ置テ給ケ
- リ。其將軍防コト無クシテ、狄ニ様々ノ物レ
- ⑨ ヲヲヒテ□□此コ、ヲ圍ラテ程ハ都ハ不可入。其後ハ、
- ⑩ 何ニ□□ロモナヲ常ニ狄ト依相セテ「遊」ヒケリ。此
- ⑪ 段ノ意ハ、德宗ノ代ヨリ終ニ破マシク構ヘ給ヘ
- ⑫ シ城ノ内ヲ開テ、狄ヲ集テ、城ル、事申ス無甲斐。
- ⑬ 上只今ノ將軍ノ御恩ヲ召シテ昔ノ高宗ノ時、三城ヲ
- ⑭ 梁、韓公カ子孫ニタフヘキナリト申シクルナリ。

① 城鹽洲(支集卷三永四五五二) ② カルヲ
カニニ書政ム。 ③ 「キ」ヲ「ケ」レハニ書政ム。
子孫ノ擡強(六國)モ恩澤(文集同上) ④ 國カ
ラスカケムス(觀名法下86) ⑤ 下ニ段ヲ終コトモ意。

コトトモ見ユ。コトと誤ンデマク。

鹽洲民 道洲ト申ス所ノ民ハ皆長卑(クテ) 三尺四

- 4 此段ニハ、唐德宗ト申セシ御門ヲ讚マイラセ、又其
- 5 時「楊」レ「戎」ト申人彼ノ國ノ守ニ成テ、彼ノ所ニ下
- 6 リテ見ケレハ、彼□□トモ長ケ卑クテ體セイ少クシテ
- 7 三尺許有リケレハ、楊□□共ニ相テ、何ニ此處之人々、
- 8 其長卑ツト問ケレハ、民共レモ答申「コト」様ハ昔
- 9 ヲヨリ此處、學トシテ歳トシニ年貢「コト」人「ヨ」語「ス」ル
- 10 ナラヒニテ候ケレハ、子ヲ生ヌル民ハ子ヲ語セ「子
- 11 ヲ不」以「民」ハ買求メナントシテ語セ候ハハ、子ヲ生
- 12 ヲヨリ終「イ」ニハ「又」年貢ニ召サルヘケレハナムト、祖
- 13 三モ泣子モ哭候。カ、ル歎「ニ」依テ、其長ノヒスシテ
- 14 ① 三尺四寸ニ不違ナリト申ケレハ、楊成思ケル様
- 15 ② 我后、民ヲ撫御坐ス心累シ、我又民ノ「歎」事ナレ
- 16 ハ、實ニ人ノ祖子ロ生、ナカラ却「コト」事、發猿ハ、
- 17 ③ 事也ト思テ御門ニ申ケレハ、御門モ殊ニ不便也
- 18 ④ ト思食シテ、彼處ヨリ人ヲ年貢ニ語ラヌル留ヘシト
- 19 ⑤ 宣旨下サレケリ。其ノ時道洲、楊成泣喜ケリ。子
- 20 ⑥ 孫コノ末々ニモ、此恩ヲ傳ヘ忘レサセシカ爲ニ男
- 21 ⑦ 生者ハ各皆楊ト云フ姓ヲ付「タ」リ。楊成カ民ト

412 ⑧成^{リテ}、其恩ヲ^レ遺^ルラムカ爲ニ、其ヨリシテ彼所ノ人ノ長ケ五尺ナリケリ。

ノ長ケ五尺ナリケリ。

①有^リ松、百尺・丈・十圍・生在^リ澗^ノ底、寒^ク且^ニ卑^シ。
(文庫巻四、天永四年、点10) 卑、イヤシ、ミシカシ(鮠名、^{ミシカシ}中川) ②「ケレ」ヲ「ケリ」ニ書改ム。 ③「體」ノ字

ハ二の例のみ。他は「躰」字を用いてゐる。 ④

文意かり「楊成民共」とありたいところ。 ⑤モ

ト「ハキ」、「ギ」ヲ消シ「ケレ」ニ改ム。 ⑥「我」モ

ウ「李」ニ改ム(辺行首)。イマ除。 ⑦遺^ルノコト

オクルト、ム(觀名、仏上地)

412 ⑨馴^ル犀^ノ

南ノ國ノハブニ南蠻「ト」申國ヨリ海有^ル

皇也。ケモノヲ飼付ハテ唐御門ニ進^ラセケ

ルヲ馴^ル犀トハ申也。

⑩此段ノ心ハ、唐ノ徳宗ト申「ス」御門ノ御政^ノ前^ノ

⑪間^ノ家^ノ犀^ノ飼^{タル}事^ヲ、誇^リ語^ラセタル唐ノ徳^ノ宗^ノ御^ノ

⑫時^ノ蠻^ノ國^{ヨリ}「マ」ツ象^ヲカイナツケテ進^ルハ、

413 1 御門悦^テ「夏」程ハ説^給テ冬^{ナリ}ケ此象ノ生^{タル}

2 所「ハ」極^テ暖^{カナル}處^{ナリ}。都^{コハ}寒^所ナレハ、

3 寒^ヲ堪^モ有^ラムトテ返^{サレ}ニケリ。此後又、同

4 鐵^ノ國^{ヨリ}犀^ヲ飼^付テ進^ラセケル上^ニ林^ヲ苑^ニ入^レテ

413 5 金ノ草^ノ別^イケナントシテ説^給ケリ。具^{シテ}諸^{タル}

蠻^ノ子^共ニ其^ノ傍^ニ家^ヲ作^テスハ御^{ハシ}テ冬^{ナリ}

6 リニケレトモ返^サリケレハ、其^ノ時^ノ犀^トモ氷^ニ

7 不堪^{シテ}「皆^ク死^ス」ケレハ、此^ヲ見^テ此^ノ蠻^ノ子^共ニ我

8 等^モ皆^ク死^{ナム}ト^テ泣^歎ケリ。此段ノ意^ハ、前^ノ政^指

9 「五[」]事^無レハ其^ヲ例^{シテ}爲^シトセラル^ル事^常事^專

10 候。徳宗ノ御時、象^ハ「返^シカハ皆^ク生^テ候^也」。

11 彼^ノ犀^ハ冬^又返^{サレ}サリシカハ皆^ク死^候キ、[□]レ、

12 御政^ノ間^タシキニアラスト申^スト諺^語「テセ候^也」。

只是^ノ家^ト「犀[」]「ト」ノ事^ヲ申^{タル}ノミニアラス。

13 象^是乃^ヲ籠^{タル}「ナリ」。

①馴^ル犀^ノ家^ノ (文庫巻三、天永四年、点34) ②「守^ルハ」宗^ノ

ノ意。 ③入^レ苑^ニ 録^カフ以^テシ 瑠^璃鏡^以金^ト (文庫同

上33) ④「ハ」ハ「ワ」ニモ似。草^ノ別^ノ「サワケ」ハ、こ

の場合、鎖^ノノ意^也ある。 ⑤原^ノ文^ハ「死^ル」。コノ

字^{「充^ル」}「死^ル」ノ誤^字ナラム。 ⑥原^ノ文^ハ「外[」]。こ

ノ字^体413②にも出^ル。衆^ノ生^ルく「アマタ」(觀名、僧中

⑦)。 ⑧原^ノ文^ハ「空^龍」。コノ以下ノ意^不明。或^ハ

「籠[」]ノ誤^字カ。

413 ①五^ノ絃^ノ彈^ル。 其^ノ數^五アル琴^ヲ五^ノ絃^ノ口^ハ申^也。

- ② 此段ニハ唐ノ代ニ趙壁ト申人ノ絃五作タルヲ、帝殊
- ③ ニハ愛給事ヲ諺リ候也。昔瑟ノ琴ト申テ絃五十候シ
- ④ 琴ヲ「中」比「其絃半」ヲ棄廿五ニ被成候。其後
- ⑤ 趙壁又「絃五候琴」作テ、五絃彈ト申テ候。第一第
- ⑥ ニ絃索「此ハ五絃彈ノ有様ヲ被書」候也。昔、瑟
- ⑦ ノ琴絃五「十」絃モ「中比廿五ニ被成」、今又、廿五ノ
- ⑧ 瑟琴棄テ、偏ニ「五絃彈」ヲ説給事不有。サノミ物
- ⑨ ノ「ヲト六」來候は「むニハ」絃一モ有。トモ出來
- ⑩ ナム、其上ニ、此五絃彈、偏ニ「戎」樂ノ音ニ通
- ⑪ 昔、音ヲ背ケリ。カ、ル事ヲ説給事有マシキ事也

① 趙壁。② 第一・第二絃・索・秋風・拂松・疎韻・落（文葉卷三天永四年点35）③「琴」ト「索」ノ間ニ「絃五十」ノ五字アルヲ消ス。④「アルヘカラス」ハ濃墨筆。⑤「ヲト六」ハ濃墨筆。⑥本行「上」不
明瞭。書入上「ハ濃墨筆。⑦「有マシ」以下六字余
白ニ小字。今本行ニ入。

414 蠻子朝

南方ノ蠻ヲ南蠻ト申、其南蠻、子共、都
ニ詣リテ候シヲ蠻子朝トハ申也。
此段ニハ、唐ノ徳字皇帝ヲ諺リ兼テ其時ノ將軍ヲ
諺タルナリ。昔ヨリ代々ノ御門、四方「工」工ヒスヲ

- 4 隨車極タル「大車トセサセ給事」候。其中ニ、南
- 5 方、蠻、繩、橋ヲ渡皮、舟ヲ浮トシテム打隨ハ難
- 6 事ニ候。而ヲ、徳宗御時尋勤ト申ス將軍遣
- 7 ケレハ、蠻ヲ「ハ」不打シテ蠻王、子共「ヲ」レサソ
- 8 昔、將「サクイ」候也ト申ケレハ、御心サモト思シ
- 9 召シテ、將「軍」大臣ニ成セ給ケリ。此段ノ意ハ、將
- 10 軍彼蠻ヲ打隨「テ候」トエヒスノ國ソコソタ「ク」事
- 11 ナラメ、大臣ニ不可成セ「給」高御坐ス南蠻ノ王
- ① サソイエス「シ」テ、王子「ヲ」スカ「シ」テ御門ニ
- ② 詣リテ、官ヲ給ラムナムト申テ具テ詣リ候。又正
- ③ スレカシテ詣タル事、指セル勲功深キニ非ス。輒ク
- ④ 大臣位ヲ「給」ヘカラス。而「功無類」事也ト申タル
- ヲ惡ク「シ」テ候也。レ

① 本行「將軍」不明瞭。② 文意カウ「正」は「サ」の誤字ならん。③ 尋問勲。④ 本行首ニ「我」重復。今除。⑤ 「將」詔許ノ誤字カ。ニの文に対応する原典は「誠」由リ陛下ノ休明德、亦頼微臣諫諭功（文葉卷三天永四年点38）とあり、「サクイ」は「サソイ」の誤字ならん。⑥ 意味未詳。

大日本國語辭典「枯蘇麻」解毒呪ヲ引ク。但シ「
「ケハ」ノトモ見ユ。」「國ソコノタ「事ナラメ」ハ「
國ヲコソタ「事ナラメ」ノ設字とも考えりれルガ
「タタ」の意未詳。」「書入レハ濃墨ヲ書。

414 驃國樂 驃國ト申國ヨリ詣リテ候イケル樂ヲ驃國
樂トハ申也。

樂トハ申也。

⑥ 此段ニハト、徳宗ヲ諒リテ候也。徳宗御時、驃國雍差^②
⑦ 申者、子^③、鄒難陀ト申者ニ、三十五人ノ樂人ヲ具

⑧ 詣^④、タリ^⑤、樂ヲ奏シ「候」ケリ。玉螺一^⑥吹

⑨ テ榷^⑦、算^⑧、申ハ、此樂人共ノ有様サマヲ白樂天

⑩ ノ書タルナリ。鄒難陀此^⑨樂ヲ申ケル様、我父^⑩驃

⑪ 國^⑪、雍差ト申^⑫、可^⑬然^⑭、候也。唐土ノ臣

下ニ成ラムト望ム也ト申、越候。「サ」レハ時人^⑮

415 實ニ可然^⑯ノミ、御威ノ遠ヲ可^⑰及ナムト申ケレハ、

2 君^⑱モサモ有ナムト思召シケルヲ、其^⑲、春^⑳ノ日

3 壤^㉑ツクク耕^㉒、翁人^㉓、殊^㉔申候^㉕、様人^㉖ノ鉢^㉗

4 心^㉘ヲキテニ隨物ナレハ、君ハ心^㉙、如シ、民ハ姿

5 ノ如シ、公^㉚、歎^㉛、有時ハ民ノ勉^㉜、君又ミ^㉝給者

「也」、心ニ歎有レハヲト六^㉞、姿^㉟キ^㊱「ス」有時ニハ

6 心^㊲モ哀シフニ似タリ。然^㊳、民^㊴心^㊵、民ノ歎未止^㊶、

7 遠キ國ノ樂^㊷、^㊸既テ、勇^㊹極キハメ給ヘカラス。

「ハ」

415 只民ノ歎タニモ無クハ、此樂レ伎キタラストモ君

9 賢王ト云レ給ヘシ。民ノ歎不止^①此^②樂伎來レリト

モ君^③、王ナラシ^④。亦ノ心ハ國^⑤モ乏^⑥、民^⑦モ貧^⑧シク

10 候ハム時ハ、君モ歎^⑨キ給ヘキ事也。而ヲ、遠^⑩キ^⑪樂

11 舞ヲ^⑫ホシイマ^⑬シテ既^⑭ヒ、勇^⑮極^⑯ヲ驕^⑰給事^⑱不^⑲宜

12 申也。白^⑳樂天王、徒^㉑ニ此樂ヲ聞カムヨリハ、只此

13 翁^㉒ノ事ヲキ^㉓侍^㉔レハシトカ^㉕レタル也。レ

① 驃國樂。へ文集卷三 天永四年点二) ② 雍差。

文集卷三 天永四年点では「雍差之子」(39)とあり。

③ 舒難陀。 (五) 玉螺。一吹マ榷^④、算^⑤、申ハ、

上 39) ⑥ 「マ」^⑦「ア」^⑧が重ナツテ是エ「又」^⑨ノ右角ニ「カ」^⑩が

出ズ。イマ、「又」ヲ採ル。但シ、「君又ミ給者也」ノ文

意明ナラズ。(六)「ケ」ハ「タ」カ。(七)「ナ」ラマシ「カ」ヲ

消ス。(八)原又ハ「タ」カ。「カ」トモ見ユ。文集天永四

年点には「驃樂」不^⑪來^⑫、君^⑬、^⑭「^⑮」^⑯「^⑰」^⑱とあ

キ。⑲「^⑳」^㉑「^㉒」^㉓カ。

415 傳^①戎人^② 胡國、エヒスヲ捕トラヘテ、殊^③方^④國、

遠^⑤ヘ流^⑥ルヲ傳^⑦戎人ト申也。レ

⑧ 此段ニハ、人ノ歎^⑨ハマレナル事ヲ申タル也。唐第九

⑩ 代^⑪來^⑫トシ申ケル御門ノ御時、胡國ヲ爲^⑬打^⑭隨^⑮蓬

蓬

415 ④ 子將軍子李^①如邊^②ト申^③邊^④軍^⑤ヲ買^⑥ケテ胡國ニ被^⑦テ

⑤ 取^⑧リ四十年計^⑨有^⑩ケル程ニ、妻ナントヲ具シテケ

⑥ レハ、子共アマタ出ニケリ。皮^⑪ノ衣、又皮^⑫ノ帶ヲ

⑦ キセラレテ、但正月、一日計リ唐冠^⑬リ^⑭烏^⑮ヲムト

許^⑯シテサセケレハ、夕^⑰ハタカニ都^⑱ノ裝束ヲユルサ

⑧ レテ服^⑲キ有^⑳ケルニ、殊^㉑ニ昔^㉒、車^㉓、思^㉔出^㉕テ、舊^㉖里

⑨ ハ迷^㉗ナムト^㉘思^㉙ハ心付^㉚ニケリ。胡^㉛國^㉜、妻^㉝子^㉞共^㉟ニモ

⑩ 不知^㊱、唐^㊲、方^㊳タヘ迷^㊴ニケ^㊵レニケリ。驚^㊶テ藏^㊷ハ毒^㊸塚^㊹ニ

⑪ 寒^㊺草^㊻疎^㊼ナリ、偷^㊽、瘦^㊾トハ黃^㊿河^{㊽〇}ニ夜^{㊽一}、氷^{㊽二}リ薄^{㊽三}ト申^{㊽四}スハ、

⑫ 此^{㊽五}李^{㊽六}如^{㊽七}邊^{㊽八}カ^{㊽九}畫^{㊽〇}ルハ藏^{㊽一}レ夜^{㊽二}ハ語^{㊽三}「^{㊽四}忌^{㊽五}キ」ケル事^{㊽六}ヲ被^{㊽七}ヒテ

416 上^{㊽八}書^{㊽九}候^{㊽〇}也。カ^{㊽一}ル程^{㊽二}ニ、德^{㊽三}宗^{㊽四}御^{㊽五}時^{㊽六}ニ成^{㊽七}ケリ。其^{㊽八}時^{㊽九}、

將軍^{㊽〇}胡^{㊽一}國^{㊽二}ヲ徵^{㊽三}セメニ「^{㊽四}入^{㊽五}」ケレハ、我^{㊽六}方^{㊽七}、風^{㊽八}ナレハ

2 トテ^{㊽九}走出^{㊽〇}テ、悅^{㊽一}向^{㊽二}ケル「^{㊽三}音^{㊽四}」ハ氣^{㊽五}色^{㊽六}モエヒスニ成^{㊽七}ハ

3 テニケレハ、狄^{㊽八}出來^{㊽九}タリト申^{㊽〇}テ打^{㊽一}縛^{㊽二}。唐^{㊽三}ノ將

4 軍^{㊽四}タリシカトモ胡^{㊽五}ノ國^{㊽六}ニ被^{㊽七}取^{㊽八}カク成^{㊽九}レル也ト申^{㊽〇}ス

5 ナリケレトモ、音^{㊽一}ヘモ不^{㊽二}違^{㊽三}狄^{㊽四}ト成^{㊽五}ニケレハ、^{㊽六}更^{㊽七}ニ

聞^{㊽八}不^{㊽九}入^{㊽〇}レ、狄^{㊽一}ヲ捕^{㊽二}ヘテ都^{㊽三}ヘ詣^{㊽四}ラスル中^{㊽五}カニ加^{㊽六}ヘテ

6 逆^{㊽七}テ有^{㊽八}ケレハ、南^{㊽九}原^{㊽〇}ハ流^{㊽一}シヌ。殊^{㊽二}ト狄^{㊽三}ス共^{㊽四}ハ胡

7 ノ國^{㊽五}計^{㊽六}ヲソ戀^{㊽七}シケル。此^{㊽八}李^{㊽九}如^{㊽〇}邊^{㊽一}ハ胡^{㊽二}國^{㊽三}、妻^{㊽四}子^{㊽五}ニモ

8 別^{㊽六}カレ、唐^{㊽七}コシノ舊^{㊽八}里^{㊽九}ヘモ不^{㊽〇}還^{㊽一}レ、兩^{㊽二}夕^{㊽三}處^{㊽四}ヲ戀^{㊽五}ル心

9 殊^{㊽六}ト殊^{㊽七}ノ哀^{㊽八}ヒモ過^{㊽九}タリケリ。自^{㊽〇}樂^{㊽一}天^{㊽二}ノ万^{㊽三}事^{㊽四}ヲ注^{㊽五}シケル中^{㊽六}ニ、人^{㊽七}ノ情^{㊽八}無^{㊽九}類^{㊽〇}ヒタメシ、此^{㊽一}ヲ力^{㊽二}キタル也。

416 新樂府注卷上

① 李如邊 (文鏡秘府本天永四年点43) ② 「申」ノ次

股^㊽アルカ。蓬^㊽子^㊽將^㊽軍^㊽ノ子^㊽ハ「李如邊」。③ 原^㊽文

ハ「駕」。名^㊽義^㊽物^㊽「鞵^㊽ツツ」アリ。コノ旁^㊽ナラン。

靛^㊽智^㊽度^㊽本^㊽名^㊽義^㊽抄^㊽ニハ「寫^㊽」ク」(僧^㊽下^㊽104)アリ。

④ 書^㊽ハ「^㊽細^㊽漢^㊽筆^㊽」濃^㊽墨^㊽。⑤ 「テリハ接^㊽統^㊽不^㊽充

分^㊽、或^㊽ハ「^㊽ル」ニ改^㊽メ夕^㊽後^㊽ノ消^㊽殘^㊽カ。⑥ 驚^㊽藏^㊽

青^㊽家^㊽寒^㊽草^㊽疎^㊽、偷^㊽、瘦^㊽トハ黃^㊽河^㊽ニ夜^㊽、氷^㊽薄^㊽。⑦ 集^㊽卷^㊽ニ

天^㊽永^㊽四^㊽年^㊽点^㊽43) ⑧ 原^㊽文^㊽「^㊽畫^㊽」トアリ、「^㊽ト」

ニミセケナリ付^㊽ス。イマ、「^㊽本^㊽行^㊽ニ移^㊽ス。⑨

「^㊽被^㊽」次^㊽「^㊽」ノ一^㊽字^㊽ヲ消^㊽ス。「^㊽夜^㊽」ハ「^㊽取^㊽」ニ字^㊽ノ

混^㊽用^㊽ノ誤^㊽ハ他^㊽所^㊽ニモアリ。⑩ 「^㊽ケリ」ヲ「^㊽ケレハ」ニ改^㊽

改^㊽ム。⑪ 文^㊽意^㊽カ^㊽ラ「^㊽殊^㊽ト狄^㊽」ノ誤^㊽写^㊽ト考^㊽之^㊽ウル

416 新樂府注下

③ 驪^㊽宮^㊽高^㊽ 驪^㊽宮^㊽山^㊽ 申^㊽ス山^㊽ニ宮^㊽ヲ作^㊽候^㊽、其^㊽山^㊽勝^㊽カ故

ニ驪^㊽宮^㊽高^㊽トハ申^㊽也。美^㊽天^㊽子^㊽重^㊽惜^㊽人^㊽ニ財^㊽力^㊽也

④ 此^㊽段^㊽ニハ、唐^㊽憲^㊽宗^㊽ト申^㊽スヲ、美^㊽テ候^㊽也。此^㊽王^㊽ハ白^㊽居

⑤ 易^㊽、^㊽樂^㊽府^㊽ 被^㊽作^㊽ラ候^㊽ケル時^㊽ノ御^㊽門^㊽ナリ。透^㊽々^㊽ニ被^㊽

⑥ 驪^㊽宮^㊽ 有^㊽様^㊽サマヲ被^㊽書^㊽タル。山^㊽深^㊽ク風^㊽冷^㊽カカリケ

- ⑦レハハ代マ、御門毎^レ夏^二彼、驪宮高ニ御座シテ
- ⑧住給ケレハ、此憲宗皇帝^レ思シ食ス様、費ヲ思^レ打住^ト
- ⑨ル一人出給事不容易、六^レ宮從^テ分^テ百司備^レリ
- ⑩八十二車千石騎アリ、百^レ千人カ賤ヲ盡セトモ我一
- ⑪日、シユキヲ俊^スヘカラス、我獨^リ暫^ク令^シカラ
- ム爲ニ、多^ク人ノ末^ク世^テ貯^ル盡^ス事^無要^ト
- ⑫ト思^レシ食シテ、位ニ付テ五十年^ニテニ御坐マシ
- 471ケリ。此段ノ意^ハ、人ノ費ヲ知^リ國ノ煩^ヒヲ痛^メ
- 給タル事ヲ讚^テ候^也。

①美天子^{ホタリ}重惜^{ヨモシラシミタマフ事ヲヒト}人之^{ヒト}賤力^{ケラク}也^ト（大東急記念
 文章蔵文庫卷四嘉禎四年点） ②「俊」ノ草書体^カ
 トト異ナル。肉太ノ部分ヲ加筆シテ「カ」ニ改メタ
 ルカ。③高^{タル}驪^山上^ヘ有^リ宮^朱樓^紫殿^{三四}重^遲
 々々^ト（文集卷四嘉禎四年点） ④「一人」ノ千石騎^{アリ}
 ハ原典の文章に近^イ。次下^ノ如^シ。一人出^ル令^ス
 不容易^ト。六宮^ノ從^テ分^テ百司備^ル。八十一車千石騎^{アリ}
 文集卷四天永四年点1） ⑤「原」文は「俊」字。

472 百練鏡 百度ト、ミカハタル鏡なる故ニ（百練鏡）
 ハ申タルナリ。
 ③ 此段ニハ、唐ノ徳宗皇帝^ヲホメタルナリ。徳宗^ノ御

- 474「時」^ニ楊洲ト申所ヨリ百練鏡ヲ進^セタリケリ、御
- 5門思召^ル様^ニ我^レハ人ヲコソ鏡トスレ、銅ヲ鏡ト
- 6ハスヘカ^スス、銅ノ鏡ハ僅ニ形^ニ計^テ見^テ者^ハ也^ト、我
- 7形ヲハツク^クテヨシナシ、以^テ人^ノ鏡ト^スルハ、
- 古^クカ^レミ、今^クカ^レミテ政ヲ治ケル事也。サレ
- 8ハ大^ニ京皇帝^ハ、魏徵ト申人鏡^トセサセ給^ヘリ。四
- 9海^ニ魏徵^ト申人ノ國ノ政ヲセシ時ハ、四方ノエ
- 10ヒスノ國ノ外マテニ治^レサメテ世ヲハ百代ノ御門
- 11ノ御時ヲ知^リ給^シ事ヲ被書^レ給^也。此段ニハ、五
- 12金ナントノ賤ヨリハ賢人ヲ以^テ賤トセラレタル事
- ヲ讚タルナリ。

①百練鏡（文集卷四天永四年点） ②「原」文は「屋」
 「屋」ハ「皇」ト。③「脱」字カ。④四海安^危照^當内^事
 百王理^亂ハ「懸」^心中^ニ（文集卷四天永四年点）
 471 青石 アヲキ石ヲ青石トハ申也。各君ニ仕事驕^リ
 不可有^事申タルナリ。
 ② 此段ニハ、唐ノ徳宗ノ御時、藍田ト申山ヨリ青^石
 ③カ^車ニ^レ衆セナントシテ、碑文ト申者ヲエリテ、
 ④大^廟カミノ邊^ニ立^テ神ノ徳ヲ讚^メ、公
 ⑤家ニ立^テ御門^ノ徳^ヲ刻^レケリ。神ノ御事

417 御門ミカドノ御事ミコトノミコトヲ。ニソカニ申難シ、事コトハ、自ミト
 力チカラヲハ、不詮アハカシ、偏ヒナシニ無ク、事コトヲノミエリテ讚メル事コトニ
 ⑦ 有ア、ケレハ、空カラキ言コト、刻シ、ヨリハ、只君ミコニ貳ニ心ココロナク
 ⑧ 仕シ、進マセテ、忠チカ、節セツ、預ヨクラム者モノ、墓ツカ、傍ワタリニ、文フミニ
 ⑨ 付ツキ、武ブニ付ツキ、奉ホウ、公コウ、深コソ、フ、ガキ、人ヒトナムトヲ可カ、刻キ、
 ⑩ ソラコトエリテ無ク、由ユ、ト申也シ。此段ノ意イハ、各ノ
 公ニ仕シラム意イヲハケマサムトマウシタルナリ。

① 原文は「廟」。廟ミヤ、並ナ、正マサ（親名法下103）
 ニハカレ「ミト」ハ、離ワカレテ、「ハ（ハ）」ト談ワザミ難シ。書
 入ハ本行ト一筆、但シ「ミ」ノ上ニ有アスル「ミ」ヲ生カシ
 「ミ」ヲ「ロ」トスレバ、「ラロソカ」トモ解シ得ル。
 ② 「貳」ヲ「タ」コトシ（親名僧下104）
 ③ 全モト「ハ（ハ）」セ
 ノ上、考カウ、等トウニテ「フ」カキレト改ム。

417 ⑩ 兩朱閣 兩ツミヤノ相並チカテ有アリケルヲ 兩朱閣ト申ナ
 リ。

⑫ 此段ニハ、徳宗皇帝ヲ諺タルナリ。徳宗御子兩ナカラ
 418 1 仙人センジント成ナリ、雲クモニ乘ノリ天アメニ登ノリ給ケリ。宮ニツ
 2 ナカラ寺テ、成ナテ、佛ブツレヲ居イラセケル。事コトヲ諺タルナリテ有アリ。
 3 諺タルナリル心ハ、寺テヲ作シテ、杣ソウ木取キレテ、造ツクリ口クチ口クチ
 意イヲ清キヨク身ミヲ慎シム事コトナリ。舊キウ、人ヒトノ棲スル寺テ、セム

418 4 「ハ」万々可有憚。又寺ト申ス事モ可成。其上ニ
 5 都ミヤコ、人ト多ク地ハ少シテ、家々ヲ作り、壘ツツヲ斜シヤナシメニ
 6 空カラシ、所トコロナシ。而ルニ、サノミ無主ムシユ、家ヲ寺テ、成ナサンハ、
 7 都ミヤコニ人何ナニカ住スタルナリ。

① 「造」ト「ミ」ニ消シ「リ」口口口ヲ加ウ。「遠」ノ前
 「口」アルカ。② 「モ」ヲ「ヲ」ニ改ム。

418 ⑧ 西涼伎 師子之舞、西涼ト申ス國ヨリ出テ行有カ
 故ニ師子ノ舞ヲ西涼伎ト申ナリ。

9 此段ノ意ハ、徳宗皇帝、時、將軍ヲ諺リテ有ナリ。
 10 唐玄テウゲン、宗皇帝、時、西方ノ戎ス唐ノ境ニ入初ハジメ。
 11 常ニ國ヲ破リ、徳トク、宗、時ニ成ナリ、西方ノ境西
 12 涼ト申ス國ニ將軍ヲ置オキセテ有ナリ。其將軍猶ナラ戎ニ
 13 被オコレヌ。追オソ、都ミヤコニ迷マヨリ、テ有ナリ。其時、西
 涼、國ヨリ師子ノ舞、詣キテキテ有ケルヲ、「此」
 418 ④ 將軍殊コトニニ愛ケリ。其、諺リテ候也。申心ハ將軍西
 ⑤ 涼ノ國、「國」カロ口口口ニ戎ニ落サレヌレハ、彼、西
 ⑥ 涼ヨリ來タル師子ノ舞ハ「ハ」ニ「ハ」、彌心ミヤココロ「ソ」辱ハハ
 ⑦ 給タマハキヨ、人ニ勝レテ此舞ヲ觀ヒテ、咲ウミヲ開ヒキ
 ⑧ 興ウツクシレヨ増マス、事コト無ク、甲斐カヒ一ヒト事コトナリ。君、愁ウレシ、給タマ時ハ臣
 ⑨ 又可マタ想オモフ。西方セウホウノ打取ウチトルル、事コト、千里、其ノ間ノ民

⑥ 戎ニシエタケラレテ哀フ事ト無^レ限^リ。又團ヲ
 ⑦ 被^レ破^テ御門トモ靜ナル心モナキ折^リシモ、此將^レ軍
 十萬騎ノ軍引^テ西涼ヨリ逐^テ、都ノ西ニ鳳翔ト申
 ⑧ ス所^レ集^リ居^テ、彼ノ師子カ舞ヲ翫^テ終^日遊^ヒ、
 ⑨ 通^テ夜^ヲ歌^ヲウ^レタヒナントシテ思處^モ無^キニ似^{タル}
 ⑩ 事ト、恥^ヲ不知^故也ト^レ謗^{タル}ナリ。

① 西涼^ハ夜^ハ（文庫卷三、天永四年点三） ② モト「置セ
 テケル」トアリ。濃墨筆ニテ「置セテ有^{ナリ}」ト改ム。
 ③ 「其^コレノ^コヲ」ヲ消ス。全^ク都^ト逐^レノ^間一字アル
 ヲ消ス。

418 ① 八駿圖

周穆王ト申ケル御門、八足ヲ乘給^ケリ。
 後人、其馬ノ躰^ヲ畫^ニ書^留ケルヲ、八
 駿圖ト申タル也。

419 1 此段ニハ、事ノ外カニ、奇^カヤ^ク者^ヲハ説^給ヘカラ
 2 サル事ヲ申タル也。昔、周穆王、申^ス御門、空^ヲ
 3 飛^フ馬^ハ八足^ヲ調^ソロエ^テ、車^ヲ懸^テ、盜^姫申^ス
 4 妃^キ、西王母ト申ケル仙女ナムト、乘^リツ^レテ、
 5 ソラヲトヒカケリ^{アソヒ}給^テ、都^ニ返^リ給^事有^ケリ。
 6 サリケレト^モ、大臣公卿^モ更^ニ詣^ル事^モ非^サリケ
 7 レハ、禁^中悉^ク知^ル。七^ノ廟^ノ祭^{ナムト}申^事モ

417 「惹」テ

年積モリケレハ、社^ノ頭^併ラサヒハテニケリ。
 8 國^ノ理^ハ知^ラセ給^ハサリケレハ、民^ノ歎^モ聞^ク
 9 人無^カリケリ。カ^レル程^ニ、國^ニモ滅^ヒ御門^モ失^給
 10 房^ノ星^ト申^ス星^シ、爲^レ失^テ公^カ力^カ國^ヲ八足^ノ馬^ト成^ルト
 11 承^ケル。賢^王時^ニハ、五星^ト申^ス吉^星□^ト
 12 臣^下ナリテ、政^ヲ助^ケ進^セ、倭^レ□^ノ時^ニハ、カ^レル
 13 惡^キ星^様ニ變^テ、國^ヲ滅^{ホシ}候[。]サレハ漢^ノ文
 帝^ト申^ス御門^ノ時[、]或^ル人^一日^ニ千里^ヲ行^ク馬^ヲ進^セ
 14 ケレハ、仰^有様[、]我^レ御行^{アル}時^ニハ千官^ヲ衆^シ
 15 悉^ク隨^事也、我^ノ千里^ノ馬^ニ乘^テ前^立不可^行況^昔ノ
 ① 八足^ノ駒^國ヲ滅^キカ^レル奇^キ物^ヲ不可^用ト
 ② テカ^ハサセ給^ニケレハ、國^モ亂^ル事^モ無^カリケ
 ③ 奇^ク勝^ラ者^ナント^ヲハ、能^ハハカラヒテ可用^ト
 申^{タル}也。

① 八駿圖

（文庫卷四、嘉禎四年点） ② モト「ソレノ
 下ニ字アリ。コレヲ消シ小字ヲヲトヒ^ラ者^入。」
 「ソレヲ消シ^テ」改ム。（左房星之精、下^テ爲^テ怪^ク）
 八駿圖（文庫卷四、嘉禎四年点） ③ 「ト^ハ」^ルニ書
 改ム。□^ノ個^所未^詳。
 ④ 潤^底松 谷^ノ底^{ナル}松^ヲ潤^底ノ^松ト申^セ。

41 ⑤ 此段ニハ、賢^キ人共君ニモ知ラレ參セスンテ空^ク
 ⑥ 深山トナシ入込リ、或ハ³又懷^キ悵^ヲ俸祿ヲ王辭シ朝ニ
 ⑦ 仕ハ又人共ヲ、澗ノ底^ニノ松ノエミニ不^シ知^テ空^ク
 ⑧ 老朽^ヲヌルニ譬タル也。大才^ヲ唐王^ノ賢人ト申スハ、
 政直^ニ胡人モ仕ツカヘテ成^ル極^ニ恥^シタル
 ⑨ 也。サレハ恩祿アツキ人ニモ世直^{ナラ}ナラネハ入込^ル
 ⑩ 事也。左^ニ有^リハ、漢ノ高祖ノ時、東宮ノ詩^ヲ候^ヒ
 ⑪ ケルニ商山ト云山ニコソ^レ計コト、賢^ハ物共ハ有^ラカ^レ
 420 1 此事ヲ計セハヤト御門仰有^レケレハ、時ノ大臣子房
 2 ト申ス人呼^ビケレハ、彼ノ山ヨリ四人ノ賢人出テ
 3 申ケル様ハ、我等秦始皇ノ時ノ榮^ハ甚^シカリシカ
 トモ、政横サマナリシカハ、商山ト申山ニ入リニキ、
 4 今君ノ世ニ成ル由ヲ承リテ詣ル也トコ申ケ。商山
 5 ノ四皓ト申ハ此^レ等也。又周ノ文王ト申ケル御門^ニ
 6 時ニ、湯^ノ悵^ヲ何^ニ賢^ヲ儲^ク穴^ニ入^リテケニ出
 アテ、賢^ヲ得給^フト占^ラ仕ツリテ有^リハ、悅^テ増^シテ
 申ス處ニ出^テ御覽^シケ^ル呂望^ト申ス人、熊ノ皮^ヲ
 8 ヲ着^テ石^ノ上^ニ居^テ魚^ヲ釣^リケ^ル御門、何ニカク
 9 テハト有^リケ^レハ、我^ノ怨^ヲ紂王^ニ仕^ス朝^ニ
 10 恩^ニ預^クト無^シ道^モ世^ニ仕^テ祿^厚位^高臣^下、恥^シ
 11 トス。而^ルニ、殷ノ紂王政直^ニタ、シカラサリシカ
 ハ、世ヲ遣^レテ入込^リニキト申シケレハ、御^レ

420 12 門馬ニ衆セテ王宮へ返ハリ給ヒキ。止賢ナレトモ申
 13 入ル、人^レ無^ナハ、知^ラレマイラセ又人モ多ク有也。
 14 サレハ寧^ニ戚^子ト申^レケル者ハ、牛ノ角ヲ³扱^ヒテ³我身
 ① ノ賢ナル由ヲ歌イケレハ齊桓^ノ公召^テ御覽^シテ政ヲ
 ② 仕セ、孟將君ト申ケル者ハ、大刀ノ柄^ヲハ^ラ打^テ我身
 ノ賢ナル由ヲ歌ケレハ、秦昭王召^シテ國ヲタヒケレ
 ③ ルナムト申ス。カ^レル爲^ニ數^ニ無限^ニナ^リ。

① 深^キノ³ギヲ消ス。② 又^レノ次^ノ悵^ニ一字ヲ消ス。③
 「胡」ノ次、一字アルヲ消シ左行間小字「人モ」ヲ加ウ。
 「人モ」ニ字、イマ本行ニ移ス。④ 「ナレ」ハ濃墨筆、
 「ラ」トニ書改ム。⑤ 「官」ハ濃墨筆補入。⑥ 「祿
 厚」ノ右側、小字複合註、朝恩イ^レトアルヲ消ス。
 「レ」ハ^レノ誤字ならむ。⑦ 祭文ハ「招」。名義抄^ニ
 扱^タク^トノ動用字ナラン。⑧ モト「素」、斜線ニ
 テ消シ、右側小字ニテ「素」ニ改ム。イマ本行ニ移
 ス。

420 ④ 牡丹芳 牡丹之花匂香ハシキヲ牡丹芳トハ申也。
 ⑤ 此段ニハ、唐ノ憲宗皇帝ヲ讚^テ有^ナリ。憲宗ノ御時
 ⑥ ノ人々、公私ノ事ヲ³偏^ニ牡丹ノ花ヲ³詠^ケリ、
 ⑦ 宿^ニ露^ニ輕^ニ盈^ニ紫^ニ艷^ニ朝陽照^ニ曜^ニ生^ニ紅^ニ光^ニ、此^ノ唐^ノ車^ノ軟^ノ輿^ノ也。

420 ④ 貴公主 香衫細馬豪家 郎 此 千片赤英霞 燦々たり
 421 1 百枝 絳焰 燈々 都ノ人々 此花ノ本ニ曰
 2 没 王 葦系モ 車 習白 前ノ邊ニ不堪 事ヲ
 カキタルナリ。

3 衛公家牡丹西明寺、牡丹トテ取別、勝タル事ヲカキ
 4 タルナリ。唐ユシニモ、西明寺牡丹慈恩寺藤花陽
 5 洞、モミク、燕子樓、月ナムト申テ取、有ナリ。
 6 戲蝶雙舞看人久、殘鶯一聲春日長、此ハ長日没ラシ
 7 花、下ニ人ノタ、スミケルヲ書ケルナリ。或レハ金
 マセヲ結テ風ニ散ラムコトヲ惜ミテ、花ノ開ヨリ花ノ
 8 落マテ、廿日カ間ハ此花「悉」ニ「既」ニケレハ、己ニ
 9 國ノ弊ニ及ヒケリ。「然」ルニ此花「紫子」マユニ込モ
 10 リ、五苗、緇整ナル比ヨリ開サフコトニテ候ハ
 ハ、國園イソキヲ押、家ノ貯、盡、不可有。
 11 御門 思召テ此花ノ「不可」ト仰下サレ。此段ノ意、國
 12 ノ弊ニ痛、農業ヲ勤、給ヘル事ヲ美タルナリ。

①「春」トスベキヲ「春」ニ作ル。コノ通用、後ノ天
 可度ニモ見ユ。②「宿」露、野ノ露、泛、紫、艶、朝、陽
 照、曜、生、紅、光、(文、集、卷、四、天、水、四、年、点、二、) ③「此」
 (御、行、の、も) ヲ夫、二、宿、露、紅、光、(唐、車、夜、即、レ、ノ
 説明ノ始ノ語ト見レバ、ニテ所取文アルカ。(全、庫、車

數、終、貴、公、主、香、衫、細、馬、豪、家、郎、(文、集、同、上、) ④
 千、片、赤、英、霞、燦、々、百、枝、絳、焰、燈、々、(文、
 集、同、上、) ⑤「焰」下、「燈」取、字、⑥「習、白、
 志、未、詳、或、ハ、「終、日、ノ、長、カ、⑦「輪」ノ、宛、字、ナ、ラ、ン、
 ⑧「絶」ノ、宛、字、ナ、ラ、ン、⑨戲、蝶、雙、舞、看、人、久、
 殘、鶯、一、聲、春、日、長、(文、集、同、上、) ⑩「長、
 ノ、次、金、ノ、マ、セ、ヲ、レ、ト、ア、ル、ヲ、消、ス、(小、字、書、入、ハ、
 同、筆、原、典、ハ、「共、愁、日、照、芒、花、語、張、
 惟、幕、布、生、陰、涼、華、開、花、語、二、十、日、一、城、之、久、
 皆、若、狂、(同、上、)と、あり、ニ、リ、書、入、ハ、文、意、ハ、
 ⑪「惜、ミ、テ」ハ、続、く、ベ、キ、も、の、錦、ノ、フ、タ、ハ、茶、
 典、ウ、幕、ニ、対、応、す、る、⑫「景、又、花、開、ト、ア、リ、
 イ、マ、開、コ、ヨ、リ」ヲ、本、行、ニ、移、ス、⑬「ヘ、リ、ラ、フ、ヘ、ル、
 ニ、書、改、ム、

421 ① 紅線毯

カモノト申テ多ノ糸「ヲ」以テ冬ノ「禁
 中」庭ニ敷カレタルナリ。以テ紅ノ糸ヲ
 被織ラ故ニ紅線毯トハ申セ。②
 ③此段ハ、國弊ヲ歎ハタルナリ。昔ヨリ宣州ト申國ヨ
 ④リ、カモノト申テ物ヲ織リテ年々ニ送ラセケルヲ、
 ⑤德宗御時、彼國ノ守シ可織様ヲ送クリテ、芙蓉ニ
 ⑥織セテ、披香殿「下」申ス宮ノ内々ニ敷シカレタリケリ。

421 ⑥此ノカモノ廣サ十丈餘、十人ノレ夫ノカラ、同シテ

⑦持ッ事ヲ不得。太原毳澀毳縷硬蜀都^(杜)稱薄錦花冷、

⑧此太原ト申ス處ヨリ詔イル毳モハ糸太^(杜)トトクシテ

ア「^(杜)シ、蜀都ト申ス所ヨリ詔イルシトハ薄クシテ

⑨冷マシ、宣州ノ毳細、糸スチヲ厚ク織レル事ヲ被書

⑩レタル也。此ノ段ノ意ハ、地ハ温カナル事ヲ不思、

422 1人ハ寒、事ヲ歎レク。然ルニ貧、民タミ、^(杜)衣ヲ奪^(杜)

2テ地ノ上ニ被^(杜)著^(杜)一^(杜)事國ノ弊^(杜)ナリ。サレハ^(杜)偏^(杜)ニ彼

3ノ毳ヲ可被止メ事ニハ非ス。本ノ様ヲレ超テ美麗ヲ

被極事ヲ戒タルナリ。レ

①紅^(杜)縷^(杜)。文東卷三 天永四年点シ紅^(杜)縷^(杜)。(文東卷

四嘉種 四年点) (2)該当字明ナラス。「間」心稍近

キカ。(3)原又は「遼」。「遼」ノ誤写ナラン。至太

原^(杜)。澀^(杜)。毳^(杜)。縷^(杜)。硬^(杜)。蜀^(杜)都^(杜)。薄^(杜)。錦^(杜)華^(杜)。冷^(杜)。

(文東卷四 天永四年点) (5) * (6) 冷^(杜)。サマシ。(親名

法上 46) (7) 行末余白無キ爲「タミ」トアリ。イマ

「ノ」ヲ本行ニ移ス。(8) 奪^(杜)。人^(杜)。衣^(杜)。(文東卷四 天永

四年点) (9) * 「ス」イ「何」レトモ解シ得。

422 4 杜陵^(杜)。杜陵ト申ス所ニ翁^(杜)有ル「ヨ」杜陵^(杜)ト申

也。レ

422 5 此段ニハ、杜陵ト申ス處ノ守ヲ誘リテ有ナリ。徳宗御

6時、^(杜)杜陵ト申ス處ニ雨ケルハ、青^(杜)、ナエヒテスシテ

7黄^(杜)、枯^(杜)、九^(杜)月ニ霜早下^(杜)。粟^(杜)申ス者モ青ナ

8カラシホレ落ケル事有^(杜)ケリ。其^(杜)年杜陵^(杜)守ミ國

9 2損亡ヲ御門ニモ不^(杜)申、^(杜)秋^(杜)中ニ年貢ヲ

頻リニ徵ケレ「ハ」、民共其子ヲ賣、桑ヲ典リキ、ナ

10ントシテ所當ヲ成シケ。秋ノ中チ可過^(杜)一方^(杜)無ケリ。何

11ナル人カレ申ケム、御門此ヲ聞召テ悉ク可^(杜)免ス宣

12旨下サレケレトモ、^(杜)民共ニ取ラセ行ハサリケリ。

422 ①十家^(杜)祖^(杜)祝^(杜)ハ九家^(杜)畢^(杜)。虚^(杜)。受^(杜)吾^(杜)君^(杜)。鶴^(杜)カラホル免

恩^(杜)。物^(杜)カハサル、事ナシ。此段、意^(杜)上ニ知^(杜)レ

②マイラセスシテ、國ノ守タル者、民ヲシエタクルコ

トヲ悲タル也。レ

①陝西省西安府城杜陵。杜陵^(杜)。豊^(杜)。(文東卷三 天永

四年点) (2) 本^(杜)。德^(杜)。未^(杜)。孰^(杜)。皆^(杜)。青^(杜)。乾^(杜)。(同上 卷

四 16) (3) □□ハ^(杜)。免^(杜)トアリ。(4) 十家^(杜)。祖^(杜)。祝^(杜)。九家^(杜)。

虚^(杜)。受^(杜)。吾^(杜)。君^(杜)。免^(杜)恩^(杜)。(文東同上 17) (5) 鶴^(杜)

ハ「鶴」。「カウホル」は上の「免」の訓であるべきもの。

422 ③ 繚綾。白^(杜)、綾之勝レテ奇ヲ繚綾トハ申ナリ。

金女工之勞

422 ④ 此段ニハ、唐、徳宗ヲ諗ルナリ。徳宗御時國ニ様

⑤ シヲ下シテ、伎女カ裝束ヲ織セ給ケリ。織爲寒北

⑥ 秋鷹染レ作江南春水色、此レハコノ線綾ヲ織リテ

⑦ 染ナムト有様マヲ書タルナリ。此裝束一重ネ十

⑧ 兩ノ金ニ當ケルヲ、「汗」セニヌレ粉ニ織レテ

⑨ 再上着、不得。照陽改伎女、況マ又土ニ引テ石

⑩ 借ハ心無カリケリ。織ル時ノ苦勞申レ無限モ。

世、常ノ繰リニ並フル事無トレ申事ナリ。此段ノ

⑪ 意ハ、寛差ヲ戒メタルナリ。

① 念女工之勞也(文身卷四天永四年点17) ② 織爲寒北(秋鷹行、染作江南春水色(同上18)) ③ 粉ニ織レテ(粉)

名義抄(粉カクハシ)ノ意。但シ、「粉ネレ」ハ「粉ハラヒ」ノニ通ズルカ。こカ部分に对应する祭典は、「汗」カセ

注「殿イ」ハ濃墨ニテ。

423 ① 賣炭翁 中ニ出テ、炭賣翁賣炭翁トハ申也。

② 此段ニハ事ヲ公ケニ依セテ貧キ物ヲ煩ス事ヲ戒

③ 付ル。唐、徳宗ノ御時炭賣翁有ケリ。木ヲ

④ 殺リテ炭ニレ焼テ、雪ヲ引テ市ノ南ニテ門外ニ炭車

⑤ 置ケケリ。其時黄ナル衣着タル者、出来テ、手ニ

音鐘刮削物セトアリ。⑥ 原文は「押」。

423 ⑥ 文拳テ此旨ト申テ不足。直レヲ以テ牛ノ頸ニ打懸

テ、此炭ヲ押買ニケケリ。翁申様、レ衣(備)

⑦ 難、堪身ナレトモ、炭ノ直ノ増ラム事ヲ思テ、其ノ

⑧ 利ノ、邊ヲ悦コトニテアルニ、宛ラヌ直「己以口

⑨ 押ヘ被召事難レ堪ナリ、ト申ケレトモ、上ヨリ召成

⑩ ト申ケレハ、不及カラレ被召ケリト申ス。(心ハ)

⑪ 此翁田ヲモ不作、桑ヲモ不取、帝王ノ普恵

⑫ 漏タルカ如ナル者也。ミ山ノ奥ニ、マカレル卧キナ

⑬ ント焼、出行「ハ」翁カ一年ノ中、大ナル勵ナリ。

⑭ 君ノ御賸ヲ申サハ天下ニ満テリ。君又事ニ付テ人

⑮ 衣給事ナレハ、炭車一兩ヲ不足直ニテレ

⑯ 不可召。自上不足直ニテ可ト買有非。

⑰ 此言ヲ承ハルレハ、人、熊ハサ成ルヘシ。民ノ各ハ皆御

⑱ 門ノ御身ニ懸、民數ハ併レ御門御上ヘニ積ル事ニ

⑲ 候。況ヤ手ニ文ヲ拳テ宣旨ト申テ、貧キ民ノ物ヲ

押召事、不可有。此事被留ヘシ。御用有物ヲ

⑳ ハ國ミノ備物ニ打ツケラルヘシト申タルナリ。

① 賣炭翁(文身卷三天永四年点3) ② 原文は「押」。

音鐘刮削物セトアリ。③ 原文は「押」。

ニ使用・但シ「押」ハ別字。(4)可憐身上衣。
 正(4)單(4)心(4)憂(4)炭(4)賦(4) (文集卷四 天永四年点)
 (5)「ヲ」ニニ音改ム。(6)源文ハ「汚」。(7)漏(4)ラ
 ン。(8)「ナトハ」トモ解シ得ル。(9)モト「妾」ヲ「ヨ」
 ヲ消シ左ニ「テ」ヲ加フ。イマ右ニ移ス。

403 母別子 新シキカ古(4)キヲ別ツルヲ戒タリ。

- ② 此段ニハ、高キ人母ナムト未御坐人ハ世ニ不御坐ニ
- ④ 事ニテ有トモ、心許ヲ可申シ候。唐ノ代ニ驃騎將
- ⑩ 軍ト申者ノ戎、國ヲ打隨ヘケルニ、御門ヨリ金
- ⑪ 錢二百万ヲ給テ、樂シキ身ト成レテ後、紅樓ノ人ニ
- 414 1 新キ妻ヲ向テ、項年(六) 妻ヲステニケリ。此ノ
- 年來ノ妻兩人ノ子(項)生キ、將軍ノ家ニ留テ出ニケリ。
- 2 一人(始)化テ床ニ懸カリ、一人ハ妃メテ坐ケリ。
- 3 居(始)立キ、行ヲモ哭シキテ人々ノ衣ニ取り付ケリ。
- 4 此ノ子共ノ母ヲ(思)以様ハ、昔ハ諸共ニ榮(カシ)事ヲ
- 願ヒキ、不(キ)圖(ラ)榮(ハ)後(カ)カ、物ノ思ヘシトハ。
- 5 母ハレ子ニ別レテ哀レヒ、子ハ母ヲ尋テ立(タ)事無
- 6 限リ。又慙功(レ)出來(リ)又御恩知(ラ)ハ、今ノ人マカレ
- 7 新キ人モ可シ來(ル)サレハ此段(意)ハ、榮ヘテ後
- 8 貧シキ時(事)棄(テ)事(ヲ)誇(ル)漢(ノ)明帝(ノ)時、床
- 仲子ト申ケル人、我カ形世(ハ)ニ勝タル人ニテ有レ

424 9 ケリ。又御門ノ御母ニテ湖陽公主ト申ス人御坐シケ
 10 リ。此人レヲ彼宋仲子ニ相セムト思召テ、御門宋仲
 11 子ヲ屏風ノ内ニ呼ヒ入テ汝(文)覺深(ク)位(王)高シ、湖
 12 陽公主ニ相セムト思フハ何ニト有ケレハ、宋仲子
 13 申ヤウ、位高恩厚ク成レハ德ヲハ蒙トモ貧(時)妻
 不可棄(ト)申シケレハ、御門不(力)止(給)シ。

① 母別子(文集卷四 嘉禎四年点) (2) 刺(新)アリ
 間(モ) 舊(也) (文集卷四 天永四年点 20) (3) 「ステ
 ニケリ」ノ次、二人ハ妃(ノ)四字アルヲ消ス。(4) 書入
 「始」ハ濃墨。(5) モト「衣」ヲ、「ヨ」ヲ消シ、左下ニ
 「ヨ」ヲ加フ。(6) コノ「ヨ」ト、主格、目的格ノ混用ナ
 ラン。「母」主格。(7) 「思」或ハ「思」カ。(8) モト「人」
 「ヲ」消シ左下ニ「ヨ」ヲ加フ。(9) 「汝」ノ上、更ニ一
 字「汝」ヲラシキ字アルヲ消ス。

441 陰山道 唐ト胡國ノ境ヲ陰山道ト申也

- ② 此段(二)ハ、唐憲宗皇帝(美)メテ候也。此陰山道ト
- ③ 申ス所(ハ)胡國ヨリ賣ケル馬ヲ買ケル所(ノ)ミ(有)ナ
- ④ リ。唐(ノ)將軍ニ進ラセムトテ國々馬買ケルニ、
- ⑤ 鹿(織)短ク切クル線トリ五十(疋)疋ヲ以テ馬一疋ヲ
- 買ケレハ、此ヲ線(ト)用(ス)胡國ヨリ馬買(事)ヲ

424 ⑥ 留タリケリ。徒ニ成リケリ。其將軍馬無シテ、存シキリ數

⑦ ケルヲ、咸安公^レ主ト申人御門ニ申ケレハ、其後胡

⑧ 國ヨリ賣ケル馬ヲ、憲宗皇帝^レ御倉ヨリ、^存綾ナム

⑨ トヲ出シテ買セ給テ、其上ニ、國々ノ馬買^レ直^ラ

⑩ 「薄」ク織リ短ク不可切^ル様シヲ下シ、美ク成ケトハ、馬多ク出キ^レニケリ。^レ

①「ミマカ」未詳。或ハ「コテ」ト読ミ、所^レノ「コ」ヲ消
残トスベキカ。文意から「ミナ」とも考えらるよう。

②原文は「蕪」。「蕪」(發)ニ「シキリ」ノ訓ナシ。或
ハ「存」ノ誤字カ。「金」カ。

425 1 時^分。戒人ヲ警イマシメタリ。エヒスノカタチ

也。面赤色也。^レ

2 此段ニハ、唐、德宗皇帝ヲ美^ル候也。德宗御時、

3 天下^{マテ}静^シ。四方、戎亂事ナカリケレトモ、御門四

4 方、戎、形ヲ造セテ、都^レ中ニ立テ御坐^リ。立

給意ハ、此ノ比コロハ此、エヒス亂イラネトモ、^レ

5 カナル物ノ四方、圍^ハハテニ有テ、隙^有。打入^ラム

6 スルナリ。各^レ心不^ト可^レ打^解。將軍トモニ見セ給ハ

△カ爲也。^レ

7 李夫人 李將軍ト申ケル者、イモウトノ夫人ト

427 成テケルヲ李夫人トハ申也。^レ

8 此段ニハ、漢、武帝ト申ケル御門ノ色ヲ車^{クシ}給ケ

9 ルヲ^競也。^レ漢、武帝ト申ス御門、李夫人ニ後レ

10 テ、其^レ形^口甘泉^殿ウツシヨキテ、心ヲソ安

11 メケレ。哀^ラ心ノ餘^リニ仙述^ノ芳^ヲ召^テ、何カ

12 スヘキト有ケレハ、芳土申様、反魂香ト申^レ香^ヲ焚^シ

候^ヘハ、此、世ヲ去^ル人^モ其^レ香ニ付テ形ヲ見ル事

①ニテ候也ト申ケレハ、御門悦ヒテ彼ノ香ヲ焚給

②ケレハ、幻^ノ様ニテ見ヘテ、暫^クモ^クシテ 中^ノ肝

③モ碎給事ニ成ニケリ。君又不見^レ秦陵^一掘^テ突^テ馬鬼

④路^ノ上^ニ念陽^貴、此ハ周、穆王ト申ケル^レ御門ノ盛

⑤申^レケル御門陽貴妃ヲ失^イテ、一掘 突^テ流^シ給シ

⑥事ヲ申^シタルナ^リ。サレハ人ノ身ハ(色)口有

⑦ラネハ、別^レヲ惜^ムモ苦シキ事ナ^レレハ、只カナル

色ニ不^ハ相^ア不^ト如^カ申タルナリ。^レ

①□タ、モト形^ノ上ニ重ネテ、別ノ字ヲ書加^ル。
其字不明。②「止」ト通。③原文は「翠」。「焚」
正字ハ後出(427)。「火」木ノ上下順、逆。錯
置力。④又^レ不見^レ秦陵^一掘^テ突^テ馬鬼^路上^ニ念^場揚^ル
妃。(文集卷四 天永四年 念^場揚^ル字無^シ) ⑤モト

「晩キ」キヨヲ消シ、左下ニ「シテ」ヲ書加ラ、イマシテ
 ヲ右下ニ移ス。(6)人非木石。(又集同上26)

425 ⑧ 陵園妾 陵園宮ニ被レテ 込有レ 姫ヲ 陵園妾ニ申ナリ。

但何(7)セト申事ヲ不(明)セ。

⑨ 此段心、人ミノ 讒言ノ 畏シキ 事ヲ 申タルナリ。此事

⑩ ツマヒラカニ何(レ)ノ代ト不見。中宮 讒言ニ依テ

426 1 或ル一人ノ 姫キ 陵園(宮)ニ被レテ 込ミサキヲ守

2 ラセケリ。三代ノ 御門ノ 御世過マテ被レテ 込タリ云々。

3 松門 到曉月 徘徊 栢城 蓋日 風蕭蕭 松門 栢城 幽深ク

4 聞聲 聽燕感(光) 陰 此宮ノ 中ニ 戸ノ 難ク 深ク

閉被込ケレハ、月日ノ ユクヘモ不知。タセツキ

5 夕燕ヲ 見テモ、年ノ 行タルコトヲ 知ケル事ヲ 書タ

6 ル也。眼 看 菊菜 魚陽 淚 守 把 梨花 寒食心、又此ノ 菊

7 ノ 花ヲ 看ニモ、昔ノ 魚陽ノ 節ヲ [思]出テ、手ニ 梨

8 花ヲ サヲ 取レニモ、寒食ノ 政ヲ 思出ラレナントシ

9 テ 過ケル事ヲ 書タル也。此段ニハ、陵園宮ニ人ヲ

10 込テ 守サ、守ラセ 給ハ、各日ヲ 送リテ 三年ニ 廻宛

ニハ 歎(悲)不可有(書)ル(也)。

①「ヲ」意不通。(2)松門、到曉月徘徊、栢城、蓋日、
 日、風、蕭蕭、松門、栢城、幽閑、深閑、聽、難、深

感光陰。(文集卷四 天永四年点27) (3)モト「松風」

「風ヲ消ス。(4)通行本「閉」但シユノ字後出「閉」ト明

カニ相違、閉ニ似ル、或ハ「閉」カ、(5)「聞」ハ別筆補

入。(6)「戸」難クハ「戸」ノ意、(7)「ミ」キ

ハ 樂里筆、(8)眼 看 菊菜、魚陽、淚、守 把 梨花、

寒食心。(文集同上27) (9)通行本「把」。(10)「采文

は「衣」。「取」ノ草書体が「衣」ニ似ル例「黑滑龍」ニ

モアリ。

426 ④ 鹽商婦 鹽ヲアキナフ物ノ 妻ノ 有ケルヲ 鹽商婦ト

ハ申タル也。

② 何ニシテモ、物ノ 樂シキ 驕ヲ 過差ヲフルマフ事

③ ヲ 惡ミテ 有(レ)「唐」憲宗ノ 御時、白居易 西江ト

④ 申スカタニハレテ有(レ)「樂」女有(レ)「翠

⑤ ノ 髮 髻ヒンツラ 高カク「アマシテ金、カンサシ」カニヤ

キ、白キタフサコマヤカニ(シ)テ、銀ノタマキ汗付キ

⑥ ナン」トシテユシケニ有レハ、白居易「驚」イテ、

⑦ 何ナル人ソト」問セ 給ケレハ、我ハ此鹽燒ク者ノ、

⑧ 妻也ト答ケリ。猶シテ「返」シテ、何ガシテ 幸ヲ 得ケ

⑨ ルソト問ハレケレハ、申ケルヤウ、我カ男レ舟ヲ家

トシ水ヲ 望(ト)シテ、隨テ 風ニ 行キ 隨テ 波ニトマ 毎年

⑩ 鹽ヲ「事」ツカサトツテ 守(ミ)ニ 獻(ラ)スル時、少シキヲハ

426 ① 守ニ詣セテ、大ラ、クハハ私ニ入ケルセ。カコルタ
 ② ノシキ〔身〕成レルセト申ケリ。此ノ段心ハ、賤
 キ者、田モ不作ヲ桑〔毛〕不取ラシテ、國ノ物ヲ食ホ
 ③ リテ過ヲハ、素食ト申〔毛〕、國ヲ滅ス蓋人ト申タル
 ④ ナリ。素ト申スハ徒〔毛〕ハミト申セ。サシモ過差
 ナル事惡シト申事也。〔毛〕

①「コトハリテ」ハ本文ト同筆。 ②原文は「縁」。 ③「縁」ハ「縁」トシテ、
 ミツラ、モト、リ（觀名仏下本36） 縁、縁、ハ（文貞集）
 卷四天永四年品也） 縁、縁、（文貞集卷四嘉禎四年品）
 ④「ヒ縁」ハ濃墨筆。 ⑤「ト」蓋作申ス事也人ト
 アリ、作、也、マテヲ消ス。

427 杏爲梁。 カラモ、ヲ爲梁桂ヲ柱ナントニシテ家〔毛〕
 ツクリケルヲ杏爲梁トハ申也。〔毛〕

- 2 此段ニハ、臣下共ノ美麗ヲ盡シテ造ルコトヲ家ヲ警
- 3 タル〔毛〕。李開府家ニハ五ヲ瑩キ金ヲ鑊ハメシ
- 4 カトモ、〔家〕未造成サソノ身失セニキ。盧將
- 5 軍カ家ハ白カネノカヘカキヲ移シ、五ノ木尻光ヲ
- 6 輝カシシカトモ、今年〔毛〕又御門〔毛〕レヲ召シテ
- 殊コト人ニ給ヒキ。又其子朝ニ仕ハラ侍ト給ハラス。
- 7 馬嶋カ家ヲハ徳宗其子家ヲ瑩テ子孫ニ傳ト〔毛〕事ヲ〔毛〕

427 門ノ外ノ大路ヲ人ニ聞スルコト無カレ、手ヲ打テ大
 4ニ笑ヒヒテテ〔毛〕、只吾カ質ナラム必ス祖ノ譲リ無
 10トモ美ヨキ家ニモ□。サレハ大字ノ御時、總徴大
 11臣、家作テ居ト人レトモ、今憲宗ノ御時、魏徴カ臣
 12代ノ孫〔毛〕事ニテ給〔毛〕ナリ。〔毛〕

①「コト」ハ「コト」ヲ消ス。 ②「大路」ノ後、行クノ
 ③「コト」ノ語脱ナリ。 ④「ト」モト「譲」ハ「ム」ヲ消ス
 ソノ左、「リ」ニ改ム。イマ、「リ」ヲ右寄ニ改ム。 ⑤「ギ
 ハ濃墨筆。 ⑥或ハ□□トニ字分ニスベキカ、〔毛〕
 字ハ「家」ノ意。 ⑦「居」トモ読得るが、「ト」
 ⑧ハ本資料では、本文と關係の無い書入ル部分（427B）
 ⑨にしか用いられず、すべて「ト」である。「殊ト人」
 ⑩の宛字なりむか。

427 ① 井底引銀瓶。 井底ニ銀ノツルヘヲ引クヲ
 トハ申ナリ。銀ノツルヘニ糸ヲ引クヲ

- ① 逃テ罷トスルナム事ヲ警
 - ② 此段ニハ、人ノ娘ノ祖ノ免ユルシ不テ待一男ノ本ハ
 - ③ 逃テ罷トスルナム事ヲ警
- キニタトハタルナリ。〔毛〕
- 石、上ニ置テ、瑩ミカク事ノアヤウ

④宵^ヨ 契ハ松ノ蔭^ノニ憑^レムレ^ル 晚ノ語ハ卷マクスカ

⑤原ニ裏ウラ返ル事ナルヲ、愚カニ少ヲサ^レシ^テ女ナ

ムトハ、男^コノ契ヲ實ト過^シテ、租ニモ不知シテ男

⑥ノ本^レハ迷テ罷カル者ヲ、銀ノツルヘニ糸^イステケヲ付

⑦テ井ノ底ニ引キ、五^ノ劍ヲ石上ニ置テ燈^ク事ノア

⑧ヤウキニタトヘタルナリ。此ニ^レ大ニ有マシキ事也。

⑨嬖^ビ媚タル云々、祖モ惡ミテオトツレ^ス。レ娘メモ恥

ハナテカキタヘ、又其後^ニ男ノ心新^ニタマリ其^レ妻^レ

⑩モ子共モ空ク成又レハ、^三下^二上^一ナリニシ租^ノ本^ハ

1 返リナハ、^レ親シキユカリノ人々^三何カ負^テ相^ト相^ス

2 申タル也。但毛詩^ト申ス物ニ申タルハ、梅^五七落^一

3 始ル時ヲ盛リトシ、女ハ年加ハ^リテ^レ廿ニナル

ヲ以テ盛^リト申タルナリ。此^レ故ニ、人ノ娘メノ廿

4 ニア^レマ^ルマテ不^レ達^メ置タルヲハ無^レ心^ニ事^ニ申タル

5 ナリ。サレハ、^レ唐王^二女^一ノ廿ヨリ中ニ祖^ノ免^ルシ

6 無^シテ人ノ本^ハ罷^ラハ奔^レ女ト名ケテ、ウタテシキ

7 事ニ申ス也。廿ニアマリ又レハ、何^レ事^ヲモ被

ル^レ免^レ也^レ。

子共モ共^ニレ^ノ共^ニヲ消ス。 ⑤「可カ、 ⑥「被カ。

428 8 官牛 多ノ牛ヲ催^シテ車ヲ懸ル^ル官牛ト^シ申也。

9 此段ニハ、唐ノ憲宗ノ御時攝政ヲ諺タル、彼ノ攝政

10 馬^ノ足^ノ織^レム事ヲ思^テ、五門^ノ堀^ツミト申ス

11 所^ニ砂^コヲ車^ニ入^テ運^ケル程^ニ、幾^ク牛頸^ヒ爛^タ

12 ンレニケル事ヲ諺タルナリ。心^ハ、^レ馬^ノ足^ノヨコ

①レムヲサシモ可^キ痛^ム、多ノ牛ヲソコナハムコト^ヲ無^キ

由^シ事ナリ。其上^ニ、又此人政亂リニシテ人ノ歎^ヲ

②不知^ラケリ。政モ直^ヲナラ^ハ、牛ノ頸^ハ爛^タトモ

③歎^クヘギニアラス^レト申ス也^レ。

①「原^ニハ「復^ル」。 ②「振^ルカ。但シ名義抄、字類

抄共ニツツミ^レノ訓無^シ。大字典ヨリコノ訓ヲ載^ス。

③「運^ル」ハ「ハコ」、濃^キ草^ノ、 ④「コハク」ハ細^キ草^ノ、コ

ノ草、本字本ニモ極メテ稀。 ⑤「モト」頸^ヲ、⑥「モト」心^ヲ、

ヲ消シ左ニ^レヨ^ク加^ウ。イマ右寄ニス。 ⑦「モト」心^ヲ、

「ノ」ニ加筆シテ^レ改^ム。

①「井底引銀^瓶」(文集卷三、天永四年点々) ②「嬖媚」
明^ノ兩^ノ嬖^媚、秘^ノ嬖^媚、宛^ノ轉^ニ、雙^ニ、遠^ニ、山^ノ色、(文集卷

四、天永四年点引) ③「又」又^レアルヲ消ス。 ④

428 ④紫毫筆

⑤此段ニハ、彼紫毫カ筆^カ又筆也。空^キ事^ヲ不^ト

428 ⑥「可書」申タルナリ。宣州ト申所ヨリ年貢トシテ此
 ⑦ノ筆ヲハ進ラ「スル也。此筆ヲ書事極テ不輒。打任
 ⑧タル事不可書」。此筆ヲ以テ、帝王ノ御世ノ有様、
 ⑨臣下ノ拳動書キ付テ、「若御政ノ亂レテ」臣諉イワ
 ⑩メヲ入、臣下ノ奉行横ナラハ、「不憚」君ニモ可
 429 1 奏ス申タル也。此段ノ意ハ、只此筆ニ依ヘテ「君ノ
 勅宣」不直、又臣下ノ筆ニモ偽「イッハリ」書事ヲ申
 2 シ知シメンカ爲ナリ。ト

①「書申」所ヨリノ十二字、行半バヨリ書始ム（
 同大）字。イマ本行ニ改ム。②屢々使用ノ「シ」
 （書）ト稍異ルモ同字トミル。③「イッハリ」細異
 筆。前項「官年」注⑤ノ筆ト一筆ナラン。

429 3 隨提柳 隋ノ國ト申ス國ニ柳重被殖ケル
 ヲ隨提柳トハ申セシ

4 此段ニハ、帝王位タル人ハ不遊ハ事ナレハ、國
 5 ノ王トシテ政ヲ治シメ御坐サム人ハ、アソハサ又事
 6 ナレトモ、心許ラ申ナリ。此段ニハ、隋ノ煬帝ト
 7 申ス御門ノ國ヲ滅シ失ヘリシ事ヲ哀シタルナリ。
 隋ノ煬帝、米河ト申ス河ノ岸ニ柳ヲ殖テ、千三百
 8 里ノ程ニ翠影ヲ機ハテ、鑲玉キナムトニ金ヲ

429 9 鐘、舟ヲ千層ト浮ヘテ遊樂ミ給ケリ。此ハ、
 10 官ノ上ノ人鐘シキ共ニ繩ニトリスカリ、ヤサシキ
 11 女房五ノトハヤニ遊ヒナムトシケル事ヲ書、タルナ
 429 ①リ。管絃ヲ事シ、舞ヲ宗トセラレケレハ、「歌」コ
 工浪ノ舞、伎ノ女ノ黛、柳ノ糸ニ融カヨヒ亂
 ②レナムトシテ、興増シ、勇増シテ、遊ヒ戲フ
 ③レ給ケル程ニ、都コハ返リ「給ケル事ナカリケレハ、
 ④禁中モ皆荒レ、世中ノ政ヲ忘レ給レケレハ、國モ皆
 ⑤ナ亂レニケリ。カ、ル程ニ、大原ノ李淵ト申シ人、
 御門ヲ失イマイラヒムト思心付ニケリ。ソノ子ニ大原
 ⑥ト申ス人、軍ヲ起シテ隋ノ煬帝ノ臣下共失テ、御
 ⑦門ヲ押シ込テ、我父ヲ位ニ居ニケリ。唐ノ高祖ト申
 ⑧スハ此也。此段ニハ、煬帝ノ國ヲ滅セシ事ヲ哀シタ
 ⑨ルカ故ニ、國王タル人ハ不遊ハ事也。ト

①「申ナリ」三字、余白ニ別行。イマ本行ニ改ム。
 ②書入ハ濃墨筆。③「機」ハ淡墨ノ上濃墨筆ヲ
 以テ重又。④「書入ハ濃墨筆」。⑤「護錦」ハ上ト下ト
 青城御女・道紅樓。⑥「文筆」卷四天永四年点36。
 ⑦「五ノトハヤ」ハ注⑤ノ「紅樓」ニ対応するもので
 あり、「トハリ」ノ誤字と考へられる。⑧「事」ノ
 次「出」シトアリ。上ノ「本」ヲ消ス。⑨「歌」ノ左

ト、文中ト、下ヲ消シ、五ニテリヲ加テ。イマノヲ右
寄ニ改ム。

431 1 古塚狐 フルキ塚狐ヲミミ申タル也。①

2 此段ニハ、姫ナムトノ謔言ニ付テ、賢人ナムトヲ矢

3 給事不ロレ可有申タルナリ。般ノ紂王ト申御門御

4 坐マシケリ。②始己ト申ス妃ノ謔言ヲ信シテ、多ノ

5 人ヲ失ヒテ後ニハ③我御子ニ比テト申ケル王子ヲ殺

6 害シ給ヒケリ。カナル程ニ、人皆ラレトミ退テ、西

7 伯显ト申ス人ニカヲ合セテ、御門ヲ失ヒニケリ。

又周ノ幽王ト申ケル御門ノ御時、褒如姫申ケル

8 妃在ケリ。此妃ノ咲エ嘲無ケリ。御門無類一思召

9 ケル様ニ嘲ハセム事ヲ夕はかりて、とふひと申ス

10 火ヲ揚カレケ給ニケリ。トフヒト申スモノハ、都

11 ニサハク事ノ有時ニ揚ケル事有レハ、諸將軍飛火

12 ニフト六キテ、兵ヲ引レ將ヲ禁中ニ詣リテ有ケレ

13 トモ、別、事ヲウケレバ、白ケテ返リケルヲ、

① 后、見テ始テ嘲ラヒ給ケリ。此ヲ嘲セムレカタメニ、

飛火ヲ揚事アマタ度ヒニ成ヌ。カナル程ニ、西

② 方、レ戎ス俄ニ都ニ打入ケルニ、飛火ヲ揚テ有ケレ

③ 此又后ヲ嘲セムカタメノ飛火ナルラムト申テ、

④ 將軍一人モ不語レサリケレハ、御門無甲斐、俄ニ

⑤ 打レ給ニケリ。申ス心ハ、レ狐ノ女ノ舐ヲカフル、
⑥ 槍ヲ人ニ迷ハス。況ヤ、實ノ女ノ人ヲ迷事遙ニ
⑦ 可過。此又、御門ノ色ヲ僅クシ給故也。國ヲ
治メ給ハム人、色ヲ不可「好」給ニ申タルナリ。①

① 古塚狐 (文庫卷三 天永四年 志 4) ② 褒如姫之
色 (同上 卷 40) ③ モト乃ル様ニ「様」ヲ消ス。
④ 西伯昌 ⑤ 「如」ノ次申「アル」ヲ消ス。「如」ノ次
⑥ 「股」字カ。⑦ 「程」ノ志。前注③ニ準スベシ。

⑧ モト「諸」濃墨筆ニテ「諸」ト改メ、左下ノ「テ」
ヲ消ス。⑨ モト「タ」ニ、「上」ノ上濃墨筆ニテ「ニ」ニ改ム。
⑩ 「カ」ニ「カ」ニ改ム。

432 ⑧ 黒潭龍 江南淵ト申淵ノ底ニ龍宮有ト申傳タルヲ

① 此段ニハ、江南ノ守ニテ有ケル者ヲ惡タルナリ。國

2 アリ。雨ヲイ「タ」シ曰ヲ照スコト、此神龍ノスル所

3 也。又國ノ榮衰ル「事」此ノ神龍ノツカサトル者也。

4 須ク、此神龍ヲ奉テ「祭」國ノ豊カナ事ヲ請フヘシト

5 申テ、家ニ「取」テ殺シテ「酒」ヲ作りテ、四季ヲ向

6 ハテ、此神龍祭ケリ。酒ヲ「社」前ノ草ニ灑キ、

432 肉ヲヲハ淵ノ傍ノ石ニ取棄サントレハ、林ノ鼠スミ

山ノ狐醉テ、神龍更ニ受クル事無シ。國ノ榮ヘ亡レ

8 事、更ニ神龍ノスル所ニ非。而ニ、神龍ノ有^レ無^クヲ

9 未^{シテ}知^レ此ヲ祭シケレハ偏ニ國ノ弊ナリ。而ヲ、江

10 南ノ守ミ、此ノ祭ノ時ニ得物ノ大キ事ヲ資木

ハテ、此祭ヲ結構セサスル^レ事ヲ惡シト申也。

① 黒澤龍 (文集卷四嘉祿四年点)。本節全文B第

② 詩題ト本文トノ間ニ書入アリ。「南無阿弥陀佛ニ

此はミズクのあはせ給候へく候し。ニ本棒ヲ引テ

消ス。本文ト一筆。③ ハカカ。類例は次の通り、

咲^ク嘯^ス (918) 熊^ク (423) 苦^ク (463) 子^クモト衰

ナリ^ク、ナリヲ消シ左ニ^レルヲ加シ、イマ^レ此右寄ニ改ム。

④ 祭文は「云」。取^レノ草書体「衣」ト紛ラハシキ例多。

⑤ モト^ク祭^テ、^{コト}ヲ消シ、左ニ^レシケレハト改ム、イ

マ^クシケレハ^レヲ右寄ニ改ム。

432 ① 天可度 人心ハ天ノ事ヲモハカリツヘキカ故ニ天

可度ト申^タルナリ。

② 此段ニハ、人ケ心ノコソ六シク難量事ヲ申也。日蝕

③ 月蝕ニナントヲモ檢カハ、天變ナムトヲモ占ナヒ當

④ ル也。天ノ事^レヲ糾^シ、地ナントヲナコムル事、地

432 ⑤ 事ヲ量リ知ルニアラスレヤ。思人ノ心ニ置キテハ、

⑥ 枕ヲ竝ハ胸コ乍合^レ不知事^レ也。昔楚ノ懷王、御時

⑦ キ、御ヲホハ無類^ニ一姫御坐シ^レケリ。有ル人怨ミ

⑧ 思テ、妃ニ相テ儀カリ申様、御門ハ^レ汝カ鼻ヲ

⑨ セ給也。視エ參^ル時ハ鼻ヲ可^ク掩^ル云上、此夫

⑩ 人又御門ニ申様、妃ハ君身、臭ク御坐スカ難^クコトヲ

忍^シ申セト申ケレハ、御門無過^ク一妃退^ケテ、計ト申

⑪ タル^レ夫人ヲ寵愛セサセ給ケリ。又尹^ヨ吉甫ト申ス

⑫ 人有ケリ。其子ニ伯奔ト申者有ケリ。伯奔ノ外母

433 1 尹吉甫ニ^レ申様ハ、吾^レ妾^ト歟^ニカ故ニ、汝^カ子伯

2 奔^カ常ニ心ヲ依スル^レセト申ケレハ、尹吉甫申様、

3 伯奔ハ心^ニ直シキ者也。此^レ事難^シト用申^テケレハ、

4 伯奔ヨスヘテ汝トヲ具^シテ、伺カニ^レ見ヨ、其氣色顯

5 レナムト申ケレハ、人無キ所ニ兩人^ヲ置^テ、尹吉甫

トヲ具^シテ及ソキケレハ、伯奔走依リテ外母^ノ衣頸^ニ

6 ニ取付キケレハ、母ナケサリ。尹吉甫本^ニ詣^テキ

7 テ^レケリ。尹吉甫賢^ト思^テ、伯奇ヲ追^テヒ失ステニ

8 ケリ。伯^レ奇山ニ交リテサマヨヒケルホトニ、周宣

9 王ト申ス御門^ノ狩^ニ出^テ野中ニシテ伯奇ヲ見付

10 テ、何^ニト問ハセ給ハレ申^レ様、吾外母ノ衣ノ頸ニ

11 大ナル蜂^ノ有シカハ、母ヲサ^ムム事ヲ思^レテ、急キ

12 取候^レに。た、何なる事にか有けん、父ニ被^レ衣

433 12 候也 申けれハ、御門直せ給けるほかに、外母ノ傍
 13 テ蜂ヲ殺テ衣ノ頸ニ付キラル氣色ヲミ^(言)有ケレハ、伯
 14 奔カ急^(急)依リテ蜂ヲ取ケルヲ、外母ニ取付、見ケレニ
 ① 此ハ^(言)春秋紛話ト申^(文)見^(イ)タリ。このたんにハ、
 ② かゝるためし^(後)をひきて、人にこゝろヲゆるすへか
 ③ らなる事ヲ申た^(イ)るなり。

↑天^カ度^タ。(文集卷三 天永四年点々)。本節全文B
 筆。②伯奇。文中、「奇^イ併用。③「^イ」ヨ
 ニ書キ改ム。④「^イ」ヨ以テ「^イ」ニ充ツルハココノ
 間連アルカ。⑤「^イ」ヲ以テ「^イ」ニ充ツルハココノ
 ミ。⑥「^イ」ノ仮名、或ハ「^イ」ノ誤写カ。⑦「春秋後
 語カ。

- 433 ④ 秦吉了 鸚鵡ト申鳥ヲハ^(イ)ト申。
 ⑤ このたんにハ、たとへをとりてく^(イ)のかみのたみを
 ⑥ し^(イ)えたくる事ヲぞしりたるなり。とりの中にて、
 ⑦ 鳳^(イ)凰^(イ)ヲ帝王ニ譬^(イ)ヘ、山鳥トツルヲ大臣ニたと^(イ)ス、
 ⑧ 鸚鵡^(イ)ト辨官ナムトニ譬^(イ)ヘ、^(イ)鳥^(イ)ヲ國ノかみにたと^(イ)ス、
 ⑨ 燕^(イ)ト^(イ)民^(イ)ニたと^(イ)ス、
 ⑩ 卵^(イ)ト^(イ)鳥^(イ)ニたと^(イ)ス、
 ⑪ テ、^(イ)種^(イ)ヲ復^(イ)ス、^(イ)ツレカミサケテさりぬ。これを、

434 1 くのかみのたみをしえたし^(イ)けるにたとえて候な
 2 リ。ほうくわう深、山ニ込居テ更^(イ)ニ此ヲ不知、又
 3 鸚山鳥なんとハ志高^(イ)シテ、カ^(イ)ル事^(イ)にい^(イ)ろはぬ事
 4 なり。これくのかみのたみを滅スヲ帝^(イ)王知セ給
 5 はず。又大臣なんとの、くのかみの有様ヲ帝王
 6 なんとにも申さぬにたと^(イ)えたるなり。この^(イ)中にあ
 うむと申すと^(イ)りハ、人の語、^(イ)トカク^(イ)トナキ
 7 ヲ學テ^(イ)鳥也。燕鷄ナムトカ^(イ)鳥^(イ)ナムトノシエタク
 8 ル^(イ)事^(イ)ヲ鳳凰ニ申セト被書たるなり。申心ハ、諸
 9 の民^(イ)を國ノ守タル物^(イ)ノ、ほろほす事^(イ)ヲあはれみ
 10 事なり。きみのしろしめさねハ^(イ)のイ^(イ)ましの無
 11 し。只辨官^(イ)たりん人、よき事をもゆるき事をも
 12 かみの事をもし^(イ)しもの事をも申ス鳥からすと申タル
 13 なり。へい^(イ)にしへの野中のしみつぬるけれと本の
 14 こゝろをしる人ぞくむ^(イ)。

↑本節全文B筆。②「^イ」片仮名。③「^イ」トア
 ルヲ「^イ」ノミ消ス。イマ、^(イ)ツルヲ本行ニ移ス。④「^イ」
 片仮名。⑤「^イ」平仮名。⑥「^イ」行末余白ナキ鳥カ
 モト「^イ」トアリ。イマ、^(イ)ヲ右ニ移ス。⑦「^イ」片
 仮名セノ異体。⑧「^イ」ニ字重複。イマ、一字ヲ
 除。⑨「^イ」片仮名セノ異体。⑩「^イ」ヲ入れるべきか。

Uハ内ハ本文トハ無關係ノ書入レ。

434 ① 鴉九劍 此ハ張鴉九ト申ス人ノ劍ヲ作りテ候ケル

ヲハハトハ申タルナリ。

- ② 張鴉九ト申者(鴉九劍) 吳山ト申ス山ニテ 劍ヲ作りタリ
- ③ ケリ。彼ノ劍キ金ヲ削玉ヲ切ケリ。空ニムケムレ
- ④ 八星(星) ヲカサレ、深キ深雲モナントモ敵ニケリ。
- ⑤ 此段ニハ、吉キ人吉 諍諍背背事ヲ申タルナリ。惡
- ⑥ キ人多クシテ朝ニ滿満シヌレハ、美キ人モ皆世ヲ棄
- テ、山林ニ交ル事有。カナル時ニハ、政政王王亂亂テ民民
- ⑦ モ哀ミケリ。賢王御時賢王御時 賢キ人ヲ用用、傳傳王王ノ時
- ⑧ ニハ偽偽レル人必ス榮榮事ナリ。國國モ滅滅ヒ民民モ煩煩。
- ⑨ 又君君モ賢賢チレトモ、臣臣ノ心直カラスシテ、美キ事
- ⑩ ヲ消シ惡惡事ヲ顯顯シテ、賢賢人ヲ埋埋 帝王帝王ノ普
- 435 ①、雨露雨露、恩恩ニ漏漏ス「事事モ有ナリ。」ユレヲ、ハルノ
- 2 ヒアタカニシテ草木ノ若葉若葉ハノ生生モ出出ツル心、
- ユキケノ雲雲ヲ覆覆テトケキ日日ノ光光リヲ隱隱スニ譬譬ル
- 3 也。只此ノ劍ニテ玉玉ヨキリ、鐘鐘ヲ切リテモ無由無由。日
- 4 ノ蔭蔭隱隱ス邊邊雲雲ヲ切切ナハ春春日日ヲモイタシ、草木
- 5 ヲ生生エ出出ヘシト申タルナリ。申心申心ハ、國國ノ大將
- 6 軍軍ヲラム人ハ、美美キ人ヲ埋埋ミ、惡惡キ人ヲ勸勸、政
- 7 ヲ亂亂、國國モ滅滅サハ者者ヲ可可失失也トト申申ナリ。

↓ 鴉九劍(文庫卷四嘉神四年点) ② 「勸」ノ誤
字ナラン。

435 採詩官 唐ノ習トシテ、御門ニ申サント思事ヲハ

詩ニ作テ、申事共ヲ取繼取繼、登前登前王亂王亂之所

「由」口ケルヲ採詩官トハ申ナリ。

- 1 此段ニモ、心カタマシキ臣下無無量量民民ヲ冤冤事事
- 10 ヲ哀哀タルナリ。申心ハ、昔ハ採詩官ト申ス官サ
- 11 ヲオカレテ、臣臣カノ申ス事事モ、民民ノ申ス事事ヲモ、
- 12 人人ヲ不不詮詮取繼取繼レハ、國中國中ノ專明專明有ケリ。
- 13 今ハ、此官此官不置不置シテ送送レ成ヌレハ、下ノ心上
- 14 ニ難難通通一怒一怒ヲ含含多シ。又キミノ御夕御夕メニ
- モ此官此官被置被置タラハ、美キ事ニテアルナリ。其、
- ① 故ハ、御政御政ノ惡惡ヲハ不憚不憚申サハ人ノ心モ可行可行、
- ② 怨怨ヲ含含ム多シ衆出來出來ハ、君君ヲ背ク人モ有有又
- ③ ハシ。サレハ周厲周厲王王レ、戎戎ニ被殺被殺、秦二世秦二世皇皇ノ臣臣不
- ④ 被失被失シモカカル官官不置不置シ故ナリト、爲シ
- ⑤ ヲ引タルナリ。カ、ル故ニ、昔ノ周周、成王成王ノ御御時時
- ハ、諫鼓諫鼓ト申テ鼓鼓被懸被懸タリケリ。君君ニ可申可申事事ノ
- ⑥ 有有時時ニハ、此此ツ、ミヲ打ケレハ間召ケリ。同
- ⑦ 時時又又謗謗本本云云彼彼レホレ被立被立タリケリ。有有怨怨者者
- ⑧ 賤賤ク有有ナムトノ民民詰詰リテ此此ノ本本、亦亦有ケレハ、

435 ④ 具サニ召被レ問ケレハ、愁ヲ殘ス者」ハ無カリケリ。

⑩ 此段ノ意ハ、君ノ床ハ高君門ハ深ケレハ、國ノ「守
ハ無憚カル所」民ヲ寃^{タケ}、國ヲ滅ス事ハ淺猿シキ事也。
⑪ 如ク本、採詩官ヲ被置タラマシカハ、サノミ民煩事
⑫ 非シト申レタルナリ。

〔1〕 鑿前王亂亡之所由也（支那史卷四 天永四年条付）

〔2〕 モトヲ人ヲエリテ不詮レ、エリレヲ消ス。〔3〕 愁ヲ

含ム人多シ^{イハレ}、^{イハレ}の「人多シ」は行ならん。〔4〕 原又は

「星」。「星ハ」星ノ意。〔5〕 この部分ハ「矢ハ被シモ

の意で、「不」は行ならん。〔6〕 「カレ」カレ股字カ。

〔7〕 「石」ノ前ニ「コ」アルヲ消ス。

436 1 新樂府注卷下 (花押)

正嘉元年七月廿日

於相州鎌倉佐伯自谷書了

(以下、本文と関係なき文章あり、これ省略す)

自立語索引

あ

- あひす(愛) 418 ①
 愛ケリ
 あうむ(鸚鵡) 434 6
 あうむ 鸚鵡 433 ④ ⑥
 あかがね(銅) 417 5 5
 銅
 あかす(明) ↓ なきあかす
 す
 あかつき(曉) 427 ④
 曉
 あき(秋) 403 ④ ④ 404 1 422 8 10
 秋
 あきうけむ(鷗九劍) 431 ①
 揚アキウ
 鷗九劍
 あきごころ(空所) 434 ①
 鷗九劍
 空、所ソコ
 あきなひ(商) ↓ とりあ 418 5
 きなひ
 あきなふ(商) ↓ とりあ 435 12
 きなふ
 アキナフ(連体法) 416 ①
 きなふ
 あきらかなり(明) 435 12
 明カニ有ケリ
 あきらむ(明) 425 ⑧
 不「明」也
 あぐ(揚) ↓ かかぐ 431 ②
 揚アグ
 あくるとし(明年) 404 ②
 明ケル年
 あさまし(淺猿) 412 ②
 淺猿シキ
 淺猿
 あし(足) 428 10 12
 足
 あし(惡) 409 ④
 惡カリ又ヘキ
 惡シ 409 ② 426 ④ 432 11
 惡キ 410 ① 419 11 434 ⑤ 435 6
 惡ハ 434 ④
 惡ヲハ 435 ①
 惡口レハ 410 ⑫
 あした(朝) 409 ⑤
 朝アシタ
 あせ(汗) 426 ⑤ 422 ⑧
 [汗]セ
 汗
 あそばす(遊) 429 5
 アソハサヌ
 不又遊ハサ 430 2
 不又遊ハサ 429 ⑧
 不又遊ハサ 429 ⑧
 あそびたのしむ(遊樂) 429 9
 遊樂ミ給ケリ
 あそびたはぶる(遊戯) 429 ②
 遊ヒ戯フレ給ケル
 あそぶ(遊) 429 4
 不遊ハ
 遊ヒ 418 ⑧
 遊ヒケリ 411 ①
 アソヒ給テ 419 4

透ヒナントシケル 421 10

あたたかなり(暖)

アタムカニシテ 435 1

暖カナル 413 1

温カナル 421 10

あたひ(直)

直 423 5 7 8 10 24 24 24 24 24 24

あたらし(新)

新シキ 406 8

新キ 423 10 424 6

新キ 404 4

新キ 404 4

新(連体法)

新シキカ 407 1

新シキカ 423 7

あたる(當) ↓ あひあ

る

宛ラヌ 423 8

當ケルヲ 422 7

あつ(當) ↓ うらなひあ

つ・めぐりあつ

宛ニケリ 430 13

あつかる(預)

預ラム 417 8

預カドト 420 9

あつし(熱)

漏 アツシテ 408 11

あつし(厚)

厚ク 421 9 424 12

厚ク 420 10

アツキ 419 9

あつまりゐる(集居)

集リ居テ 418 8

あつむ(集)

集ムムヨリハ 430 10

集メテ 405 4

集テ 411 12

聚メテ 423 12

あな(穴)

穴 アナ 420 6

あながちなり(強)

懲 ナリケレハ 403 8

あは(粟)

粟 422 7

あはす(合)

相セムト 424 10 11

合セテ 431 6

乍合セ

相ス 428 1 432 5

あはれ(哀) ↓ もののあ

はれ

あはれなり(哀)

哀ナル 407 8

あはれび(哀) ↓ おむあ

はれび

あはれぶ(哀)

哀シヒ 424 5

哀給 423 1

あはれむ(哀)

哀タルナリ 429 6

あはれみ事 434 9

あひあたる(相當)

相宛タレリ 403 4

あひだ(間)

間タ 409 4

間 409 4

間 409 4

間 409 4

間 409 4

あひつぐ(相繼) 406 6

相繼(中止法)

あひならぶ(相竝)

相竝テ 417 11

あひ(合) ↓ よりあひ

不相一事 405 11

不ニハ相 425 7

相テ 412 7 432 7

あへて(敢)

敢テ 410 2

あます(餘)

アマシテ 426 4

あまた(許多) ↓ ひとあ

また

アマタ 415 5

衆 413 13

あまたたひ(許多度)

アマタ度ヒ 431 1

あまねし(普)

普キ 423 11

普キ 423 11

普キ 423 11

普キ 423 11

あま(餘) ↓ ひとあ

あま(餘) ↓ ひとあ

有^{ナラ} 419 ⑩

有^{ニハ}非^{ラシ} 423 ②

不^{アル}有^{カラス} 413 ⑧

不可^有 421 10

不可^有 423 ⑤

不可^有 431 3

不可^有 417 ①

可有^憚 418 4

可有^憚 406 ⑥

有^{マシキ} 405 ⑬ 413 ⑩ 427 ⑧

有^ル 409 ④

有^{トモ} 422 4

有^{レハ} 405 ⑩ 411 8

有^{レハ} 415 5 419 ⑩ 431 11

あり(補助動詞)

有^{ニハ}非^{ラシ} 423 ②

量^リ知^ル 432 ④

不^レ單^ニ 409 2

石^ニ木^ノ有^エ 425 ⑥

堪^ム有^ラ 413 2

堀^セ有^ケ 411 1

勝^{タル}有^ケ 424 8

明^カ有^ケ 435 12

江^南守^ニ有^ケ 431 ①

年^ニ十^四有^ケ 408 ⑩

語^テ有^ケ 418 13

語^リ有^ケ 431 2

揚^テ有^ケ 431 ②

進^テ有^ケ 416 5

直^ニ有^ケ 430 ⑥

氣^色有^ケ 433 13

何^{なる}事^ニ有^ケ 433 11

惡^シ有^リ 426 ②

美^キ事^ニ有^ケ 435 14

誇^リ有^ケ 418 9

不^相事^ニ有^ケ 405 ⑫

誇^リ有^ケ 422 5

置^セ有^ケ 418 11

迷^語有^ケ 418 12

讚^テ有^ケ 420 ⑤

所^ノ事^ニ有^ケ 424 ③

出^キ有^ケ 418 8

賤^ク有^ケ 435 ⑦

悅^{コト}有^ケ 423 8

歎^{コト}有^ケ 426 10

ア^マ事^ニ有^ケ 410 ⑧

難^有 408 ⑧

生^ヒ繁^シ有^ケ 430 1

不^御事^ニ有^ケ 423 ④

不^遊事^ニ有^ケ 430 3

仕^ツ有^ケ 420 6

ユ^シ有^ケ 426 ⑥

ヲ^ハ有^ケ 426 ③

有^リがたし(有難)

數^有 408 ⑦

有^リさま(有様)

有^様 414 ⑨ 416 ⑤ 430 12

有^様 422 ⑥

有^様 408 6

有^様 415 413 ⑥ 428 ⑧ 434 4

ある(連体詞)

有^ル 407 5 432 ⑦

或^ル 419 12 425 ⑩

ある(荒)

有^ル 429 ③

ある(或)

或^ハ 403 6 411 4 419 ⑥

あるなし(有無)

有^ル無^シ 422 8

あを(青)

青^ナカラ 422 7

あをし(青)

ア^ヲキ 417 ①

青^キ 417 ②

安^祿山 408 3 8 12 409 7

い

いうわう(幽王)

幽王

いかか(何)

イカ

何カ

いかでか(何)

何カ

いかなる(何)

何ナル

何なる

いかに(何)

何ニ

何ニ

何

いきどほる(發射)

衛ヲ肝ト

いく(生) (上ニ段)

生テ

生テ

生、ナカラ

いく(生) (下ニ段)

生イケテ

いくさ(軍)

軍

軍

軍

いくばく(幾)

幾々無シテ

いくほど(幾程)

幾程

いけ(池)

池

いさみ(勇)

イサミ

勇

勇

いさめ(諺)

諺イサメ

いし(石)

石

412 ②

404 ⑩

403 6

415 ④

418 ⑦

406 ⑩

411 1

429 ⑥

406 ①

406 ⑩

411 3 5

411 3 5

411 3 5

411 3 5

411 3 5

415 1

415 7

428 ④

417 ①

417 ①

417 ①

420 8

430 7

432 6

421 10

433 11

433 14

405 ⑬

405 ⑬

405 ⑬

403 ⑩

435 4

432 1

435 4

435 4

435 4

435 4

435 4

435 4

435 4

435 4

435 4

不痛

痛メ給タル

痛

可キカ痛

いたる(至)

至ル

至レル

いち(市)

いちきく(一擲)

いちにち(一日)

一日

いちねん(一年)

一年

いちひき(一疋)

一疋

いちりやう(一兩)

一兩

いつ(何時)

何ナタ

いつ(出) ↓ おもひいつ

いつ(出) ↓ おもひいつ

408 ⑥

417 1

421 11

428 12

405 ⑩

430 9

423 1 4

425 ⑤

416 ⑩

419 12

419 12

419 12

423 13

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

たづぬいづ・はしりい
 つ・もえいづ・ちきい
 てゆく
 不シテ出
 出給
 出テ、
 出テ、
 出ニケリ 410 ⑫
 出ニケリ 415 ⑤
 出ニケリ 424 1
 可出 403 ⑬
 いづく(何處)
 何ツカニ 418 6
 いづつ(五)
 五 413 ①
 ② ⑤
 いづと(一斗)
 一斗 410 ①
 いづはり(偽)
 偽 409 ⑩
 410 4
 429 1
 偽 409 ⑩
 偽申スヲ
 いづはる(偽)

ハイツハリテ
 偽レル
 いづみ(泉)
 泉 430 10
 いづれ(何)
 いづれ 411 ①
 何ツレ
 いづく(出来)
 出来ナハ 435 ②
 出来ナハ 413 ①
 出来ケレハ 410 ⑤
 出来ハシカ 410 ⑩
 出来タリ 416 3
 出来タリ 418 8
 出キテ 404 7
 出キテ 406 1
 出キニケリ 424 ④
 出来口 424 6
 いと(糸)
 糸 421 ①
 ⑦
 429 ①
 いとけ(糸毛)
 糸毛 421 1
 いとすぢ(線)

糸スチ 407 ⑥
 糸スチ 427 ①
 糸スチ 421 ①
 糸スチ
 いとふ(狀)
 狀ハセ給也 432 ⑧
 いとま(暇)
 暇 403 ②
 いなくき(船莖)
 イナクキ 船莖 421 9
 いにしへ(古)
 いにしへ 424 13
 古 417 7
 いのち(命)
 イノチ 409 ⑥
 命チ 409 2
 命 403 7 ⑫
 命 404 ⑩
 命 405 ③
 命 410 ⑥
 いのり(祈) ↓おむいの
 祈リ 406 3
 いは(石) ↓いし
 いはむや(況)
 況ヤ 422 ①
 423 ④
 431 ⑤

泥 419 14
 泥 430 ⑧
 いふ(云)
 云レ給ヘシ 415 8
 云ヒ 432 ⑧
 云フ(連体法) 412 ⑦
 云(連体法) 419 ⑩
 云(連体法) 435 ⑥
 云(連体法) 427 7
 いへ(家)
 家 413 5
 家 418 6
 家 424 1
 家 426 ⑦
 家 427 1
 家 2
 家 3
 家 4
 家 7
 家 9
 家 10
 家 11
 家 5
 家 10
 家 4
 いま(今)
 今 411 ⑩
 今 413 ⑦
 今 417 7
 今 420 3
 今 424 6
 今 427 11
 今 435 12
 いましむ(戒)
 戒メタルナリ 422 3
 戒メタルナリ 423 ⑦
 戒メタルナリ 425 1
 戒メタルナリ 405 5
 戒メタルナリ 405 5

戒ナリタル 423 2
 戒タルナリ 425 ⑬
 警言タルナリ 427 ⑤
 警言タルナリ 427 2
 いましめ(戒) 424 10
 イましめ 406 9
 戒メ 427 3
 未止 415 6
 未スミテ造成 423 ⑩
 未御坐 427 3
 いみじ 403 3
 美シ 424 ①
 いむか(汴河) ↓べんか 424 ②
 いむさんだう(陰山道) 425 7
 陰山道 424 ①
 陰山道 424 ②
 いもつと(妹) 425 7
 イモウト 425 7
 いやし(賤) 423 2
 賤キ 426 ⑫
 賤ク 423 2

いよいよ(彌) 410 ④
 彌ヨ 410 ④
 彌 418 ②
 入りこもる(入込) 419 ⑤
 入込リ 404 ③
 入込モリ給ケリ 404 ③
 入込リ給ケリ 408 ③
 入込給ケリ 409 8
 入込給ヌ 407 1
 入込リニキ 420 11
 入込ル(連体法) 419 ④
 入りはじむ(入初) 418 10
 入初ヨリ 418 10
 いる(入) (初) 418 10
 いる(入) (四段) ↓う 418 10
 ちいる・かへりいる 418 10
 みだれいる 418 10
 入ケレハ 416 1
 入テ 420 6
 入りニキ 420 3
 不可入 411 ⑩
 可入ヨシ 411 ⑦
 いる(入) (下ニ) ↓ぎ 411 ⑦

きいる・まうしいる 428 10
 よびいる 426 ⑩
 入(中止法) 428 10
 入ケルセ 426 ⑩
 入給サリシ 407 6
 入レテ 413 4
 入テ 428 10
 いるかせなり(忽) 408 10
 「忽」ナム 409 ⑦
 いろ(色) 407 2
 色 409 ⑩
 いろくづ(鱗) 425 8
 鱗ツツ 431 ⑦
 いろ心(符) 411 4
 いろはぬ 434 2
 いさ(魚) 434 2
 「魚」 434 2
 いん(殷) 420 8
 殷 420 9
 一般 420 10
 いんぎんへい(引銀瓶) 431 3

↓せいてい いんぎんへ 429 9
 い 429 9
 う(得) ↓さそひう・と 430 ④
 りう・まうしう・もと 430 ④
 めう 430 ④
 持ツ事ヲ不得 421 ⑥
 着ユト 不得 422 ⑧
 得ケルソ 426 ⑧
 得給フ 420 6
 得テ 405 ③
 得マシキ 405 ③
 うう(殖) 405 ③
 被タリ殖ケルヨ 429 7
 殖テ 429 3
 うがフ(穿) 429 7
 穿テ 429 7
 穿ツ(連体法) 430 ④
 うかぶ(孝) 430 ④
 孝ヘテ 430 ④

浮トシテム

445

失給

431 2

失ニケリ給

419 8

うきくも(浮雲云)

434 ④

失ヒテ

431 4

失(二)ケリ

410 ⑩

浮雲

434 ④

失イテ

408 13 409 1 425 ⑤

うすし(薄)

424 ④

うきよ(夏世)

435 4

失テ

404 ④ 421 ⑥

〔薄〕

424 ④

ウキ世

403 ⑦

失ヒニケリ

431 6

薄クシテ

421 ⑧

うく(受)

432 7

失也

410 ⑥

うたへ歌) ↓かみうた

429 ①

受クル

420 4

失ハ

408 12

うたがひなし(疑無)

407 ①

うけたまはる(承)

423 ②

可ニ失セ

435 6

無疑(連用法)

409 3

承リテ

423 ②

可ニ失フ

414 ②

うたてし

428 6

承ハルセ

423 ②

失ハリシ

429 6

ウタテシキ

428 6

うし(牛)

420 14 423 6 428 8 11 12 ②

失ハル

403 ⑥ 405 3

うたふ(歌) ↓まひうた

420 14

牛

420 14 423 6 428 8 11 12 ②

ひぼじむ

429 6

歌イケレハ

420 14

うしなふ(失) ↓くらひ

420 14 423 6 428 8 11 12 ②

失ハ(命令法)

410 ⑧

ウタヒナントシテ

418 ⑧

うしなふ

420 14 423 6 428 8 11 12 ②

失ヌ

407 ⑥ 403 ③

うち(内)

422 10

失ハヌセ

405 2

失セ

407 ⑥

中

423 13 426 3 428 5 433 ⑥

爲ニ失

449 9

失(給) サレハ

403 ③

中

403 ⑩ 406 1 ③ 407 ⑤ 422 9

不テ被失

435 ③

失セニキ

407 4

うち(内)

422 10

爲ニ失

449 9

失ニケリ給

419 8

内

410 ⑩

不テ被失

435 ③

失(二)ケリ

410 ⑩

内

421 ⑤

失ケレハ

409 7

うち(内)

422 10

うち(内)

422 10

失ケレハ

409 7

打隨ハリケリ

416 3

打隨ハリケリ

416 3

失ケレハ

409 7

打隨ハケルニ

423 ⑩

打隨ハケルニ

423 ⑩

失ケレハ

408 ①

打隨ハケルニ

408 ⑤

打隨ハケルニ

408 ⑤

失ケレハ

408 ①

打隨ハケルニ

408 ⑤

打隨ハケルニ

408 ⑤

失ケレハ

408 ①

打隨ハケルニ

408 ⑤

打隨ハケルニ

408 ⑤

うちつく(打付) 423
 打ッケラルヘシ ⑥
 うちとく(打解) 425
 不ト可打解^{トク} 6
 うちとる(打取) 418
 打取ル、 ⑤
 うちはなつ(打放) 430
 打放ケレ ②
 うちまかす(打任) 416
 打任タル ⑥
 428 ⑦
 うちまゐる(打詣) 408
 打々「詣」ラム 11
 うつ(打) 414
 不打ッケ 6
 打「レ」給ケレリ 431
 435 ④
 打ケレハ ⑥
 打候 406
 ③
 打テ 430
 ④
 427 8
 打ニケリ 430
 ③
 うつしおく(移置) 425
 ウツシヲキテ 10
 うつす(移)

移シ 427
 移シテ 5
 うつむ(埋) 430
 埋マセ給ケリ 12
 埋ミ 403
 埋ミナムトシテ 9
 埋ミテ 434
 埋ミテ ⑩
 435 6
 埋ミ ⑥
 埋レヌ 430
 ①
 うてな(臺) 409
 臺ナ ①
 409 ⑧
 臺 ③
 うとし(疎) 427
 「ラニト」ニクナリニシ ⑩
 うとむ(疎) 431
 ウトミ 5
 うながす(催) 410
 催シテ 7
 11
 うばふ(奪) 422
 奪ヒテ 1
 うへ(上) ↓おむうへ

そのラヘに 406
 上へ ⑧
 上 405
 ⑤
 441 1
 420 8
 422 1
 427 ①
 ⑦
 うま(馬) 418
 馬 ⑩
 419 2
 9 12
 14 420
 12 ①
 428 9
 12 ①
 うまる(生) 413
 生タル 1
 うみ(海) 405
 海 7
 ②
 ⑤
 412 ①
 430 12
 うむ(生) 424
 生テ 1
 生ヌル 412
 生ム(連体法) ⑥
 412 9
 生ヨリ 412
 10
 うめ(梅) 428
 梅 2
 うり(占) 420
 占ラ 6
 うりがへる(衰返)

衰ララ返ル(連体法) 427
 ④
 うりなひあつ(占當) 432
 占ナヒ當ルセ ③
 うらみ(恨) 419
 恨 ⑥
 うらみおもふ(怨思) 432
 怨ミ思テ ⑦
 うらやむ(妬) 409
 ウラヤミ ④
 うる(賣) 424
 賣ケル ③
 ⑦
 422 9
 賣(中止法) 427
 レトリモ 11
 賣ケレトモ 411
 4
 ウリテ 403
 11
 □「ラ」ル(連体法) 410
 ①
 買(連体法) 424
 ⑤
 賣ル(連体法) 423
 3
 賣(連体法) 423
 1
 うるはし(直) 414
 正ルハシキ(連体法) ②

貞ウレハシ
直ハシキ

うれふ(愁)

愁ハ給

可シ愁フ

うれハ(愁)

愁ハ

愁

うろ(雨露)

雨露

うろつかる(飢疲)

飢(疲)

らんらん(云々)

云々

え

えらじ(要事)

要事

えびす(戎) ↓ ことえび

すども

433 1

406 10

418 4

418 4

418 4

415 4

435 13 10 7 8

434 10

410 4

415 5 413 6 414 8 416 5

417 8 422 10 426 2 427 7

エヒス 441 5 444 3 415 1

戎ス 418 12 431 2

戎 411 7 418 10

戎 406 5 6 8 413 17 418 2

戎 423 4 425 3 3 435 3

狄ス 404 2

狄 411 9 10 12 416 2 4 5

蠻ス 413 7 414 1 6 6 9

蠻 413 7 414 1 6 6 9

えびすのくに(蠻國) ↓

このくに

エヒスノ國 406 1 408 7

蠻スノ國 412 12 413 3

えびすびと(戎人) ↓

じん

戎人 425 1

胡人 419 8

えむしう(鹽洲)

鹽洲(洲) 411 8

鹽洲 441 3

えむしやうぶ(鹽商婦)

鹽商婦

鹽商婦 426 1

之もの(得物)

得物 432 10

えらびぬく(揀抽)

えらびぬく(揀抽)

えらぶ(詮)

えらぶ(詮)

えんしろう(燕子楼)

燕子楼 421 4

えんのくに(燕國)

燕國 406 11

おきて(掟)

おきて(掟)

おきな(翁)

おきな(翁)

おきな(翁)

おきな(翁)

おきな(翁)

翁 408 4 415 12 422 4 423 1

おきなひと(翁人)

翁人 415 2

おきのる(貫)

典キノナントシテ 422 9

おく(奥)

奥 423 11

おく(置) ↓ うらし おく

送クリチ 421 ㉔
 送りチ 426 9
 可送事 407 ⑤
 おくる(後) 425 9 ④
 後レテ 407 10
 後テ 408 ②
 後レヌル 407 ②
 おこす(起) 429 ⑥
 起シテ 408 ①
 發シテ 411 10
 おこたり(息) 422 12
 息リ 443 ⑭
 おこなふ(行) 443 ⑭
 行ハサリケリ 443 ⑭
 可キ行^{コキテ} 443 ⑭
 おごり(驕) 410 ⑩
 驕リ 410 ⑩
 おこる(起) 410 ⑩
 ココラハ 410 ⑩
 發^{コソ}シテ 406 ⑩
 發^{コソ}ル 406 ⑩
 ココレリ 410 ⑩

おごる(驕) 415 11
 驕^{コソ}給 415 11
 おさなし(幼) 405 ④
 幼^{コソ}キ 405 ④
 おさ^{コソ}ふ(押) 421 10
 押^{コソ}ハ 421 10
 おさへがひ(押買) 423 6
 押買 423 6
 おさへこむ(押込) 424 ⑤
 押込テ 424 ⑤
 おさへめす(押召) 423 8
 押ハ被召^サ事 423 8
 押召(連体法) 423 ⑤
 おとろし(畏) 432 ②
 カソ六シク 432 ②
 畏シキ 425 ①
 おちはじむ(落始) 428 2
 落^{コソ}キ始ル 428 2
 おつ(落) 422 7
 落ケル 422 7
 落マテ 421 7
 おと(聲) 421 7

おとす(落) 429 ①
 落^{コソ}サレヌレハ 418 ②
 おとづる(訪) 427 ⑧
 オトツレス 427 ⑧
 おどろく(驚) 426 ⑥
 驚^{コソ}イチ 426 ⑥
 ラト六キテ 431 11
 おどろふ(哀) ↓ おとろ 431 11
 へきたる 431 11
 ラト六ハ 425 5
 亡^{コソ} 425 5
 哀ル 432 2
 おどろへきたる(哀來) 432 2
 ラト六ハ來候はむには 413 ③
 ラト六ハ來候はむには 413 ③
 哀^{コソ} 413 ③
 おなじ(同) 411 ②
 同ク 411 ②
 同シテ 421 ⑥
 同(連体法) 413 3 413 ⑥
 おのち(各) 417 ①
 各 403 ⑩ 411 ③ 412 ⑦ 417 ①

おのづかり(白) 425 5 426 9
 自カラ 403 8
 自ラ 410 ⑩
 おのれ(己) 409 9
 〔己〕 409 9
 おはします(御坐) (勅詞) 423 ⑧
 未御坐人 423 ⑧
 不御坐事 423 ⑧
 御坐マシケリ 416 ②
 御坐マシケリ 416 ②
 御坐マシケリ 431 3
 御坐シケリ 424 9 432 ⑥
 御座ケレハ 404 2
 御座シチ 416 ⑦
 おはします(御坐) (補 助勅詞) 416 ⑦
 政ヲ治メ御坐サム 429 5
 都ノ中ニ立テ御坐ケリ 425 4
 民ヲ撫テ御坐ス(連体 法) 412 ①
 高御在ス(連体法) 414 11
 嘯ク御坐スカ 432 ⑥

おはす(御) (補助動詞)

大ナル 423 13 430 10 433 10

スへ御ハシテ 435

思シ食ス(連体法) 416 ⑧

おび(帯)

おほし(多) 405 ③ 418 5 420 13 424 ④

おほす(仰) 407 ⑥

帯 415 ⑥

おほす(思) 407 ①

おひしげる(生繁)

多ク 405 ③ 418 5 420 13 424 ④

思シケリ 407 ①

生ヒ繁シケリテ 430 1

多クシテ 434 ⑤

思様ケル 407 ③

おひすつ(追棄)

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

思ヲホシテ 407 ④

追ヲヒ失ステニケリ 433 7

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

思シテ 407 ④

おふ(生)

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

思テ 407 ④

生テ 409 ①

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

おふ(負)

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

ライテ 410 ④

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

おふ(追)

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

ヲハシテ 426 ③

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

追レテ 418 12

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

逐テ 418 ⑦

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

おぼ之(覺) ↓ おむおぼ之

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

おほかた(大方)

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

ヲホカタ

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

大方

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

大方々

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

おほきなり(大)

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

大ニ

多ク 405 ③ 409 5 9 410 5 428 8

おほせ(仰) 417 ⑩

公 417 ⑩

おむあはれび(御哀) 412

御哀ト 412

おむいのり(御祈) 409 ⑫ 410 3

御祈 409 ⑫ 410 3

おむうへ(御上) 423 ④

御上 423 ④

おむおぼえ(御覺) 432 ⑥

御ヲホヘ 432 ⑥

おむかへりみ(御顧) 409 ⑥

御顧 409 ⑥

おむくら(御倉) 403 8 424 ⑧

御倉 403 8 424 ⑧

おむけじき(御氣色) 409 ⑬

御氣色 409 ⑬

おむころ(御心) 404 ⑦ 405 3 408 10 414 8

御心 404 ⑦ 405 3 408 10 414 8

御意 408 13

おむこと(御事) 417 ⑤ ⑥

御事 417 ⑤ ⑥

おむたくは(御貯) 423 13

御貯 423 13

公

おもたの(御爲)

御夕メ 435 13

御爲 409 ⑩ ⑪

おもとき(御時)

御時キ 432 ⑥

御時 407 ⑧ 411 ⑦ 412 ⑩ 413 ⑨

414 5 ⑥ 415 ③ ⑫ 417 10 ②

420 ⑤ 421 ③ 422 5 ④ 423 3

425 2 426 ② 427 10 ⑪ 428 9

431 7 434 ⑦ 435 ④

〔御〕時

おもはは(御母) 417 3

御母 424 9

おもまつりごと(御政)

御政 403 14 412 ⑩ 413 11 428 ④ 435 ①

おもみ(御身)

御身 423 ③

おもゆめ(御夢)

御夢 403 ①

おもよろこび(御喜)

御喜ヒ 409 ⑬

おもじ(重)

重ク 425 8 429 3 431 ⑥

重ク御在ケレハ 404 2

重キ 403 ⑫

おもしろし(面白)

面白ク(連用法) 407 ⑩

おもて(面)

面 425 1

おもひ(思)

思 403 ⑪

おもひいだす(思出)

〔思〕出テ 426 7

おもひいづ(思出)

思出ラレ 426 8

おもひなずらふ(思准)

思出テ 416 ⑧

おもひ(思) ↓ うらみお

思ヒ准ヘテ 403 ⑦

も心はちおもふ 421 ⑩

不思 416 ②

思ケル様 412 ①

〔思〕ケル様ハ 424 3

思テ 403 ⑩ 409 4 412 ③ 423 7

思詣スル 428 10 433 7 10

念イ(終止法) 422 ③

思フハ 424 11

思フ(連体法) 424 4

思ハ(連体法) 409 ①

思(連体法) 415 ⑨

おもんじをしむ(重惜)

重惜(ヲ) 416 ③

おもんじをしむ(重惜)

祖 403 ⑫ 412 ⑪ 427 9 ⑤

祖 ⑧ ⑩ 428 5

祖子ロ 412 ②

おやこ(親子)

おや(老) 419 ⑦

老朽ヌルニ 419 ⑦

およぶ(及)

不及カラ 423 9

不シテ及カラ 424 13

及ヒケリ 421 8

可キ及 415 1

及(連体法) 414 7

ヲ・ニソカニ 417 ⑤

おん(温) ↓ゆ

おんかく(音楽)

音楽 407 ③

か

かいこくこう(介國公)

介國公 404 ⑥

かいまんまん(海漫々)

海漫々 405 ⑦

かう(香)

香 425 ⑫ ①

かうらう(項羽)

項羽 430 ③ ③

かうきよこく(康居國)

康居國 407 ⑩

かうざん(高山)

高山 430 ⑩

かうそて(高祖)

高祖 419 ⑩ 429 ⑦

かうそつ(高宗)

高宗 411 ⑤ 412 ①

かうなむ(江南)

江南 431 ④ 432 ① ①

かうなむえん(江南端)

江南端 431 ⑧

かうぶり(冠)

冠 415 ⑥

かうぶる(蒙)

蒙 トモ 424 ⑫

かかぐ(揚)

揚カケ給ニケリ 431 ①

揚クル 431 ①

かがく(歌樂) ↓ぶかが

く 431 ①

かがみ(鏡)

鏡 403 ② 417 ② ⑤ ⑤ ⑤ ⑥

鏡口 417 ⑧

かがみる(鑒)

カハミ 417 ⑦

鑒ケルヲ 435 ⑧

カミテ 417 ⑦

鑒テ 403 ⑭

かかやかす(輝)

輝カシシカトモ 427 ⑤

かかやく(輝)

カヤキ 426 ⑤

かかると(連体詞)

カナル 406 ⑥ ① ⑩ 408 ⑩

カナル 409 ⑤ 410 ⑤ 412 ① 413 ⑩

カナル 419 ① ① 420 ③ 424 ④

カナル 425 ⑤ ⑦ 426 ⑧ ⑩ 430 ⑧

カナル 434 ② ⑥ 435 ④

カナル 435 ③

カナル 430 ① ④

かかると(懸)

懸カ、リ 433 ①

懸(中止法)

かかるとに 424 ②

カナル程ニ 423 ③

かかるとに 415 ② 419 ⑧ 429 ④ 430 ④ 431 ⑤ ①

カナル故ニ 435 ④

かき(垣)

カキ 427 ⑤

かきたゆ(搔絶)

カキタへ 427 ④

かきつく(書付)

書キ付テ 428 ③

かきとどむ(書留)

書留ケル 418 ⑩

かきり(限)

無限ニ 422 ⑩

かきりなし(無限)

無シ限リ 418 ⑩

無限ニ 424 ⑤

無限ニ 420 ③

無限ニ 409 ⑧

かく(斯)

カク 416 ④

かく(書)

被書一候也 413 ⑥

被書一給也 417 ⑩

カレタル也 415 ⑬

被書レタル也 421 ⑨

被書一タリ 416 ⑥

被書たるなり 434 ⑧

被レテ書候也 415 ⑫

書ケルナリ 421 6
 カキタルナリ 421 2 3
 カキタル也 418 9
 書、タルナリ 429 11
 書タルナリ 408 9 414 9
 書タルナリ 422 17
 書タル也 426 5 8
 書(之)ル(也) 426 10
 書テ 411 5
 不ト可カラ書 428 5
 不可書 428 7
 書(連体法) 428 7 429 1
 かく(懸) ↓ラチかく 435 5
 被懸タリケリ 430 11
 懸テ 419 3 430 11
 懸ルヲ 428 8
 かく(樂) 404 6 406 1 3 6 6 7
 8 413 ⑩ 414 ⑤ ⑧ ⑩
 415 6 12
 かくき(樂伎) 415 7 9
 樂伎 415 7 9

かくす(隱) 435 3
 隱ス(連体法) 435 2
 隠スニ 420 8
 かくて 429 8
 カクテ 414 9
 かくにん(樂人) 406 5 5 ③ ⑩ 414 7
 樂人 406 5 5 ③ ⑩ 414 7
 かくにんども(樂人共) 414 9
 樂人共 426 7
 かくのごとし(如此) 420 4
 猶シテ 415 10
 かくはし(番) 415 10
 香ハシキヲ 427 ③ 435 3
 かくぶ(樂舞) 429 8
 (樂)舞 415 10
 かくる(隱) 415 10
 藏レ 407 ⑦
 蔭カレ給テ 415 ⑩
 かゆ(蔭) 427 ③ 435 3
 蔭ケ 429 8
 影 429 8
 かける(翔) ↓とびかけ 411 1 426 ③

翔カルト 405 ③
 かさなる(重) 424 6
 重ナラハ 424 6
 かさぬ(重) ↓つくりか 411 1 426 ③
 さぬ 408 ⑩
 かさぬ(重) ↓ひとかさ 404 4 419 ⑤
 ぬ 408 ⑩
 かしこ(彼處) 404 4 419 ⑤
 彼ユ 408 ⑩
 かしこし(賢) 404 4 419 ⑤
 賢コキ 404 4 419 ⑤
 賢コ、 404 4 419 ⑤
 賢キ 404 4 419 ⑤
 賢ハ、 404 4 419 ⑤
 かず(數) 404 4 419 ⑤
 數ス 404 4 419 ⑤
 數 404 4 419 ⑤
 かせ(風) 404 4 419 ⑤
 風 404 4 419 ⑤
 かた(方) 404 4 419 ⑤
 カタ 404 4 419 ⑤

カタ 404 4 419 ⑤
 かたし(難) ↓ラチした 425 1
 かへがたし・きはひが 425 1
 たし・しのびがたし・ 425 1
 しりがたし・つうじが 425 1
 たし・はかりがたし・ 425 1
 まちみがたし 425 1
 かたち(形) 425 1
 カタチ 425 1
 形 425 1
 形 425 1
 形 425 1
 相 425 1
 かたむる(象) 425 1
 カタトリ 425 1
 かたな(刀) 425 1

刀 430 8

かたはら(傍)

傍ラ 417 ⑧ 432 6

傍 413 5 430 ⑩ 433 12

かたぶく(傾)

可傾一事 407 2

かたまし(軒)

カタマシキ 435 9

かたむ(固)

[固]カクマ[2]リトモ 418 ①

かたむず(固)

固ラ 411 ⑩

かつら(桂)

桂 427 1

かこり(縁)

縁トリ 424 ④

かなし(哀)

縁リ 422 ⑩ 424 ⑤

哀(連体法)

かなしび(哀) ↓おむか 403 ⑤

なしび 416 8

哀上

かなしぶ(哀) ↓なきか

なしぶ

哀フ(連体法) 418 ⑤ 425 10

哀シフニ 415 6

かなしむ(哀) ↓なきか

なしむ

哀ミケリ 434 ⑦

哀候ケルヲハ 403 11

哀ミタル 429 ⑧ 435 9

悲タルセ 432 ②

哀ナシムテ 408 ③

かなふ(叶)

不極 405 ④

不叶シテ 405 ④

叶ハヌ 409 ⑧

叶マシキ 405 ②

かなむ(河南)

河南 410 8 9 11

かならず(心)

心ス 403 ④ 405 ⑧ 410 ⑬

かぬ(兼) ↓そしりかぬ

かぬ(鐘)

鐘 435 3

かの(彼)

彼ノ 411 1 5 9 412 5 5

彼ヲ 413 10 416 ⑦ 418 ② ⑧

彼 420 1 422 2 425 ① 428 9

彼 430 ① 434 ② 435 ⑥

彼 404 ⑤ 405 ⑧ 412 5 ④ ⑧

皮ハ 414 4

皮 445 ⑤ ⑥ 420 7

かは(河)

河 409 1 1 ⑦ 429 7

かはね(骸)

骸ハネ 403 8

かはる(變)

變(二) 419 11

かひ(買) ↓おさへがひ

かひ(卵)

卵 433 ⑩

かひつく(飼付)

飼付ハ 412 ⑨

かひなし(甲斐無)

無甲斐 431 ④

無甲斐 411 ⑬

無甲斐事 418 ④

かひなつく(飼懐)

カイナツケテ 412 ⑩

飼ナツ 413 3

かひもとむ(買求)

買求メナントシテ 412 10

かひ(易)

易ケレハ 410 ①

カフル 431 ⑤

かふ(買)

買セ給ラ 424 ⑧

買ケル 423 6

買ケルニ 424 ④

買ケレハ 424 ⑤

買ナントシテ 410 ②

可ト買 423 ②

買(連体法) 424 ⑧

鳥 433 ⑥ 434 7

からもも (杏子) 427 1

カラモ、 433 8

かり (狩) 411 4

狩 433 8

かる (苧) 411 4

苧リテ 411 4

かる (枯) ↓きはみかる

かれ (彼) 408 ⑧

彼 408 ⑧

かる (ろし) (輕々) 406 9 407 ⑩

輕々シキ 406 9 407 ⑩

かん (苮漢) 430 ⑩

潤底松 419 ④

かんていのまつ (潤底松) 419 ④

潤底ノ松 419 ④

き (木) ↓くさき・小し

き 423 3 435 ⑦ ⑧

水 423 3 435 ⑦ ⑧

き (黄) 423 3 435 ⑦ ⑧

黄 423 3 435 ⑦ ⑧

きう (九) 403 2

九 403 2

きうぐう (舊宮) 407 ⑤

舊宮 407 ⑤

菊 426 6

きく (聞) 415 12

聞カヨリノ 415 12

きくしめす (聞召) 407 3

聞召ケリ 435 ⑥

聞召テ 422 11

きこゆ (聞) 411 ⑧

キコヘケレハ 411 ⑧

きさ (象) 412 ⑩ 413 1 9 12

象 412 ⑩ 413 1 9 12

きさき (后) 407 5

后キ 407 5

姫 425 ④ ⑤ 431 2

「姫」 432 ⑥

岸 429 7

岸 429 7

きす (着) 415 ⑥

キセラレ 422 1

被ル着セ 415 ⑥

きず (疵) 415 5

キ「ズ」 409 ②

疵 409 ②

きす (儀) 411 ③ ⑤

儀シ 411 ③ ⑤

きた (北) 411 ③ ⑤

北 411 ③ ⑤

きたる (来) ↓おとろへ 415 8

きたる・とびきたる 415 8

きたる 415 8

来リ 415 9
 きぢよ(伎女) ↓きのま
 むな()
 伎女 422 ⑤ ⑧
 きぢよ(魏徴) 403 13 417 8 8 427 10 11
 きづく(築) 411 ⑧
 梁カセ給テ 430 5
 城ツキ 411 ⑥
 梁イテ 412 1
 きづね(狐) 431 1 ⑤ 432 7
 狐
 きぬ(衣) 415 ⑥
 衣ヌ
 きぬ(絹) 403 9
 絹
 きのみ(昨日) 409 ④
 昨日
 ぢのまむな(伎女) ↓ぎ
 ぢよ
 伎女 429 ①

きはまる(極) 414 3 419 ⑥
 極タル
 きはむ(極) 422 3
 被極事
 極メ 415 11
 極キハメ給ヘカラス 415 7
 きはめて(極) 413 1 428 ⑦
 極テ
 きほひがたし(競難) 410 ③
 競(難)キ
 きみ(君) 435 13
 キ
 きみ 434 10
 公ミ 415 4
 后ミ 412 ①
 君 406 3 414 7 415 1 3 4 412 ①
 8 9 10 417 ① ⑦ 418 ④
 419 ⑤ 420 3 423 13 ①
 428 ⑩ 429 1 432 ④ 434 ⑧
 435 ② ⑤ ⑨ ⑪
 きません(金銭) 423 ⑩
 金銭

きむちう(禁中) 431 12
 禁中 419 ⑤ 421 ① 429 ③ 431 12
 きも(肝) 425 ②
 肝
 きやう(肝) 427 1
 きやう(杏) 427 1
 杏爲梁
 杏爲梁
 きやう(興) 418 ③ 429 ②
 興
 きやうてい(恭帝) 404 ⑥
 恭帝
 きよし(清) 418 3
 清
 きよせい(御制) 411 5
 御制
 きよる(御威) 415 1
 御威
 きりぬく(切抜) 435 4
 切抜ナハ
 きる(切) 434 ③
 キリ
 切ケリ 435 3

切タル 424 ④
 殺リテ 423 3
 切リテモ 435 3
 不可切 424 ①
 きる(着) 415 ⑧
 服キ有 415 ⑧
 着タル 422 ⑧
 著テ 422 ⑧
 着(連体法)
 く(来) ↓いでく・にけ
 まうでく・まうでく
 くき(莖) ↓いなくき
 くきやう(公卿) 419 5
 公卿
 くぐわう(九月) 422 6
 九月
 くげ(公家) 417 4
 公家
 くさ(草) 430 1 432 6
 草 414 6 10 430 1 432 6

くさき(草木)

草木

435
1
4

くさし(臭)

臭ク 御坐スカ

432
⑦

くさわけ(草別)

草別ワケ

418
4

ぐす(臭)

臭シテ

413 4 444 ② ⑦ ⑩ 415 ⑤

具テ

くすり(薬)

薬

くだく(推)

砕給

444 ①

405 ③

425 ②

409 ⑦

409 ⑪

412 ⑦

くだす(下) ↓おほせく

たす

424 ⑨

422 ⑤

422 ⑪

412 ⑤

下サレケリ

下サレケレトモ

下シテ

くだる(下)

下リテ

412
5

くつ(履)

鳥

415
⑦

くつ(朽)

朽ヌルニ

419
①

くつがへす(覆)

覆カヘス

433
⑩

覆カヘス (連体法)

409 ⑦

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

409 ⑫

9 11 14 ① 420 ② 421 8 ②

② ③ 422 1 8 ② 423 ⑩

425 5 426 ⑬ ⑭ 427 3 4 6

④ ⑧ ⑧ 420 2 431 ⑥ ⑨

432 2 4 7 9 433 ⑧ 434 7

⑥ 435 5 6 ⑨ ⑩

くにぐに(國々)

國々

421 10

408 10 ⑩ 410 ⑪ 421 ⑪

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑤

如ハテ 416
5

くび(頸)

頸ヒ

428
11

頸

くま(熊)

熊

420
7

くむ(汲)

くむ

420
7

くも(雲) ↓うきぐも

雲

420
7

くら(倉) ↓おむくら

くらう(苦勞)

苦勞

422
⑨

くらす(暮) ↓なまくら

す

422
⑨

没ラシ

没ラシ

没ラシ

没ラシ

くらひうしなふ(食失)

食ラヒ失イシ

食失ヘル

420 10 424 11 12 429 4
 6 ⑦ 430 ① ② ⑤
 くるし(苦) 425 ⑥
 苦シキ
 くるま(車) ↓ちから
 くるま
 車マ 421 1
 車 409 11 12 ⑦ 419 2
 428 8 10
 くれなゐ(紅)
 紅 421 ①
 くらがね(鐵)
 鐵 430 6 ⑤
 くろし(黒)
 黒キ 432 1
 くわいわう(懷王)
 懷王 432 ⑥
 くわうごう(皇后) ↓
 けんけんくわうごう
 くわうちう(蝗虫)
 蝗虫 410 7 10 11 13 ①
 ① ② ⑤ ⑥ ⑩ ⑪

⑫
 [蝗「虫」]
 くわうてい(皇帝) ↓け
 410 9
 んそうくわうてい・が
 んそうくわうてい・た
 いそうくわうてい・と
 くそうくわうてい
 くわけん(花原)
 花原 406 ③ ⑦
 くわけんけい(花原馨)
 花原馨 406 ③ ⑤
 くわさ(過差)
 過差 426 ②
 寛差 422 ①
 過差
 くわさなり(過差)
 過差ナル 426 ④
 くわん(官)
 官 420 6
 官官 428 8
 官官
 くわんぎう(官牛)
 官牛 428 8
 官牛
 くわんかん(管絃)
 管絃 428 8

管絃 429 11
 くわんごう(桓公)
 桓公 420 14
 くわんぎよ(卍女)
 卍女 405 ⑦ ⑨
 卍女
 くんごう(勲功)
 勲功 414 ③
 勲功
 勉功
 (勉) 425 5
 け(卦)
 ケ 420 6
 け(下)
 げ(下)
 下 416 ② 436 1
 けい(磬)
 磬 406 ③ ④ ⑤ ⑥
 がいしやうらい(霓裳羽衣)
 霓「裳」羽衣 408 3
 けがる(械)
 械レム 428 10

械レテ 422 ⑧
 けしき(氣色) ↓おむけし
 き 409 ⑧ 416 2 433 4 13
 氣色
 けす(消)
 消シ 434 ④
 けだもの(獸)
 畜 419 ②
 けつこうす(結構)
 結構セサスル 432 10
 けつしよく(月蝕)
 月蝕 432 ②
 けつせき(碣石)
 「碣」石 409 11
 けづる(削)
 けはし(嶮)
 けはし
 ケハシ 409 ①
 「ケ」「ハ」シキ 409 2
 け心(今日)
 今日 403 ④ 409 ⑤
 けもの(獸)
 けもの(獸)

ケモノ 412 ④

けん(賢)

賢 420 5 6 12

げん(絃)

絃 413 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

げんけんくわうてい(元

憲皇后)

「元」憲「皇」后 407 9

けんこ(諫鼓)

諫鼓 435 ⑤

けんじん(賢人)

賢人 417 11 419 ⑧ 420 2 431 2

けんじんども(賢人共)

賢人トモ 407 1

けんそう(憲宗)

憲宗 403 2 416 ④ 420 ⑤

けんそう(玄宗)

玄宗 403 2 406 4 ④ 425 ④

玄宗 404 6

けんそうくわうてい(憲

宗皇帝)

憲宗皇帝 416 ⑦ 420 ⑤

けんそうくわうてい(玄

宗皇帝) 424 ② ⑦

玄宗皇帝

① 408 1 ⑤ ⑨ 410 8

418 9

玄□□□ 406 ⑦

げんてい(元帝)

元帝 410 2

けんなり(賢)

賢ナラム 427 9

賢ナル 420 14 ②

けんナレトモ 434 ⑧

けんわう(賢王)

賢王 415 8 419 9 424 ⑦

賢王 415 9

子 403 11 404 ⑥ 412 9 9

10 10 11 414 ⑦ 415 ③ 422 9

424 1 5 5 427 6 7 7

429 ⑤ 432 ⑫ 433 1

こう(功)

功 414 ③

こうし(公私)

公私 420 ⑥

こうせんたむ(紅線毯)

紅線毯 421 ④

紅線毯 421 ①

こうど(后土)

后土 406 3

こうまご(子孫)

子孫 412 ⑤

こうろう(紅樓)

紅樓 423 ⑩

かがす(焫)

焫(中止法) 423 12

かがね(金)

金 403 9 11 413 4 417 11

421 7 422 ⑦ 426 ④ 427 3

こく(獄)

獄 403 ⑬ 404 1

こくたむりよう(黒潭龍)

黒潭龍 431 ⑧ 431 ⑧

こくわう(國王)

國王 405 3

ごげん(五絃)

五絃 413 ①

ごげんだん(五絃彈)

五絃彈 413 ①

ごげん(五絃)

五絃彈 413 ①

③ 424 4 5 7 ⑤ 425 3
 ② ⑥ ⑧ ⑨ ⑩
 426 5 8 ② ⑭ ⑮ 427 7
 ① ③ ④ ⑦ ⑧ 428 4 6
 7 10 11 ① ⑤ ⑦ ⑩
 429 1 4 5 6 11 11 ③
 ⑧ ⑨ 430 3 4 5 ⑥
 431 2 8 9 10 11 12
 ① ⑥ 432 3 4 7 8 10
 11 ① ② ③ ④ ⑤
 433 3 10 11 ② ⑥ 434 2
 3 8 9 9 11 11 11 12
 ⑤ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ 435 8 9
 11 11 12 14 ⑤ ⑩ ⑫ ⑬

(事)
 (琴) ↓ しちのり
 406 7 413 ③ ⑤
 (母) ↓ としごと
 なつごと・みかどごと
 ・よごと
 ことえびす (異狄)
 殊ト狄 416 8

ことえびすども (異狄共)
 殊ト狄ス共 416 6
 ことごと ↓ ことえびす
 ことごとく (悉)
 悉 419 13
 承心ク 403 ⑭ 419 5 422 11 430 ⑥
 (悉) ① ② ③ ④ ⑤
 (悉) ① ② ③ ④ ⑤
 (悉) ① ② ③ ④ ⑤
 ことさら (故)
 故サラ 403 ⑤
 ことし (今年)
 今年ハシ 427 5
 今年 403 ⑬ 410 ⑦
 ことども (事共)
 事共 430 2 435 8
 事ハ共 406 ③
 ことなる (異)
 殊 (連体法) 415 ①
 ことに (殊)
 殊ニ 408 2 409 ⑤ 412 ③ 418 13
 殊ニ 415 ⑧ 419 ②

殊ニ 415 3
 ことのほかに (事外)
 事ノ外カニ 419 1
 ことば (言) ↓ みことば
 言ハ 417 ⑦
 言 423 ②
 語ハ 434 6
 語 427 ④
 ことひと (異人)
 殊ト人 427 6
 居ト人 427 10
 ことども (子共)
 子共 413 5 7 414 1 6 ②
 415 ⑤ 424 3 427 ⑩
 ことわざ (事態)
 事態 (能) 404 ②
 ことわり (理)
 コトハリ 426 ③
 事ハリ 408 11
 理ハリ 419 7
 この (此)
 コノ 407 ③ 413 6 422 ⑥

此
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 409 1 8 12 ⑨ 410 4 4
 407 6 10 ⑪ 408 ⑤ ⑧
 ⑩ 405 5 ⑬ 406 2 ④ ⑧
 403 5 6 ① 404 5 ③ ⑦
 435 3 ⑥ ⑩
 428 ⑥ 430 8 432 3 7
 424 1 3 425 4 4 12
 408 ⑰ 413 7 421 ⑤ ⑩
 433 ① 435 ⑤ 434 3 5 10

この
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 433 2 434 ④ 435 9 12 14
 432 2 3 5 10 ② ④
 430 2 3 4 2 8 ⑨

斯 斯 斯
 このくに (胡國) ↓ えび
 405 8 403 7 418 13
 404 7 415 ⑨ 416 1

胡 國
 3 6 7

胡國 415 ① ② ④ ④ ⑤ ⑤
 406 ①

このむ (好)
 好ミ 給シテ
 407 ⑪

不可 (好) 給
 431 ⑩

好テ
 408 2

このゆゑに (此故)
 此ノ故ニ
 428 3

こひす (戀)
 戀シケル
 416 6

戀ル (連体法)
 416 8

こひ (請)
 請ヘン
 432 4

こほ (菰蒲)
 薦蒲
 411 4

こほり (永)
 氷
 413 6

こま (駒)
 駒
 419 14

こまご (子孫)
 子孫
 427 7

子孫
 412 ⑤

子孫
 412 ①

こまやかなり (濃)
 コマヤカニ (シテ)
 426 ⑤

こむ (込) ↓ あさへこむ
 不ハス 込
 428 4

被込 (タリ)
 被レテ 込
 426 2

被込 (有ル)
 被レテ 込
 425 ⑧

被込
 426 ①

被込
 407 5

被込
 413 13

込メテ
 込テ
 406 9 430 12 407 ⑤

こもりゐる (込居)
 込モリ居テ
 403 ⑩

込居テ
 434 1

こもる (込) ↓ いりこも
 込モル
 421 9

こもん (五門)
 五門
 428 10

こやうこうしゆ (湖陽公室)
 湖陽公室
 424 ① ②

こゆ (超)
 超テ
 422 3

ごよう (御用)
 御用
 423 ⑤

ごらむす (御覽)
 御覽
 420 7

御覽
 420 ①

御覽
 403 ②

御覽
 407 ③

これ (此)
 コレ
 435 1

ハコレ
 これ
 420 ⑦ 433 ⑩ 434 3 427 5

此
 403 ⑪ 407 ③ ⑩ 408 4

此
 413 ⑥ 414 7 416 9

6 13 ② ⑧ 412 3

420 ⑧ 421 6 ⑨ 422 11

423 ⑤ 424 ⑤ 425 ③ 426 3

427 ⑦ 429 9 ⑦ 430 9 431 13

② ⑤ 432 9 433 14 434 2 ①

406 4 410 ⑦ 413 12 13

是
 405 ⑦ 408 ① 420 4

此等
 405 ⑦ 408 ① 420 4

ころ (比) ↓ さきつころ
 としころ なごころ
 425 4

比
 403 ④

比六
 408 2

比
 425 4

ころす (殺)
 被殺
 435 ③

殺シテ
 432 4

殺テ
 433 13

ころも(衣) 422 1 423 5 7 424 3

衣 422 1 423 5 7 424 3

ころ(聲) ↓ひとこえ 423 5 10 13

コエ 429 ①

音ハ 406 8 ① 446 4

〔音〕ハ 407 2 446 2

聲 407 2 446 2

ごをん(御恩) 441 ⑬

御恩 441 ⑬

ごをえち(御恩知) 424 6

御恩知 424 6

こんめいこく(昆明國) 441 1 1

昆明國 441 1 1

こんめいしゆんすいばむ (昆明春水滿) 441 1

昆明春水滿 441 1

こんめいち(昆明池) 411 3

昆明池 411 3

さい(接頭辭) ↓たかさ 413 6

ひろさ 413 6

さ(然) 413 6

サ 408 ①

左サ 419 ④

さい(犀) 412 ⑩ 413 3 10

犀 412 ⑩ 413 3 10

〔犀〕 413 12

さいかく(才學) 424 11

才學 424 11

さいし(妻子) 446 7

妻子 446 7

さいしくわん(採詩官) 435 8 10 ⑩

採詩官 435 8 10 ⑩

さいしども(妻子共) 415 ④

妻子共 415 ④

さいども(犀共) 413 6

犀トモ 413 6

さいはひ(幸) 426 ⑧

幸 426 ⑧

さいみやうじ(西明寺) 432 7

西明寺 432 7

西明寺 441 3 4

さいりよく(敗力) 416 ③

敗力 416 ③

さうばうばう(草茫々) 430 1 1

草茫々 430 1 1

さかえ(榮) 420 2

榮へ 420 2

さがし(嚴) 411 ⑤

嚴 411 ⑤

サカシク 409 12

嚴サカシク 409 12

さかひ(境) 410 ⑩

サカヒ 410 ⑩

境 410 ⑩

境ト 424 ①

境 424 ①

さかゆ(榮) 424 4

榮 424 4

サカへ(中止法) 406 6

榮へ(中止法) 406 6

榮(連用法) 432 2

榮(連用法) 432 2

榮へ(連用法) 432 7

榮へ(連用法) 432 7

榮へテ 424 4 7

榮 434 ⑤

さかり(盛) 428 2 3

盛り 428 2 3

さき(前) 405 ① 409 3 412 ⑩ 413 8

前 405 ① 409 3 412 ⑩ 413 8

さきだつ(前立) 419 14

前立(テ) 419 14

さきつころ(昔) 414 8

昔 414 8

さく(咲) 421 9

開サク(連体法) 421 9

開ヨリ 421 7

さぐ(下) ↓つかみさぐ 410 ⑥

さくもつ(作物) 410 ⑥

作物 410 ⑥

さけ(酒) 432 5 5

酒 432 5 5

さしづす(指圖) 411 ⑧

指圖シテ 411 ⑧

さしも 426 ④ 428 12

サシモ 426 ④ 428 12

サシモ 426 ④ 428 12

サシモ 426 ④ 428 12

〔サシ〕

さす(刺) 433 10
 サムム 433 10
 さす(鎖) 430 8
 サ、サリケレトモ 430 8
 さす(坐) 424 2
 坐ケリ 424 2
 させる(然) (連体詞) 44 3
 指セル 44 3
 指(セル) 413 8
 さそひう(誘得) 414 11
 サソイエス(シテ) 414 11
 さそふ(誘) 414 7
 サソイテ 414 7
 將サクイテ 414 8
 さつかいす(殺害) 431 5
 殺害シ給ヒケリ 431 5
 さて 404 1 404 4
 サテ 404 1 404 4
 さと(里) 412 9 426 9 430 9
 里 412 9 426 9 430 9
 さながら 404 1
 サナカウ 404 1

さぬへ(早苗) 424 9
 サナヘ 424 9
 五苗 424 9
 さのみ 410 4 413 8
 サノミ 405 1 410 4 413 8
 さばく(駈) 418 6 435 11
 サハク(連体法) 431 10
 さびはつ(寂果) 419 7
 サビハテニケリ 419 7
 さぶらふ(候) (動詞) 411 7
 候ハス 411 7
 候ケルヲ 403 9 403 13
 候ケルヲモ 403 9 403 13
 候シ 413 3
 候ヲ 403 4 406 8
 候ニケリ 407 5
 候(終止法) 410 10 411 7
 候(連体法) 413 5 413 5
 候ナリ 406 3
 候ナル 411 3
 候ヲ 403 3 411 3

さぶらふ(候) (補助動詞) 414 2
 昇シテ語りテ候ハ、 414 2
 軍ヲ給候ハ、 408 6
 食シク候ハム 415 10
 ハ、ヲトヘ 415 10
 ヲトヘ來候ハむにハ 413 6
 死候キ 413 11
 被成候ハ、 413 4
 タヒ候ケリ 403 10
 返夕ヒ候ケリ 403 12
 不止候ケリ 403 6
 被用候ケリ 406 7
 奏シ(候)ケリ 414 8
 語りテ候イケル 414 5
 背キ候ケル 403 7
 出キテ候ケル 404 7
 詠リ候ケル 406 9
 鬼候ケル 407 3
 被作ラ候ケル 416 5
 申候ル 415 3
 返語りテ候ケル 404 3
 諍候ケル 419 10

散テ候ケルヲ 403 8
 用ラレ候ケルヲ 406 6
 作リテ候ケルヲ 434 10
 カサミ 403 11
 衰候ケルヲハ 403 11
 治テ候ケレハ 403 14
 秋ニ成候ケレハ 404 1
 ナラヒニテ候ケレハ 412 9
 取候しに 433 11
 被テ作一候シヲ 406 3
 語りテ候シヲ 414 1
 マカリ候ナム 403 2
 病ニ臥候ニケリ 403 1
 返リ入候ニケリ 404 2
 乱候ケリ 406 1
 癡タレ候ニケレハ 406 6
 打隨テ候コト 414 10
 泣衣ヒ給ケルニ候。 403 4
 逐サセムカ爲也ケルニ候。 403 12
 返語りテ候ケルニ候 404 3
 様タメシ有專ニ候 406 8

誇リ候ナルニ候 407 4
 ヤサシク候 409 ③
 不可成候 411 ①
 哭候 412 11
 常事ニ候 413 9
 五絃彈ト申テ候 413 ⑤
 セサセ給事ニ候 414 4
 打隨ハ難事ニ候 414 5
 具テ詣リ候 414 ①
 申越候 414 ⑪
 作テ候 416 ③
 滅シ候 419 11
 積ル事ニ候 423 ④
 誹候ナルニ候 407 3
 恩テ候ヘシ 403 ⑩
 可申候 423 ④
 埋ミナムトシテ候者 403 10
 出キテ候樂 406 1
 打候者 406 ③
 將サクイテ候故也 414 8
 誇リテ候ナリ 409 ⑩

タトヘテ候ナリ 433 ④
 たどめて候ナリ 434 1
 申候也 403 4
 ホメテ候也 403 6
 日テ候也 403 ⑤
 誇リテ候也 404 ⑤
 ⑤ 410 9 411 ⑤ 414 ⑥ 418 ①
 讚マイラセテ候也 404 ⑧
 誇リテ候也 405 ①
 讚テ候也 407 8 417 1
 下申候也 409 ①
 煩ス事ニ候也 410 ④
 書テ候也 411 5
 生テ候也 413 10
 誹語ラセ候也 413 12
 誇リ候也 413 ③
 被書候也 413 ⑥
 惡クハミシテ候也 414 ④
 可事ニ然ル候也 414 ⑩
 被書候也 415 ⑬
 美テ候也 416 ④
 美メテ候也 424 ②

美ハメ候也 425 2
 見ル事ニテ候也 425 ①
 被テ棄候也 433 12
 ト申候ハ 403 13
 被用是ラ事ニ候テ候也 406 4
 詣セ候ハハ 412 10
 開サクコトニテ候ハハ 421 10
 焚候ハハ 425 12
 競ハヒ難キ事ニテ候 410 ③
 さへづる(囀) 410 ③
 囀リ(中止法) 414 6
 さほき(坐部伎) 414 6
 坐部伎 406 3
 坐部(伎) 406 5
 さまざま(様々) 406 5
 様々 403 10 411 ④ 411 11
 さまよふ(彷徨) 430 ④ 432 10
 サマヨヒケル 433 8
 さむげん(讒言) 433 8

讒言 425 ⑨ ⑩ 431 2 4
 さむさ(寒) 431 2 4
 寒 433 2
 さむし(寒) 433 2
 寒キ 421 ⑩
 寒(連体法) 413 2
 さむじふごにん(三十五人) 413 2
 人 413 2
 三十五人 414 ⑦
 さむじやく(三尺) 414 ⑦
 三尺 412 6
 さむじやくしすん(三尺四寸) 412 6
 四寸 412 6
 三尺四寸 412 3 12
 さむせん(三千) 412 3 12
 三千 403 ①
 さむせんにん(三千人) 403 ①
 三千人 405 ④
 さむせんよにん(三千餘人) 405 ④
 人 405 ④
 三千餘人 403 ⑩
 さむせんり(三千里) 403 ⑩

三千里 411
 きむだいの(三代) 407
 三代 426
 きむぢう(三重) 430
 三重 430
 さむにん(三人) 409
 三人 409
 さむねん(三年) 426
 三年 426
 さむびやく(三百) 410
 三百 410
 さむびやくきうじふにん(三百九十人) 403
 三百九十人 403
 さむびやくり(三百里) 430
 三百里 430
 さも 411
 サモ 418
 さ(ら)に(更) 415
 更= 412
 416 ⑥ 410 ④ 411 ④
 419 5 432 7 8
 434 1

さりけるほどに(然) 408
 サリケル程ニ 408
 さりけれども(然) 419
 サリケレトモ 419
 さりければ(然) 431
 サリケレハ 431
 さる(去)↓なげさる 410
 去テ 410
 さりぬ 433
 去ヌル 425
 されば(然) 425
 サレハ 410
 ④ 413 422 2 424 6
 ⑤ 427 10 428 4 430 6
 ② 435 ② 414 ⑩
 434 ⑥
 さんりむ(山林) 434
 山林 434
 し(詩) 434

詩 435
 しう(周) 410
 周 418
 ③ 431 7 433 8 435 ②
 ④ 425 ③ 419 2 420 5
 しえい(子嬰) 430
 子嬰 ② ③
 しかう(四皓) 410
 四皓 410
 しがう(紫毫) 428
 紫毫 ①
 しがうひつ(紫毫筆) 428
 紫毫筆 ④
 しかしながら(併) 419
 併ヲ ③
 しかり(然) 414
 可然カル ⑩
 可然ル ⑧
 407 11 411 2 415 1
 しかるに(而) 418
 而ルニ 420 10
 432 8

然ルニ 422
 然ルニ 421
 然 415
 しかるを(而) 432
 而ヲ 409
 ③ 414 5 415 10 432 9
 而(可) 414
 ④
 しかれども(然) 408
 然トモ 9
 しき(四季) 432
 四季 5
 しきりに(類) 424
 類リニ ⑥
 類リニ 410
 類リニ 422
 ⑨ 410 2 424 ⑥
 ⑦ 425 ⑦
 ⑩ 430 ⑩
 し(如) 425
 不如 ⑦
 不如(方) 430
 始皇 420
 ② 420 2 430 1
 ④ 3 4 13 ④
 しげる(繁)↓おひしげ
 る

しし(師子)

師子 418 8 13 ② ⑧

しじふねん(四十年)

四十年 415 ④

しじふろくにち(四十六日)

四十六日 430 ③

ししむら(肉)

肉 ムラ 432 6

じしゃく(磁石)

磁石 430 7

じす(辭)

辭シ(中止法) 419 ⑥

じせいしゃう(時勢粒)

時勢粒 425 1

しそん(子孫)

したかふ(隨) ④ 四段

從(ハカレテ)

隨イテ

隨テ 426 ② ⑨

隨(連体法) 415 3 419 13

したかふ(隨) ④ 下ニ段

しうちしたかふ(うち)

したかへかたし

隨(ハ)給

隨テ 430 4 5

隨(連体法)

したく(支度)

支度 430 9

したし(親)

親シキ 428 1

しち(七)

七 403 2 3

しち(琵琶)

琵琶 413 ①

しちとくのまひ(七徳舞)

七徳ノ之舞 403 3

七徳舞 403 3

しちのこと(琵琶)

琵琶ノ琴 413 ① ⑥

琵琶 413 ⑦

しちべう(七廟)

七廟 419 6

しづかなり(靜)

靜ナリケルヲ

靜ナル 404 6

靜ナルヘキ 418 ⑥

しづまる(靜)

靜ツマテ 404 4

しづむ(沉)

沉テ 425 2

しまんだい(司天臺)

司天臺 407 10

しとね(茵)

シトネ 409 ⑧ 410 5

しぬ(死)

死ナム 409 3 413 7 430 3

死ニケレハ

死ケレハ 430 13 409 5

死ケレハ

死候キ 413 7 413 11

死タラム

死タラム 430 13 430 9

死ヌル

しのぐ(陵)

シノカンカ 408 ④

しのびがたし(忍難)

難コトヲ 忍ビテ 432 ⑩

しほう(四方)

四方 414 3 417 4 425 3 3 5

しばう(子房)

子房 420 1

しばりく(暫)

暫ク 416 ⑫ 425 ③

しぼる(縛)

しぼる(縛) 416 ⑫ 425 ③

しひん(四濱)

四濱 496 ⑤

じふ(十)

十 403 2

じふいち(十一)

十一 403 2

しふじつ(終日)

終日 421 2

じふちやう(十丈)

十丈 409 ⑩

じふぢやうあまり(十丈)

餘) 十文餘 421 ③
 じふにん(十人) 409 1 421 ⑤
 十人 409 1 421 ⑤
 じふまんき(十萬騎) 418 ⑦
 十萬騎 418 ⑦
 じふろく(十六) 407 5
 十六 407 5
 しへたぐ(空冠) 418 ⑤
 シエタケラレテ 435 ⑩
 空冠タケ 435 ⑩
 しえたけけるに 433 ⑪
 シエタクル 422 ② 434 7
 しえたたくる 433 ⑤
 シエクル 435 9
 空冠 435 9
 じへん(時變) 40 2
 時變 40 2
 しほ(鹽) 426 ① ⑦ ⑨
 鹽 426 ① ⑦ ⑨
 しほむ(萼) 421 6
 萼(未然形) 421 6
 しみづ(清水) 421 6

しみづ ④34 ⑬
 じむかぶきん(尋問勤) 414 5
 尋問勤 414 5
 しんざん(深山) 419 ⑤
 深山 419 ⑤
 しむしやう(參商) 409 ③
 參商 409 ③
 しも(下) 434 12
 しも 434 12
 しも(霜) 435 13
 霜 435 13
 じやう(止) 403 4 ①
 上 403 4 ①
 じやうえむしう(城鹽洲) 411 ③ ②
 城鹽洲 411 ③ ②
 じやうぐわち(正月) 415 ⑥
 正月 415 ⑥
 しやうぐん(將軍) ↓だ
 しやうぐん(將軍) ↓だ
 いしやうぐん(ほうし)
 しやうぐん(ほうし)
 やうぐん(りしやうぐ)

ん(りよしやうぐん) 411 ③ ④ ⑧ ① ⑬ ④4 2
 將軍 411 ③ ④ ⑧ ① ⑬ ④4 2
 2 6 8 9 416 1 3
 418 9 11 12 13 ① ⑤
 424 1 ③ ⑤ 431 ③
 しやうぐんども(將軍共) 425 6
 將軍トモ 425 6
 しやうざん(嶺山) 419 ⑩ 420 3 4
 嶺山 419 ⑩ 420 3 4
 じやうざん(常山) 409 11 11
 常山 409 11 11
 しやうしよかう(尙書號) 407 ①
 尙書號 407 ①
 しやうぞく(裝束) 415 ⑦ 422 ⑤ ⑦
 裝束 415 ⑦ 422 ⑤ ⑦
 じやうやうきう(上陽宮) 407 ④
 上陽宮 407 ④
 じやうやうはくはつ(上陽白髮) 407 5
 上陽白髮 407 5
 じやうやうはくはつじん

(上陽白髮人) 407 5
 上陽白髮人 407 5
 じやうりんるん(上林苑) 410 ⑤ 413 3
 上林苑 410 ⑤ 413 3
 しやぜん(社前) 432 5
 社前 432 5
 社前 432 5
 しやとう(社頭) 419 6
 社頭 419 6
 しゆうじつ(終日) ↓し
 じゆうじつ(終日) ↓し
 ふじつ
 しゆくそう(肅宗) 403 2
 肅宗 403 2
 じゆんさい(馴犀) 412 ①
 馴犀 412 ①
 馴犀 412 ①
 しゆんどうこう(春秋後語) 433 ①
 春秋後語 433 ①
 春秋後語 433 ①
 じゆん(順宗) 403 2
 順宗 403 2
 しよくさん(蜀山) 407 1
 蜀山 407 1

しよくと(蜀都)

蜀都

421 ㉓

しよしゃうぐん

諸將軍

411

しよたう(所當)

所當

422 10

じよなんた(舒難陀)

舒難陀

44 ㉑ ㉒

じよぶく(徐福)

徐福

405 ㉔

しらく(白)

白ケテ

421 13

しらけ(白毛)

白毛

407 5

しらす(知)

不知

415 ㉕

不知

不知シテ

427 ㉖

知らセ給ハサリケレハ

知セ給はず

434 4

しうべ(調)

調へ

406 8

調

しりがたし(知難)

難知事

406 7

しりぞく(退)

退テ

405 7

しりぞく(退)

退ケテ

431 6

しる(知) ↓ はかりしる

・まうししる

432 19

不知ケリ

不知

428 1

不知

不知

408 6

不知

不知

418 9

不知

不知

426 4

不知

不知

434 2

知らレ参セスシテ

知らレマイラセ又

419 5

知らレ参セスシテ

知らレマイラセ又

422 1

知り(中止法)

知ケル

471 1

シリダマハサリケルヲ

知リ給シ

426 5

知リ給シ

しる

408 11

しる

しる

417 10

城

しろ(城)

407 8

しろかね(銀)

白カネ

412 1

銀

銀

430 5 ㉑

しろじ(白)

白キ

411 8

しろしめす(知)

しろしめさねハ

427 4

しろしめす(知)

しをる(暮)

422 3

シホレ(連用法)

じをんじ(慈恩寺)

427 7

慈恩寺

しん(臣)

臣

421 4

しん(秦)

秦

418 4 428 4 434 3 435 3

しんか(臣下)

臣カ

405 8 420 2 430 1 3

臣下

臣下

4 5 435 3

臣下

臣下

409 5 414 10 420 10

しんか(神歌) ↓ かみう

た

428 2 ㉑ 429 1 435 9

しんかども(臣下共)

臣下共

419 10 435 10

しんがふちう(新樂府注)

新樂府注

427 2 429 6

しんきつれう(秦吉了)

秦吉了

403 1 416 2 436 1

しんず(信)

信シテ

422 7

しんず(信)

信シテ

431 4

しんほう(新豊)

新豊 408 ④

しんほうのせつひをう

新豊折臂翁

新豊折臂翁 408 ④

新豊折(臂)翁 408 ④

じんりよう(神龍)

神龍 432 2 3 3 5 7 8 8

す

す↓けつこうす・さしづ

す・さつがいです・ちや

うあいです・ちゆうす

ほしいまます

セサセケレハ 415 ①

セサセ給 414 4

セム(ハ) 418 4

セラレケレハ 417 11

セラレタル 417 11

セラレル 413 9

セシカトモ 430 1 417 9 430 4 430 ⑥

シ 419 ⑫ 426 ⑨ 428 2 429 11

シケル 467 ⑩ 468 9 429 10

シケレハ 432 9

シ(ケ)レハ 432 6

シ給ケルヲ 425 8

シ給 431 ⑥

シタルセ 419 ⑫

シテ 403 10 410 ② 412 10

シテ 418 4 419 4 414 5 417 ③

シテ 418 ④ 422 10 426 8 ⑥ ⑦

シテ 430 5 12 ⑤ ⑥ ⑦ 435 8 ②

ス 420 10

スハカラス 417 5

スハキ 425 11

スレ 409 2 422 ⑦ 427 ②

スレ 432 2 8

スルナリ 425 5

スルハ 417 7

スルヲ 410 ④

スレ(「コン」の結び) 417 5

すい(隋) 417 5

隋 404 ⑥ 419 6 7 ⑦

すいでいりう(隋提柳)

隋提柳 429 3

隋提柳 429 3

すいのくに(隋國)

隋ノ國 429 3

すう(居)

居ラレケル 418 2

スベ御ハシテ 418 2

スベテ 433 3

居ニケリ 429 ⑩

すかす(賺)

スカシテ 414 ②

スカ(ハシ)テ 414 11

すがた(姿)

形ヲ 425 12

姿ヲ 433 1

姿ヲ 415 5

姿 415 3 4

躰ヲ 418 ⑩

躰 431 ⑤

すがはら(菅原)

スカ原 427 ④

すがる(継) ↓とりすか

る 427 3

すぐ(過)

過サリケリ 412 3

不過ナリ 412 12

過ケル 426 9

過マケル 426 1

過タリケリ 416 8

過タル 423 8

可過(ガ)方ヲ 431 ④

可過タル 422 10

すくなし(少)

少ナクシテ 412 6

すぐる(勝)

勝タル 407 ② 421 3

勝レテ 418 ③

勝カ故ニ 416 ③

すこし(少)

少シキヲハ 426 ⑩

す(過)

過ヲハ 426 ⑬

すぎまじ(冷)

冷シカラム 416 ⑩

冷シカリケレハ 416 ⑥

冷マシ 421 ⑨

すすかす(煤)

ス、カシテ 423 12

すすむ(進)

進ム(連体法) 407 ④

すすむ(勸)

勸(中止法) 435 6

勸給ヘル 421 11

すたる(上廢)

廢タレ候ニケレハ 406 6

タレテ 417 6

すぢ(筋) ↓いとすぢ

すつ(棄) ↓おひすつ

とりすつ

被テ棄候也 433 11

棄(中止法) 413 ④

棄シヲ 406 2

ステ、 410 ⑩

棄テ、 404 7 ① ④ 434 ⑤

奇テ、 420 ⑥

棄テ 406 ④

棄テ 413 ⑦

棄テ 406 10

棄ツル 424 7

すでに(已) 403 ① 411 8

已ニ 421 8

すなご(砂)

砂 428 10

すなほなり(直)

不直ヨ、 429 1

直ナラネハ 419 ①

直ヨナラハハ 428 ②

直スナヨニ 403 5

直ニ 430 ⑧

直テ 430 ⑩

すひとる(吸取)

スイトラヒケリ 430 8

すべからく(須)

須ク... 432 3

すみ(炭) 423 1 3 3 6 7

炭 423 1 3 3 6 7

すみか(樽)

樽 433 ⑩

榎 430 9

すむ(住)

住給ケレハ 416 ⑦

住ヘキ 418 6

接口(連体法) 418 3

すむ(澄)

澄(中止法) 429 ①

すゐこくこう(鄰國公)

鄰國公 404 ⑥

すゐ(末)

末 405 3 407 2 416 ①

すゐずゐ(末々)

末々 412 ⑥

廿

廿

せい(姓)

姓 412 ⑦

せい(勢方) 412 6

體セイ

せい(齊)

齊 420 14

せいかう(西江)

西江 426 ③

せいぎ(盛姫)

盛姫 417 3 425 ④

せいし(制止)

制止 411 ①

せいせき(靑石)

靑石 417 ①

靑石

せいてい(成帝)

成帝 410 2

せいてい(靜帝)

靜帝 404 ⑤ ⑧

せいまいいんきん(井底引銀筋)

井底引銀筋 427 ①

井底引銀筋

せい(井底引銀筋)

せい(井底引銀筋)

せい(井底引銀筋)

せい(井底引銀筋)

西方 418 10 11
 せいはいくしやう(西伯昆) 418 8 11 13 ① ② ⑦
 西伯昆 431 6
 せいらやう(西涼) 418 8 8
 西涼 418 8
 せいらやうぎ(西涼伎) 418 8
 西涼伎 418 8
 せいわう(成王) 435 ④
 成王 435 ④
 せいわうぼ(西王母) 449 3
 西王母 449 3
 せうと(弟) 408 13
 弟 408 13
 せうやうてん(照陽殿) 422 ⑧
 照陽殿 422 ⑧
 せうわう(昭王) 420 ③
 昭王 420 ③
 せき(關) 420 ⑦
 關 420 ⑦
 せきしやく(赤色) 425 1
 赤色 425 1

せきばく(石木) 425 ⑥
 石木 425 ⑥
 せつ(節) ↓ちようやう 409 7
 のせつ 409 7
 せつどし(節度使) 410 ①
 節度使 410 ①
 せつひをう(折臂翁) 408 ⑩
 折臂翁 408 ⑩
 せに(錢) 410 ①
 錢 410 ①
 せはし(少) 428 9 9
 少セハク 428 9 9
 せふしやう(攝政) 441 1
 攝政 441 1
 せみ(蟬) 416 1
 セ「ミ」(「ミ」は禿) 416 1
 せむ(責) 411 1
 責×ラレケルニ 411 1
 責カ 411 1
 徴セメニ 416 1
 責△ヘキ 416 1
 せめ(責) 411 1
 責 411 1

せん(仙) 405 ⑩ ⑪
 仙 405 ⑩ ⑪
 せん(遷) 419 13
 遷 419 13
 せんくわん(千官) 429 7
 千官 429 7
 せんさむびやくり(千三百里) 421 ② ③ ④ ⑥
 宣州 421 ② ③ ④ ⑥
 せんじ(宣旨) 422 11
 宣旨 422 11
 せんじ(宣旨) 425 10
 仙述 425 10
 せんぢよ(仙女) 449 3
 仙女 449 3
 せん(仙) 447 ⑩
 仙人 447 ⑩
 せんまん(千万) 405 ⑩ ⑪
 千万 405 ⑩ ⑪

せんまんき(千万騎) 416 ⑨
 千万騎 416 ⑨
 せんまんそう(千万艘) 429 8
 千万艘 429 8
 せんり(千里) 410 418 ⑤ 419 12 14
 千里 410 418 ⑤ 419 12 14
 せんりやう(千兩) 422 ⑦
 千兩 422 ⑦
 せんわう(宣王) 435 8
 宣王 435 8
 せんわう(前王) 435 8
 前王 435 8
 せん(素) 435 8
 素 435 8
 せん(楚) 430 ③ ④ ⑤ ⑥
 楚 430 ③ ④ ⑤ ⑥
 せんす(奏) 444 ⑧
 奏 444 ⑧
 奏(候)ケリ 444 ⑧

可奏ス 428 ⑥

そうちうし (宋仲子)

宋仲子 424 8 10 12

そこ (底)

底 419 ④ ⑥ 427 ① ① ⑥

431 ⑧ 432 1

そこなふ (損)

ソコナハム 428 12

そこばく (幾)

幾 409 4 428 11

そさん (素飡)

素飡 426 ⑬

そしり (誦)

ソシリ 409 9

そしりかぬ (誦兼)

誦り兼 444 2

そしる (誦)

誦り 407 7 434 ④

誦り候ケル

誦り候ナル

誦り候也

そしりたるなり 433 ⑥

誦ルナリ 408 ④ 414 ④ 419 ④ 418 ④ 428 ④ 430 ④ 434 ④

誦タル 424 7 428 9

誦ケル (ナリ) 410 6

誦リテ 407 7 418 2 9 422 5

誦リテ候也 405 ①

誦リテ候也 404 ④ 406 2

誦リテ候ナリ 409 ⑩ ④ 411 ④ 414 ④ 418 ④

誦語ナリケル 408 1

誦語ナリケル 412 ①

誦語ナリ 413 11

誦ルナリ 422 ④

誦ル也 425 8

誦レル 418 2

そそく (灑)

灑 432 6

そたつ (育)

ソタツル 433 ①

そで (袖) ↓ふたそで

そと (外)

外 411 7 417 9 427 8

外 411 6

外 411 6

そなほる (備)

備レリ 416 ⑧

そなへもの (備物)

備物 423 ⑥

その (其)

ソノ 427 4 429 ⑤

其ノ 404 ① 405 ③ 412 ⑤ 429 ⑤

其 403 ① 404 1 405 ⑦ 407 ①

其 408 13 ⑩ 409 2 410 10

其 411 1 ④ ⑦ ⑨ ⑩ 412 4

其 7 12 ⑦ 413 5 6 ① ① ④

其 ④ 414 1 2 4 416 1 ③

其 418 12 ① 422 8 9

其 423 4 424 ⑥ ⑦ 425 9

其 427 6 7 ⑨ 430 12 ①

其 432 ⑬ 433 4

其 (其) 403 12 407 5 411 7 8

其のうへに (其上)

其上 424 ⑧ 428 ①

其上 413 ④ ④ 418 4

其上 413 ④ ④ 418 4

其上 413 ④ ④ 418 4

そまき (杣木)

杣木 418 2

そむ (梁)

梁ケハル 407 7

梁ナルト 422 ⑥

そむく (背) (四段)

背キ候ケル 403 7

背ニケレ 430 ⑦

背ムク (連体法) 430 ④

背ケ (連体法) 430 ① ④ ⑤ ②

背ケリ ⑩

そむく (背) (下二段)

背ケム 434 ④

そら (空)

ソラ 419 4

空 405 ③ 409 ⑩ 419 2 433 ⑩

そらごと (虚言)

ソラゴト 417 ④

それ (其)

其 407 5 410 7 412 ⑧ 413 8 418 ①

其 407 5 410 7 412 ⑧ 413 8 418 ①

そろふ (調)

調ソロエテ 411 2

そんばう(損亡)

損亡 422 8

た

た(田)

田 423 10 426 12

だいかうろ(大行路)

大行路 409 11

だいく(第九)

第九

たいげん(大原)

大原 424 11 429 14

たいじ(大寺)

大寺 414 4

たいしやうぐん(大將軍)

大將軍 435 5

だいじん(大臣)

大臣 414 9 10 419 5 420 1

427 10 433 7 434 4

たいそう(太宗)

太宗 410 4 429 5

太宗 403 5 405 1

太宗 404 10 427 10

たいそう(代宗)

代宗 403 2 415 3

たいそうくわうてい(太宗皇帝)

太宗皇帝 417 7

たいべう(大廟)

大廟 417 3

たいべうのまつり(大廟祭)

大廟ノ祭 404 10 406 6

たつ(唐)

唐 403 3 5 404 6 406 2 4

たつ(唐) 407 6 410 12 412 4 414 10

たつ(唐) 418 9 10 420 5 422 4

たつ(唐) 411 3 413 2 442 2 415 2 417 3 419 3

たつ(唐) 411 3 413 2 442 2 415 2 417 3 419 3

たつ(唐) 411 3 413 2 442 2 415 2 417 3 419 3

たつ(唐) 411 3 413 2 442 2 415 2 417 3 419 3

たつ(唐) 411 3 413 2 442 2 415 2 417 3 419 3

たつ(唐) 411 3 413 2 442 2 415 2 417 3 419 3

たつ(唐) 411 3 413 2 442 2 415 2 417 3 419 3

たつ(唐) 411 3 413 2 442 2 415 2 417 3 419 3

たつ(唐) 411 3 413 2 442 2 415 2 417 3 419 3

高キ 423 3 424 2 425 2

高ク 426 3 428 9 429 7 435 8

だうしう(道州)

道州 412 3 413 5

だうしうみん(道州民)

道州民 412 3 413 3

たうちやう(湯帳)

湯帳 420 5

たうど(唐土)

唐土 401 1 414 10 419 7

たかさ(高)

高サ 424 10 428 5

たかし(高)

高 409 10 410 4

たかし(高) 409 10 410 4

高キ 423 3 424 2 425 2

高ク 426 3 428 9 429 7 435 8

たがふ(違)

不違 416 4

たがやす(耕)

耕ス(連体法) 415 2

たから(賤)

賤 416 10 417 11 430 4 12

たく(焚)

焚候ヘハ 425 12

焚給ケレハ 425 1

たくはふ(貯)

貯 416 11

たくはへ(貯) ↓おほむ

貯 421 10

たくはへ 421 13

無類 (連体法)

414 ④

たくみ (エ)

たたく (扱)

426 ⑭

エミ

扱 (扱)

430 14

たけ (長)

たたく (直)

419 ①

長

直

412 3

長

直

412 6

たける (長)

直

412 7

タケヌル

直

403 ⑥

たしかなり (慥)

直

405 ⑩

慥

直

406 3

たすけ (助)

直

419 10

助

直

406 3

たすける (助)

直

406 3

助ヶ進

直

406 3

た (只)

直

406 3

夕

直

406 3

只

直

406 3

た

直

406 3

爛

直

406 3

爛

直

406 3

但

直

406 3

大カ

420 ①

た

たづね (尋)

407 ⑦

館

たづね (尋)

407 ①

辰

たづね (尋)

407 ⑧

た

たづね (尋)

407 ⑧

立

たづね (尋)

407 ⑧

たとへ(壁言) 435 ⑤
 たとへ 435 ⑤
 たなばた(七夕) 409 ④
 七夕 409 ④
 たに(谷) 419 ④
 谷 419 ④
 淵 419 ④
 たのし(樂) 426 ⑩
 タノシキ 426 ⑩
 樂シキ 426 ⑩
 たのしげなり(樂) 426 ⑩
 樂シケナル 426 ⑩
 たのしむ↓あそびたのしむ 426 ⑩
 たのむ(憑) (四段) 427 ⑤
 憑ミテ 427 ⑤
 たのむ(憑) (下二段) 427 ③
 憑ムレ 427 ③
 たばかり(謀) 431 ⑨
 タハカリケレハ 431 ⑨
 タばかりテ 431 ⑨
 儀カリ申 432 ⑦
 たばたかに↓たまさかに 432 ⑦

たはぶる(戯) ↓あそび 411 ⑩
 たはぶる 411 ⑩
 戯ル、 411 ⑩
 たび(度) ↓あまたたび 413 ⑥
 ももたび 413 ⑥
 たふ(堪) 413 ⑥
 不堪シテ 413 ⑥
 堪ヌニ 413 ⑥
 たふ(給) 413 ⑥
 タヒケリ 413 ⑥
 タヒ候ケリ 413 ⑥
 タヒテ 413 ⑥
 タフヘキナリ 413 ⑥
 たぶさ(鬢) 413 ⑥
 タフナ 413 ⑥
 たへがたし(堪難) 413 ⑥
 難キ 413 ⑥
 難堪 413 ⑥
 難堪禱 413 ⑥
 たま(玉) 417 ⑩
 玉 417 ⑩
 たまき(鑢) 417 ⑩
 タマキ 417 ⑩

鑢玉キ 429 ⑧
 たまさかに(遊) 429 ⑧
 タハタカニ 429 ⑧
 たまども(玉共) 429 ⑧
 玉共 429 ⑧
 たまの(玉) 429 ⑧
 玉ノ 429 ⑧
 たまはる(給) 429 ⑧
 給ハラス 429 ⑧
 官ヲ給ラム 429 ⑧
 暇給リテ 429 ⑧
 給テ 429 ⑧
 たまふ(給) (本動詞) 429 ⑧
 給ケリト 429 ⑧
 給候は、 429 ⑧
 給ヒキ 429 ⑧
 給ヘカラス 429 ⑧
 賜モ 429 ⑧
 たまふ(給) (補助動詞) 429 ⑧
 シリタマハサリケルラ 429 ⑧
 成セ給ケリ 429 ⑧

知ラセ給ハサリケレ 414 ⑨
 ハ 414 ⑨
 入給サリシ事 414 ⑨
 知セ給ハス 414 ⑨
 守ラセ給ハ 414 ⑨
 見セ給ハムカ爲世 414 ⑨
 治メ給ハム人 414 ⑨
 返ヘリ給ヒキ 414 ⑨
 持給ヒケリ 414 ⑨
 殺害シ給ヒケリ 414 ⑨
 理マセ給ケリ 414 ⑨
 泣明リセ給ケリ 414 ⑨
 翫給ケ(リ) 414 ⑨
 入込モリ給ケリ 414 ⑨
 舞セ給ケリ 414 ⑨
 舞セ給ケリ 414 ⑨
 入込給ケリ 414 ⑨
 入込給ケリ 414 ⑨
 置キ給ケリ 414 ⑨
 翫給ケリ 414 ⑨
 成セ給ケリ 414 ⑨

登リ給ケリ 418 1
 乗給ハケリ 418 11
 織セ給ケリ 422 5
 遊樂ミ給ケリ 429 9
 嘲ラヒ給ケリ 431 13
 寵愛セサセ給ケリ 432 11
 治^{ヲサメ}給ケル 403 6
 成給ケル 405 1
 返リ給ケル 429 3
 泣哀ヒ給ケルニ候 403 4
 既給ケル程ニ 404 5
 遊ヒ戯フレ給ケル程^ニ 429 2
 直セ給けるほとに 433 12
 軍^ヲ給ケルヲ 425 8
 既給トモ 413 1
 失^ハ給ケレハ 403 3
 哭^キ哀^ヒ給ケレハ 403 4
 減シ給ケレハ 404 9
 ノミ給ケレハ 410 9
 住給ケレハ 416 7
 焚給ケレハ 425 1
 問セ給ケレハ 426 7

忘レ給ケレハ 429 3
 問ハセ給ハケレ 433 9
 知給シ 407 8
 知り給シ 417 10
 流シ給シ 425 5
 用給シヲ 406 5
 好ミ給シヲ 408 1
 痛^{ツメ}給タル 417 1
 蔭クレ給テ 407 7
 梁カセ給テ 411 6
 アソヒ給テ 419 4
 買セ給テ 424 2
 戎給ヒナム 408 14
 出セ給ニケリ 403 11
 放セ給ニケリ 403 13
 事^{ソカトラセ}給ニケリ 405 1
 止ミ給ニケリ 424 13
 揚カケ給ニケリ 431 10
 打^レ給ニケリ 431 4
 カハサセ給ニケレハ⁴¹⁹ 419 1
 入込給ヌ 407 1
 得給フト 420 6

失^{ニケリ}給 419 8
 既給ヘカラサル 419 1
 極キハメ給ヘカラヌ 415 7
 不可成セ給 414 11
 不可^レ好給 431 7
 取ラシメ給ハシ 411 9
 取給ヘシ 411 10
 云レ給ヘシ 415 8
 歎キ給ヘキ 415 10
 辱ハケ思給ヘキヲ 418 3
 惜セ給^レ連体法 403 3
 既給^レ連体法 404 4
 隨^ハ給^レ連体法 408 7
 愛給^レ連体法 413 3
 セサセ給^レ連体法 414 4
 スミ給^レ連体法 415 5
 驕^リ給^レ連体法 415 11
 出給^レ連体法 416 6
 怨^ハ給^レ連体法 418 4
 返リ給^レ連体法 419 4
 哀給^レ連体法 423 1
 立給^レ連体法 425 4

碎給^レ連体法 425 2
 失給^レ連体法 431 2
 軍^ヲシ給^レ連体法 431 6
 被書^レ給也 417 11
 狀ハセ給也 432 6
 舞歌ヒ初給ヲ 404 4
 セサセ給ヘリ 417 8
 勤メ給ヘル 421 11
 たまふ^レ給^レ下二段 411 12
 構^ハ給^レハシ城ノ内 411 12
 たみ^ノ民 433 11
 たみ 434 3
 民^{タミ} 422 1
 民^{タミ} 433 9
 民 410 12
 412 3 9 10 10 10 7
 415 4 4 6 6 7 8 9
 418 5 4 7 422 2 423 3
 419 8 8 435 9 11
 ⑤ ④ ⑥ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

民共モ 412 7

民共 411 3 422 9 12

たの(爲) ↓おむたのめ

タメ 431 ① ③

爲 403 ⑫ 408 ④ 409 7 ⑬ 411 1

425 8 429 2 415 ③ 416 ⑪ 419 9

ためし(様)

タメシ 416 9

たのし 433 ①

爲シ 413 9 420 ③ 435 ④

様タメシ 406 8 421 ④

様シ 422 ④ 424 ①

たもつ(持)

持タム 422 2 424 ①

持給ヒゲリ 430 ⑥

たやすし(輒)

不輒。 430 ④

不容易、 428 ⑦

輒ク 416 ⑧ 428 ⑤

414 ③

たゆ(絶) ↓かきたゆ

不堪 421 2

断へ又 409 ④

たる(足) 423 ①

不足 423 5

不足 423 ②

だん(段)

たん 433 ① ⑤

段 403 5 404 5 ③ ⑪ 405 8

406 2 ④ 407 6 ⑪ 408 ⑤

409 8 12 ⑦ 410 4 8 ⑫

411 2 8 ④ ⑪ 412 4 ⑩

413 8 ② 414 2 9 ⑥ 415 ②

416 ④ ⑫ 417 3 11 ② ⑨

418 9 419 1 ⑤ 420 ⑤

421 11 ② ⑩ 422 5 ① ④

425 2 8 ① ⑧ 426 9 ⑫ 427 2

428 9 ⑤ ⑩ 429 4 6

430 2 3 431 2 ⑦ 432

434 ④ 435 9 ①

たんしや(炭車)

炭車 423 4 12 ①

ち

ち(地)

ち 408 ⑥

地 418 5 421 ⑩ 422 1 432 ④

ちうぐう(中宮)

中宮 425 ⑩

ちうす(注)

注シケル 416 9

ちうせつ(忠節)

忠節 417 ⑦

ちうゆう(紂王)

紂王 420 9 431 3

ちかし(近)

近 411 2

近(連体法)

近 411 3 404 ④ 411 ①

ちから(力)

力 421 ⑥ 423 9 424 13

力 410 ② 431 6

ちからぐるま(力車)

力車 417 ②

ちぎり(契)

契 409 ④ 427 ③ ⑤

ちち(父)

父 414 ⑩

ちやうあいす(寵愛)

寵愛セサセ給ケリ 429 ⑦ 433 11

ちやうあきう(張鷟)

張鷟丸 434 ① ②

ちやうきん(張瑾)

張瑾 403 ③

ちやうり(長吏)

長吏 410 8 11 12

ちようやうのせつ(重陽)

重陽ノ節 426 7

ちよくせい(勅宣)

勅宣

429 1

ぢよこらう(女工)

女工

422 ③

ちりばむ(鑄)

鑄ハメシカトモ
鑄ハメタル

427 3
429 8

ちる(散)

散ラム

421 7

散テ

散ニケリ

403 8
434 ④

ちんりう(陳留)

陳留

410 ⑩



ついかぎ(築築)

ツイカキ

430 6

ついたち(一日)

一日

415 ④

つらじがたし(通難)

難^{シカハ}通^シ

435 13

つか(墓)

墓^{ツカ}

417 ⑧

塚

つかさ(官)

ツカサ

431 1

官^{ツカサ}

官^{ツカサ}

435 12 ③

官^{ツカサ}

官^{ツカサ}

435 10

つかせどる(司)

ツカサトラセ
事^{ツカサ}給ニケリ

405 1

事^{ツカサ}カトリテ

事^{ツカサ}カサトル

408 ⑤

ツカサトル(連休法)

つかはす(遺)

遺^{ツカサ}ケレハ

414 6

遺^{ツカサ}ハシテ

つかふ(仕)

仕^{ツカサ}ヘテ

405 ⑨

仕^{ツカサ}ヘテ

仕^{ツカサ}ヘテ

427 6

仕^{ツカサ}ヘテ

仕^{ツカサ}ヘテ

419 ⑧

仕^{ツカサ}ヘテ

仕^{ツカサ}ヘテ

403 7

仕^{ツカサ}ヘテ

仕^{ツカサ}ヘテ

417 ⑦

仕^{ツカサ}ヘテ

仕^{ツカサ}ヘテ

417 ①

仕^{ツカサ}ヘテ

仕^{ツカサ}ヘテ

417 ⑩

仕^{ツカサ}ヘテ

仕^{ツカサ}ヘテ

420 6

仕^{ツカサ}ヘテ

仕^{ツカサ}ヘテ

417 ⑩

仕^{ツカサ}ヘテ

仕^{ツカサ}ヘテ

420 6

付ニケリ 415 ⑦ 429 ⑤

付^{ツカサ}ニケリ

盡(連体法) 416 ⑩ 421 10
 盡マテニ 407 ⑦
 盡セトモ 416 ⑩
 つくのふ(償) 410 ④
 ツクノハントテ
 つくりかさぬ(作重)
 作り重ネテ 418 5
 つくりなす(造成)
 未タ造成サ 427 4
 つくる(作)
 不作フ 426 ⑫
 不作 423 10
 作セテ 403 9
 造セテ 425 3
 作シムト 418 2
 被テラ給ケル 416 ⑤
 被テ作候シヨ 406 ③
 造リケリ 430 9
 ツクリケル 427 1
 作りタリケリ 434 ②
 作タルヨ 413 ②
 作りテ 432 5 434 ①

作テ 404 4 413 5 ⑤ 416 ③
 作テハ 427 10 435 8
 造マテ口口 406 ⑥
 造ル(連体法) 418 3
 つくろふ(治) 427 2
 ツク□ウテ 417 6
 つたふ(傳) ↓まうしフ
 たふ 412 ⑥
 傳へ 427 7
 傳ト 412 ⑥
 つち(土) 422 ①
 土 422 ①
 つちく礼(壤) 415 2
 壤レツナク 415 2
 つ↓ひとりフフ 415 2
 つフしむ(慎) 415 2
 慎ム(連体法) 415 2
 つフみ(提) 415 2
 塚ツミ 428 10
 つフみ(鼓) 428 10
 ツミ 435 ⑥

鼓 435 ⑤
 つね(常) 413 9 422 ⑩
 常 413 9 422 ⑩
 つねに(常) 413 9 422 ⑩
 常ニ 411 ⑤ ⑩ 418 10 433 1
 常ル 411 ③
 つの(角) 420 15
 角 420 15
 つば(柄) 420 ①
 柄ツハ 420 ①
 つばさ(翅) 409 ①
 翅サ 409 ①
 つばめ(燕) 426 5
 燕メ 426 5
 燕 433 ⑧ ⑨ 434 7
 つばもの(兵) 430 ④
 兵 431 11
 兵 431 11
 つひえ(費) 411 ①
 費へ 411 ①
 費 408 ⑥ 416 ⑥ 417 1
 弊ツイへ 405 ⑬

弊 421 8 11 ② 422 1 432 9
 つひに(終) 412 10
 終イニ 412 10
 つぶさに(具) 435 ⑧
 具サニ 435 ⑧
 つま(妻) 424 13
 妻マ 424 13
 妻 415 ⑤ 423 ⑩ ⑪ 424 1 7
 つまひらかなり(詳) 426 ① ⑦ 427 ①
 ツマヒラカニ 425 ①
 つもる(積) 419 6
 積モリケレハ 419 6
 積ニケレトモ 405 ⑥
 積ル(連体法) 423 ④
 つら(面) ↓びんつら 423 ④
 つる(鶴) 433 ⑦
 ツル 434 2
 鶴 434 2
 つる(連) ↓のりつる 434 2
 つる(釣) 420 8
 釣リケ 420 8

つるぎ(劍)

劍キ 427 ① ⑦ 434 ① ② 435 3 434 ③

つるべ(瓶)

ツルへ

427 ① ① ⑥

て

て(寺)

寺 423 5 ④ 426 7 427 8

ていり(出入)

出入 430 7

ていわう(帝王)

帝王 409 ⑤ 423 10 428 ⑥ 429 4 430 2 433 ⑦ 434 3 5 ⑩

ている(帝位)

帝位 430 ①

てうかう(趙嵩)

趙嵩 430 ② ②

てうへき(趙壁)

趙壁 413 ② ④

てうをん(朝恩)

「朝」恩

てう(寺) 418 1 2 4 4 6 420 9

寺 418 1 2 4 4 6

てうす(照)

照ス(連体法) 432 2

てん(天)

天 409 ⑧ 410 ⑨ ⑬ 418 1

てんか(天下)

天下 432 ① ③ 408 12 423 13 425 2 430 4 ⑥ ⑧

てんかたく(天可度)

天可度 432 ① ①

てんさい(天災)

天災 410 ③ ⑦ ⑬

てんし(天子)

天子 416 ③

てんち(天地)

天地 430 12

てんへん(天變)

天變 409 ④ ⑫ ⑬ 432 ③

てんもん(天文道)

天文道 414 ④ ⑤ 412 1 4 ⑤ ⑤ 413 411 1 414 2 ⑪ ⑫ ⑬ 416

天文道

「天」文道 409 ⑩ 409 ⑧

と

とうぐう(東宮)

東宮 419 ⑩

どうなん(童男)

童男 405 ⑥ ⑧

とが(咎)

トカ 410 ⑧ 417 ⑥ 403 ⑫ 423 ③

とが(咎)

とが(咎)

とが(咎)

とが(咎)

とき(時) ↓ おむとき

トカク 434 6

とき(時) ↓ おむとき

トカク 434 6

とき(時) ↓ おむとき

トカク 434 6

とき(時) ↓ おむとき

三四

とく(徳)

徳 403 3 414 7 417 ④ ④ 424 12

とく(徳)

徳字 412 ⑩
 徳宗(徳) 421 ③
 とくそうくわうてい(徳) 421 ③
 宗皇帝) 422 5 6
 徳宗皇帝 417 ⑬ 418 ⑨ 425 ②
 徳宗(皇) 407 ⑦ ⑧ 417 ③
 徳字(皇) 444 ②
 とくろ(所) ↓あきどこ
 所 435 ⑩
 所 406 ③ ⑤ 408 ④ 410 ⑩ 411 ⑩
 7 8 ③ 412 3 5 ⑧ ⑧ 413 ⑧
 1 2 417 4 418 ⑦ 421 ⑧
 422 4 424 ② ③ 428 ⑩ ⑥
 432 2 8 433 4 435 8
 420 ⑦ 421 ⑦ 422 5 6
 とざし(肩)
 戸トサシ 426 3
 肩トサシ 407 ④ 430 ⑥
 とし(年) ↓あくるとし
 403 ⑥ 405 ⑥ 407 ⑤ 408 ⑩

419 6 422 8 426 5 428 2
 とし(疾) 419 6
 早ト 422 7
 としごと(年毎) 426 ④
 毎一年 426 ④
 としごろ(年来) 424 ① 423 ⑩
 項年六 424 ① 423 ⑩
 年来 424 ① 423 ⑩
 としとし(年々) 421 ③
 年々 411 ⑩
 歳トシ 412 8
 とせい(土成) 430 5
 「土」成イ 430 5
 とかこむ(閉込) 426 4
 閉被込ケレハ 426 4
 とむむ(留) ↓かきとど 426 4
 む 426 4
 被留ヘシ 423 ⑤
 留タリケリ 424 ⑥
 留テ 424 ①
 留ヘシ 412 ④
 とばや(苫屋) ↓とぼり 412 ④

とぼり(帳) 421 ⑩
 トハヤ(又) 421 ⑩
 とび(六鳥) 433 ⑩
 トヒ 433 ⑩
 意 434 ⑦
 とびかける(飛翔) 419 ④
 トヒカケリ(連体法) 419 ④
 飛ト翔ル(連体法) 409 ②
 とびきたる(飛来) 433 ⑩
 トヒ来テ 433 ⑩
 とびら(扉) 430 ⑦
 扉トヒラ 430 ⑦
 とふ(問) ↓めしとふ 433 ①
 問ハセ給ケレハ 433 ①
 問セ給ケレハ 426 ⑦
 問ハレケレハ 426 ⑤
 問ケレハ 412 ⑦
 とぶ(飛) 419 ②
 飛フ(連体法) 419 ②
 とぶひ(飛火) 431 ⑩
 トフヒ 431 ⑩

とふひ 431 ⑨
 飛火 431 ③
 とほし(遠) 431 ① ②
 遠ヲク 415 ①
 遠キ 404 ⑦ 415 ⑥ ⑩
 遠ハ 411 ②
 遠ヲ 404 ④
 遠ヲモ 411 ②
 とほし(之) 415 ⑨
 之シク 415 ⑨
 とまや(苫屋) ↓とぼり 426 ④
 とまる(泊) 426 ④
 トマル。 426 ④
 とも(共) ←接尾辞ニ ↓
 えびすども・かくにん
 ども・けんじんども
 ことえびすども・こと
 ども・ことども・さいど
 も・さいしども・しや
 うぐんども・しんかど

も・たまごも・たみご
 も・にしぎごも・ひと
 ぶも・ものごも・ゆう
 じごも
 ともつな(纜)
 共モ纏
 ともに(共)↓もろごも
 に
 とうふ(捕)
 捕トラヘテ
 捕ヘテ
 とり(鳥)↓ひなごり
 やまごり
 とり
 鳥
 とりあきなふ(取商)
 取商イ
 とりう(取得)
 取り得又
 とりすがる(取継)
 トリスカリ
 とりすつ(取棄)

取棄サント「レ」ハ
 とりつく(取付)
 取り付ケリ
 取付キケレハ
 取付
 とりつく(取継)
 取継(中止法)
 取継ケレハ
 とりごり(取々)
 取く
 とる(取)↓うちとる
 取ラシメ給ヘシ
 取ラシ給ヘシ
 不取ラシテ
 不シテ取
 取ラセ
 ト「レ」セケリ
 トラセシ
 取セテ
 取ラスル
 被テ取
 被取

432 6
 424 3
 433 6
 433 14
 435 8
 435 11
 421 5
 411 9
 411 10
 426 12
 423 10
 422 12
 410 12
 410 9
 410 13
 410 7
 415 4
 416 4

取りケリ
 取ケルヲ
 取候シに
 とりて
 取テ
 「取」テ
 取(連体法)
 取ニモ
 取レヨリシ
 取レトモ
 とりよう(杜陵)
 杜陵
 杜陵
 とりようそう(杜陵)
 杜陵
 杜陵
 杜陵
 とりわけ(取分)
 取別ケ
 な
 なか(中)↓のなかよ
 のなか

430 4
 433 14
 433 11
 433 5
 404 5
 410 5
 406 3
 411 8
 426 7
 418 2
 410 3
 422 8
 422 4
 422 4
 421 3

中カ
 中
 中
 中比
 ながし(長)
 ながす(流)
 流シ又
 流シ給シ
 なかなか(中々)
 中々
 なかば(半)
 ながる(流)
 流ルヲ
 なき(嚙)
 嚙ナキ
 なきあかす(泣明)
 泣明サセ給ケリ
 なきかなし(泣悲)

416 5
 419 3
 430 6
 425 4
 413 7
 413 4
 421 6
 416 6
 425 5
 425 6
 416 6
 421 6
 413 4
 413 7
 419 3
 414 4
 414 4
 407 2
 425 4
 403 3
 434 6
 415 1
 413 4
 425 4
 425 4

泣哀ニ給ケレニ 403 ①
 なまかなしむ(泣悲) 413 ⑧
 泣歎ケリ 403 ④
 泣哀^{ナキ}給ケレハ 403 ④
 なまくりす(泣喜) 425 ④
 泣キ晩シテ 412 ⑤
 なまよるこぶ(泣喜) 424 2
 泣キ 412 11
 泣(中止法) 424 5
 泣候 424 2
 泣キテ 412 11
 泣^ナケリ 424 5
 泣^ナクサメムト 407 11
 なゆき(歎) 403 ⑥ 415 4
 歎、 407 10 408 ⑤ 409 6 9 412
 歎 415 5 6 7 8 ② 419
 7 423 ③ 426 16 428 ①

歎^ナ 403 ⑦
 歎ケルヲ 424 ⑥
 歎キ給ヘキ 415 10
 歎、タルナリ 421 ②
 歎ク。 421 ⑩
 歎クヘキニ 428 ②
 歎(連体法) 412 ②
 なげさる(投去) 433 6
 ナケサリキ 432 ④
 なごむ(和) 416 9
 ナコムル 426 7
 なさけ(情) 410 3
 情^{ナケ} 425 ②
 なし(梨) 410 3
 [梨] 410 3
 なし(無)↓あるなし 410 3
 うたがひなし・かきり 410 3
 なし・かひなし・ここ 410 3
 うなし・たくひなし・ 410 3
 はかりなし・ほどなし 410 3
 またなし 410 3
 無ラムニハ 430 ⑩

ナカリケリ 408 4
 無カリケリ 419 8 ② 422
 10 ① 435 ④
 無リケリ 410 3
 無ケリ 431 8
 ナカリケレトモ 429 ③ 425 3
 ナカリケレハ 431 12
 ナカリケレハ 420 13
 無ナハ 410 3
 無リケリ 417 ⑦ 403 ⑩
 ナク 410 3
 ナク 403 7 410 11
 無ク 425 ②
 无クシテ 406 ① 411 ④
 無ウシテ 424 ⑥ 428 5
 無シテ 406 ① 411 ④
 ナクテ 403 11
 ナクハ 411 10
 無クハ 415 7
 無トモ 427 9
 ナシ 411 8 418 6 422 ①
 無シ 406 9 432 7

無シ 434 10
 無(終止法) 416 ⑩ 422 ⑩
 ナキ 430 ⑫ 418 ⑥
 無キ 406 ⑧ 409 ③ 433 4
 無、 417 ⑥
 無(連体法) 418 6 420 9
 432 ⑩
 無キニ 418 ⑨
 無ハケレ 430 ⑨
 無レハ 418 8
 無カレ 422 ⑩ 427 8
 なす(成)↓フくりなす 418 6
 成サンニハ 413 ⑦ 413 ④
 被成サ 422 ⑩ 427 8
 被成候、 413 ④
 成(中止法) 405 ⑬ 427 1
 爲(中止法) 422 ⑩ 405 ①
 成^ナ 409 9
 成給ケル 405 ①
 成テ 411 ②
 ナシナムト 411 ②

成ス。 419 ⑧
 なずらふ(准) ↓おもひ
 なずらふ
 なつ(夏) 410 7 413 1
 夏
 なづ(撫) 412 ①
 撫テ御坐ス
 なづく(名付) 428 6
 名ケテ
 名テ 406 3
 なづく(懐) ↓かひなづ
 なづく
 なつごと(夏々毎) 416 ⑥
 毎ニ夏々
 ななたび(七度) 428 2
 七
 ななめに(斜) 418 5
 斜ナメニ
 なに(何) 425 ⑧
 何
 なは(繩) 414 4
 繩

なははし(繩橋) 409 2
 繩橋
 なへ(苗) 422 6
 ナエ
 苗 410 11
 田苗 410 7
 なほ(猶) 411 ⑩
 ナヲ
 猶ヲ 418 12
 猶ヲ 411 ⑩
 なほす(直) 410 3
 「ナ」ラサル、
 なみ(波) 426 ④
 波
 浪 429 ①
 なみだ(涙) 425 ⑤
 涙
 なむぢ(汝) 433 1
 汝 410 ⑥ 424 11 432 ⑧
 なむばん(南蠻) 414 1 11
 南蠻 408 ⑦ 412 ④ 414 1

ならび(習) 412 9
 ナラヒ
 例 413 9
 習 435 8
 學ヒ 427 ③
 學 412 8
 ならふ(學) 411 1
 學ラハセテ
 ならぶ(並)(面段) ↓あひ 411 1
 ならふ
 並フ(連体法) 408 4
 ならふ(並)(下二段) 432 ⑤
 並ヘ
 並フル 422 ⑩
 なりはつ(成果) 416 2
 成ハテニケレハ
 なる(成) 414 9
 成セ給ケリ
 不可成セ給 414 10
 成ラム 414 ⑩
 成リケリ 418 1
 成リケリ(止法) 409 10
 ナリケリ

成リケリ 424 ⑥
 成ケレハ 415 ⑫
 成ケレハ 424 ④
 成候ケレハ 404 1
 成給ヒナム 408 14
 成タレ 405 4
 ナリテ 419 10
 成リテ 412 ⑦
 成テ 412 5 418 1 423 ⑩
 成ニケレハ 416 4
 ナリニケレトモ 413 5
 成ニケレハ 416 4
 ナリニシ 427 ⑩
 成ヌ 409 ⑤ 410 6
 成ヌレハ 403 ⑬ 427 ⑫
 成ルト(ソ) 419 9
 不可成候 411 ①
 不可成候 405 ⑩
 可成ル仙ト 406 3
 可成 420 4
 成ル(連体法) 407 5
 成マテニ

ナルラ 428 3
成レハ 424 12
成レル也 426 11
446 4

に

にぎる(拳) 423 5 4

にぐ(逃) 423 5 4

逃ナムト 415 8
逃ニケニケリ 415 9

にく心(惡) 431 1
惡タルナリ 426 2

惡ミテ 444 4
惡ッヘミテ 427 8

にげうす(逃失) 404 2
逃ケ不ニシテ失 418 12

にげまうてく(逃語) 418 12
逃語ッテ 431 1

にし(西) 418 12
西 418 12 431 1

にしき(錦) 421 7
錦 429 9
錦取 429 9
錦シキ 429 9

にじふご(廿五) 413 7 9
廿五 413 7 9

にじふし(二十四) 448 10
二十四 448 10

にじふにち(廿日) 421 8
廿日 421 8

にじふまん(三十万人) 408 8
二十万人 408 8

にせいくわう(二世皇) 430 1 435 3
二世皇 430 1 435 3

につしよく(日蝕) 432 2
日蝕 432 2

には(庭) 403 7 421 1
庭 403 7 421 1

にはかなり(俄) 431 2 4
俄ニ 431 2 4

にはとり(鷄) 433 1 434 1
鷄 433 1 434 1

にひやくまん(二百万) 433 1 434 1
にひやくまん(二百万) 433 1 434 1

にほひ(旬) 423 10
旬 420 4

にようばう(女房) 429 10
女房 429 10

にる(似) 418 6
似タリ 418 6
似タリ 418 6

にわうご(二王後) 404 6 8
二王後 404 6 8

ぬく(抜) 422 2
ぬく(抜) 422 2

ぬ

ぬし(主) 403 7 421 1
主 403 7 421 1

ぬすびと(盗人) 426 13
盗人 426 13

ぬる(磨) 422 8
ヌレ 422 8

ぬるし(温) 434 13
ぬるし(温) 434 13

ね

ね(音) 406 7 413 10 406 7
音 406 7 413 10 406 7

ねいせきし(寧戚子) 420 13
寧戚子 420 13

ねいわう(倭王) 419 10 434 7
倭王 419 10 434 7

ねがふ(願) 424 4
願ヒキ 424 4

ねずみ(鼠) 432 7
鼠スミ 432 7

ねんぐ(年貢) 410 13 411 10 412 8 11
年貢 410 13 411 10 412 8 11

の

のうげふ(農業)

農業 424 11

のがる(挑)

逃テ 427 ② ⑥

遁レテ

遁レムカ

遁ト

のこしおく(残置)

残コシ 被置ケルナリ 405 5

のこす(残)

残ス(連体法) 435 ⑧

のす(乗)

乗セテ 420 12

乗テ 405 ⑤

乗セナントシテ 417 ③

のぞく(覗)

及ソキケレハ 433 5

のぞむ(望)

望ム也 414 ⑪

のち(後)

後チ 424 4 427 ⑨

後 403 ③ 404 ⑥ 405 ⑦ 407 ① 411 ⑦

⑩ 413 ③ ④ 418 ⑩ 423 ⑩

424 7 ⑦ 430 ① 431 4

のどけし(長閑)

ノトケキ 435 2

のなか(野中)

野中 437 9 ④ 434 13 ⑤

のぶ(延)

ノヒスシテ 412 12

のぼる(登)

登リ給ケリ 418 1

のむ(呑)

ノミ給ケレハ 410 ③

のやま(野山)

野山 403 8

のりつる(乗連)

乗リツレテ 419 3

のる(乗)

乗リ 418 1

乗給(ハケリ)

乗テ 419 14 418 ⑩

は

ばいたんをう(賣炭翁)

賣炭翁 423 1 1

はうし(芳士)

芳士 425 10 11

はうせい(房星)

房星 419 8

はうぼく(誇木)

誇木 435 ⑥

はか(墓)

墓ハカ 430 ④

墓 403 9 430 10 ⑩

はからふ(計)

ハカラヒテ 419 ③

はかり(量)

量リ 405 7

はかりがたし(量難)

難量事 432 ②

はかりごと(計)

計コト 419 ⑪

計ト 432 ⑩

はかりしる(量知)

量リ知ルニアラス 432 ④

はかりなし(量無)

無ク量 435 9

はかる(計)

不リキ 囉ラ 424 4

計セハヤ 419 ⑩

計リ 407 2

計リ(納)ケレハ 410 13

ハカリツヘキカ 432 ①

はくき(伯奇)

伯奇 432 ⑫ ⑬ 433 1 2 3

伯奇 5 13

はくきよい(白居易)

白居易 416 ④ 426 ③ ⑤

はくじうじん(縛戎人)

縛戎人 415 ①

縛戎人 415 ①

縛戎人 415 ①

はくはつ(白髪)

うやうはくはつ 415 ①

うやうはくはつ 415 ①

はくらくてん(白楽天)

白楽天 414 ⑨ 415 11 416 8

はくれんきやう(百練鏡)

百練鏡

417 2 4

はげます(勵)

ハゲマサム

417 ⑩

はげみ(勵)

勵ミ

423 13

はこぶ(運)

運ウケレ

428 11

はし(橋)

橋

444 430 ⑤

はじむ(始) ↓ いりはじ

む・おちはじむ・まひ

うたひはじむ

ハしめられけれ(ハ)

初給ヲ

初給ヲ

始テ

はじめ(始)

始テ

はしら(柱)

はしら(柱)

406 ⑦ 411 13

柱

はしりいづ(走出)

走出テ

417 1

はしりよる(走寄)

走依リテ

416 2

はたち(廿)

廿

428 3 3 5 6

はたる(徴)

徴ケレハハ

422 9

はち(八)

八

403 2

はち(蜂)

蜂

433 10

はち(恥)

恥

433 13 14

はぢおもふ(辱思)

辱ハチ思給ハキヲ

418 ① 419 ⑧ 420 10

はちぶいしや(八十一車)

八十一車

418 ③

はらしゆんと(八駿圖)

八十一車

416 ④

八駿圖

八駿圖

418 ⑩

はちひき(八疋)

八疋

418 ⑩ 419 2 9 14

ばちやう(馬暢)

馬暢

421 7

はつ(果) ↓ さびはつ

なりはつ

はつ(恥)

恥ハチテ

427 ⑨

はつか(廿日) ↓ にじふ

にち

はて(果)

ハテ

425 5

はな(花)

花

421 1 4 6 7

はな(鼻)

鼻

432 ⑧ ⑨

はなつ(放) ↓ ちはなつ

はなはだし(甚)

はなはだし(甚)

はなはだし(甚)

甚シカリシカトモ

はなぶさ(英)

花フサ

420 2

はは(母) ↓ おむはは

母

425 ⑧ 424 3 4 5 433 6

はばかり(憚)

憚

406 ⑧ 418 4

はばかり(憚)

不憚

428 ⑩ 435 ①

はばかり(憚)

憚カル (連体法)

403 ④

はふきよく(法曲)

法曲

435 ⑩

はふきよく(法曲)

法曲

404 4

はべり(侍)(動詞)

侍シカ

404 4

はべり(侍)(補助動詞)

侍トモ

427 6

はみ(食)

ハミ

415 12

はやうかう(都陽坑)

ひとあまた 407 11
 ひとかきね (一重) 425 ②
 一「上重」ネ 422 ⑦
 ひとつ (一) 406 9 410 ③ ⑤ ⑦ 413 ④
 一人 409 408 ④ ⑧ ⑩ 408 2
 ひとびと (人々) 10 409 5 411 1 412 7

ひとへ (單衣) 414 ① 416 ③ 420 ⑤ 421 1 424 3 425 ④ 428 1
 ひとへに (偏) 423 7
 偏ニ 413 ⑦ ⑧ 417 ⑥ 420 ⑥
 偏ニ 413 ⑦ ⑧ 417 ⑥ 420 ⑥
 ひとめ (人目) 432 9 403 ⑧
 人目 403 ⑧
 ひとり (一人) 410 ⑧
 一人 411 ③ 416 ⑧ 421 1 2
 ひとりづつ (一人) 425 ⑩ 431 ③ 416 ⑩
 一人ツ 404 ④
 ひなどり (翠鳥) 433 ⑩
 翠鳥 (ヒナトリ) 433 ⑩
 ひねもす (終日) 418 ③
 終日ス

ひびき (響音) 406 ④ 407 3
 響音 406 ④ 407 3
 ひぶん (碑文) 417 ③
 碑文 417 ③
 ひま (隙) 425 5
 隙 (ヒマ) 425 5
 ひむがし (東) 405 ②
 東 405 ②
 ひやうぶ (扇風) 424 10
 扇風 424 10
 ひやくし (百司) 416 ④
 百司 416 ④
 ひやくしやう (百姓) 433 ④
 百姓 433 ④
 ひやくしやく (百尺) 440 4
 百尺 440 4
 ひやくせんじん (百千人) 416 ④
 百千人 416 ④
 ひやくだい (百代) 417 10
 百代 417 10
 ひやくよにん (百餘人) 407 ②
 百餘人 407 ②

ひらく (開) 418 ③ 430 ⑦
 開キ 418 ③ 430 ⑦
 開テ 411 ⑫
 ひる (晝) 415 ⑪
 晝 (ヒル) 415 ⑪
 ひれい (美麗) 421 ④ 422 3 427 2
 美麗 421 ④ 422 3 427 2
 ひろさ (廣) 408 ⑩ 421 ⑤
 廣サ 408 ⑩ 421 ⑤
 廣 430 6
 ひろし (廣) 444 7 405 7
 廣 (連用法) 444 7 405 7
 廣 (連体法) 405 7
 ひん (髻) 423 12
 髻 (ヒン) 423 12
 髻 426 ④
 ひんづら (髻袋) 426 ④
 髻袋 (ヒンヅラ) 426 ④
 髻 426 ④
 ひ (經) 411 ⑫
 經 (ヒ) 411 ⑫
 經フトモ

ぶ(武)

武

ふう(風)

風

ふえ(笛)

笛

ぶか(舞歌)

舞歌

ぶかがく(舞歌)

舞歌

ぶかく(舞歌)

舞歌

ふかし(深)

深ク

深シ

深フカキ

深キ

深(連体法)

深キニ非ス

深ケレトモ

深ケレハ

ぶくす(服)

服ツル

ふくむ(含)

含ム(連体法)

含メル

ふしき(伏木)

臥キ

ぶしゆくき(武淑妃)

武淑妃

ふす(臥)

臥候ニケリ

ふせぐ(防)

防セキケルヨリ

防(連体法)

ふだ(蓋)

フタ

ふたごころ(戴心)

戴心

ふたたび(再)

再ヒ

ふたつ(二)

ニツ

兩ツ

ふたごころ(兩處)

兩夕處

ふたり(二人)

二人リ

二人

乍ラ兩

兩人リ

兩人

ふち(淵)

淵

潭

ふち(藤)

藤

ふで(筆)

筆

ぶてい(武帝)

武帝

ふとし(太)

太フクシテ

ぶにん(夫人)

夫人

ふね(舟)

舟

ふびん(不便)

不便

ふみ(文)

文

ふむ(踏)

フミテ

ふもと(麓)

フモト

ふゆ(冬)

冬

ふる(下) ↓ あめふる

フリテ

ふるさと(舊里)

舊里

ふるし(古)

フルキ

古^レ 406 ④
 舊^キ 418 ③
 古^レキヲ 423 ⑦
 古^レウ 404 ④
 ふるまひ (舉動) 407 ②
 フルマヒ 428 ⑧
 フル^ル動 428 ⑧
 奉行 428 ⑧
 ふるまふ (舉動) 428 ⑧
 フルマフ (連体法) 426 ②
 ぶん (粉) 422 ⑧
 ぶん (文) 417 ⑧
 ぶんせい (文成) 405 ⑦
 口成 405 ⑦
 ぶんてい (文帝) 419 ⑫
 文帝 430 ⑪
 ぶんはく (文伯) 419 ⑫
 文伯 419 ⑫
 ぶんわう (文王) 420 ⑤
 文王 420 ⑤

ほ

へ

へうきしやうぐん (驃騎) 423 ④
 將軍 423 ④
 驃騎將軍 423 ④
 へうこく (驃國) 44 ⑤
 驃國 44 ⑤
 へうこくかく (驃國樂) 44 ⑤
 驃國樂 44 ⑤
 へうこくわう (驃國王) 44 ⑤
 驃國 44 ⑤
 へたつ (隔) 423 ⑦
 別ツルヲ 423 ⑦
 べち (別) 431 ⑫
 別 431 ⑫
 べんが (汴河) 429 ⑦
 汴河 429 ⑦
 べんくわん (辨官) 433 ⑤
 辨官 434 ⑩

ほうくわう (鳳凰) 434 ①
 ほうくわう 434 ①
 鳳凰 433 ⑥
 ほうこう (奉公) 417 ⑧
 奉公 417 ⑧
 ほうししやうぐん (蓬子) 415 ③
 將軍 415 ③
 蓬子將軍 415 ③
 ほうしやう (鳳翔) 418 ⑦
 鳳翔 418 ⑦
 ほうじよ (褒如) 431 ⑦
 褒如 431 ⑦
 ほうす (封) 404 ⑥
 封 404 ⑥
 ほうらい (蓬萊) 405 ⑤
 蓬萊 405 ⑤
 ほうらいさん (蓬萊山) 405 ⑤
 蓬萊山 405 ⑤
 ほうろく (俸祿) 410 ⑩
 俸祿 410 ⑩
 ほか (外) ↓ ことのほかに 410 ⑩
 ほか (外) ↓ ことのほかに 410 ⑩
 ほくわう (捕蝗) 418 ①

ほくわう (穆王) 418 ①
 穆王 418 ①
 ほし (星) 419 ②
 星 419 ②
 ほしいまます (盜) 409 ⑧
 星 409 ⑧
 ホシイマシテ 415 ⑪
 ほそし (細) 421 ⑨
 細 421 ⑨
 ぼたん (牡丹) 420 ④
 牡丹 420 ④
 ぼたんほう (牡丹芳) 420 ④
 牡丹芳 420 ④
 ほど (程) ↓ いくほど 429 ⑧
 程 429 ⑧
 ほとけ (佛) 418 ①
 佛 418 ①
 ほどなし (程無) 418 ①

無ク程ト 430 ⑦

ほどに(程)形式名詞

↓かひるほどに・さり

けるほどに

サマヨヒケルホトニ 433 ⑧

直セ給けるほどに 433 ⑫

思シ召シケル程ニ 403 ①

耽給ケル程ニ 404 ⑥

申ケル程ニ 404 ②

申ケル程ニ 406 ①

諺リ候ケル程ニ 406 ⑪

尋ラレケル程ニ 407 ⑫

四十年計有ケル程ニ 428 ⑪

運ケル程ニ 415 ⑤

給ケル程ニ 429 ③

ほどほどに(程々) 410 ⑬

ほどり(邊) 405 ⑦

邊 411 ③

邊 421 ②

ほどちし(母別子) 423 ⑦

母別子 423 ⑦

ほむ(讚)

讚メ 409 ② 417 ④

美(メ)候 425 ②

ホメタルナリ 417 ③

美タルナリ 421 ⑫

讚タルナリ 417 ⑫

ホメテ 403 ⑥

讚テ 411 ④ 420 ⑤

美メテ候也 424 ②

美テ候也 416 ④

讚ラ候也 407 ⑧ 417 ①

讚マイラセ 412 ④

讚マイラセテ 404 ⑦

讚ムル 417 ⑥

美也 416 ③

ほむ(堀) 411 ①

堀セテ 411 ①

ほろぶ(減) 419 ⑧

減ヒ 434 ⑧

減ケリ 410 ④

減テ 409 ⑨

減ナント 410 ⑩

減ニケリ 417 ⑦

ほろぼす(減)

減サム 410 ⑧ 435 ⑥

減ホシ 403 ⑦

減シ 429 ⑥

減キシ 419 ⑩

減セシ 429 ⑨

減ホシ候 419 ⑪

減シ給ケレハ 404 ⑧

ほろぼす(連体法) 414 ⑨

減ス(連体法) 426 ⑬ 435 ⑩

減ヌハ 410 ⑥

減スヲ 434 ③

ほんぢよ(奔女) 428 ⑤

奔女 428 ⑤

ま

まうく(儲) 420 ⑥

儲マウケテ 420 ⑥

まうしいる(申入) 420 ⑫

申入 420 ⑫

まうしう(申得)

申エスシテ 406 ④

まうしがたし(申難)

申難 417 ⑤

まうしこす(申越)

申越候 414 ⑩

まうししる(申知)

申シ知シメンカ 429 ①

まうしつく(申付)

申付ルニ 409 ③

まうしつたふ(申傳)

申傳ケル 432 ①

申傳タルヲ 431 ⑨

まうしやうくん(孟將君)

孟將君 420 ⑩

まうす(申) ↓いっはり

まうす・こたへまうす

申ササリケレハ 410 ②

不申 422 ⑧

申さぬに 434 ⑤

申サハ 410 ④ 423 ⑬

申サント 435 ⑧

407 5 409 11 ⑧ 410 7

7 12 411 1 ③ 412 3 ⑨

413 ① 414 1 ⑤ 415 11 ①

416 ③ 417 ① ⑨ 419 ④ ④ 420

④ 421 ① 422 4 423 1 1 424

① 425 7 426 ⑭ 427 1 428

8 429 3 431 ⑧ 432 11 ②

⑩ 408 ④

〔申〕也

申スナリケレトモ 416 4

申スハ 411 5 415 ⑩ 419 ⑧

申ハ 426 ⑭ 429 ⑦ 430 8

申スマテハ 408 6 414 ⑧ 420 4

申□ケレハ 409 ③

申セ 423 9 434 8

まうでく(語來) ↓ に 423 9

まうでく 423 9

詣(シ)キケル 415 ⑩

詣タリテ 414 ⑦

詣ウテキテ 418 13

詣テキテケリ 433 6

まかす(任) ↓ うちまかす

す 420 ①

仕セ 428 5

まかる(罷) 428 5

罷ラハ 428 5

罷リケレトモ 409 5

マカリ候ナム 403 ②

罷トカカシナム 427 ②

マカル(連体法) 408 ⑩

罷カル(連体法) 427 ⑥

まがる(曲) 423 11

マカレル 436 1

まき(巻) 416 ①

巻 436 1

まく(巻) 427 ④

巻マク(連体法) 427 ④

まく(二頁) 415 ④

頁ケテ 415 ④

まくり(枕) 432 ⑤

枕 432 ⑤

まご(孫) ↓ こまご 427 11

孫 427 11

まご(實質) 427 ⑤ 431 ⑤ 433 7

實質 427 ⑤ 431 ⑤ 433 7

まごとし(實質) 406 2

實質 コトシキ 406 2

まごこに(實質) 412 ② 415 1 427 ③

實質ニ 412 ② 415 1 427 ③

まさる(勝) 430 11 419 ③

勝ラム 430 11 419 ③

勝タル 430 11 419 ③

マサル(連体法) 424 6

まさる(増) 423 7

増ラム 423 7

まじはる(交) 426 6 427 5 428 ① 429 ② 430 ③ 431 ④ 432 ⑤ 433 ⑥ 434 ⑦ 435 ⑧

交リテ 426 6 427 5 428 ① 429 ② 430 ③ 431 ④ 432 ⑤ 433 ⑥ 434 ⑦ 435 ⑧

交ル(連体法) 426 6 427 5 428 ① 429 ② 430 ③ 431 ④ 432 ⑤ 433 ⑥ 434 ⑦ 435 ⑧

ます(増) 429 ②

増シ 429 ②

増シテ 429 ②

増マス(連体法) 418 ④

ますりを(夫) 421 ⑥

夫 421 ⑥

ませ(難) 421 ⑥

マセ 421 7

また(又) ≡ 副詞 409 ⑤ ⑩ 411 8 412 11 ①

又 409 ⑤ ⑩ 411 8 412 11 ①

亦 413 3 10 ④ ⑦ 415 4 418

復又 ① 431 ② ④ 435 ⑥

復タ ① 431 ② ④ 435 ⑥

また(又) ≡ 接続詞 430 5 411 ⑦ 405 ⑧

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

又 403 10 405 ⑦ ⑩ 410 ⑩ 411 ⑥

亦 415 9

まつ(松) ↓ かんていの 415 9

まつ 415 9

松 419 ④ ⑦ 427 ③

まつ(待)

不待 427 ②

まつ(先)

「マツ」 412 ⑫

先ツ 414 7

まづし(貧)

貧カリ 424 7

貧リシ 424 13

貧ク 423 2

貧シク候ハム 415 9

貧キ 423 ⑤

貧ハ 422 1

まつり(祭) ↓たいへう

のまつり 406 4

祭「」 404 ⑩ 419 6 432 9 9 10

まつりごと(政) ↓おむ

まつりごと 403 5 410 3

政コト 407 3 6 10 408 ⑤ 409 ⑫

政 413 8 417 7 9 419 10 ⑩

舞舞給ケリ 420 3 10 ① 426 8 428 ①

まほり(守)

守マホリ 430 ④

まほる(守)

守ラセケリ 407 ⑥

守ラセ給ハ

守リ 406 7

守ル(連体法)

まほろし(幻)

幻シ 425 ①

ままはは(外母)

外母 432 ⑫

外母 435 5 10 12 14

まみゆ(視)

視エ参セス 432 ⑧

まゆ(繭)

マユ 421 9

まゆずみ(代魚)

代魚 429 ①

まよはず(迷)

迷サハ 431 ⑥

迷ハス。 431 ⑤

まねなり(希)

マレナル 415 ②

まぬらす(参) (動詞)

進ラセムトテ 424 ④

進ラセムヨリハ

諸ラセ 412 9

進ラセケルヲ

進セケレハ

諸セ候ヘハ 411 12

諸セテ 412 ④ 416 5

語ラスル 412 ④ 416 5

「語」スル 412 9

獻ラスル 426 ⑩

進ラスルセ 428 ⑥

まぬらす(参) (補助動詞)

知ラマイラセシテ 422 ②

知ラレ参セスシテ 414 ⑤

知ラレマイラセヌ 420 13

視エ参セス 422 ⑧

失イマイラセムト 429 ⑤

昔 406 ⑤ ⑧ 411 ⑤ ⑩ 412 8

娘 413 ③ ⑥ ⑩ 414 3 415 ⑧

娘 419 2 4 421 ② 424 3 426

空 7 432 ⑥ 435 10 ④ 406 3 407 9

〔音〕

むかふ(向) (下ニ段)

↓よろこびむかふ

向ヘテ 432 5

向テ 423 ⑩

むく(向)

ムケレハ 434 ③

むさぼる(貪)

貪ホリテ 426 ⑫

貪ホテ 432 10

むし(虫)

虫 410 7 7 ③ ③

むしや(武者)

武者 403 3

むすぶ(結)

結テ 421 7

むすめ(娘)

女 427 ⑤ 428 2 5

娘 427 ④ 428 3

娘 407 12 427 ②

むなし(空)

空 419 ⑤ ⑦ 427 ⑩

空 410 6

空 408 13 417 ⑦ 428 ⑤

空 409 5

むね(宗)

宗 429 11 430 5

むね(胸)

胸 432 ⑤

〔め〕

め(目) ↓ひとめ

めい(茗)

茗 411 6 10

めい(明堂)

明堂 406 ⑥

めいてい(明帝)

明帝 424 8

めぐみ(恵)

恵 423 11

めぐりあつ(廻宛)

廻宛 426 10

めぐる(巡)

巡 409 ⑩

遷ルカ 411 1

めしとふ(召問)

召被問 435 ⑧

めす(召) ↓おさへめす

おほしめす・きこしめす

す 409 ⑥

召ル 412 11

召サルヘケレハ 423 10

被召ケリ 408 ⑩

メシケリ 427 6

召シテ 425 11

召テ 420 ①

不可召

可召者 423 ②

召成 403 ⑫

めづ(徳)

愛候 413 ③

めでたし(目出度)

目出(連体法) 409 ④

めをこ(専夫)

専夫 409 ④

〔も〕

もうし(毛詩)

毛詩 428 1

もうてむ(蒙恬)

蒙恬 430 5

もえい(生出)

生出 435 4

生モエ出ッル 435 1

もし(茗)

茗 428 ④

もちて(以)

以テ 410 ④ 417 6 11 421 ① ①

以口 423 6 424 ⑤ 428 3 ⑧

もちぬがたし(用難)

難シト用 423 3

もちぬる(用)

被用候ケリ

用ラレ候ケルヲ

用ラル、

被用是ヲ事

用⁴

用ケレハ

用給シヲ

不可用トテ

可用^レト

もつ(持)

持^(持)

もてあそぶ(翫)

翫^レケレハ

翫ケリ

翫給ケ^レリ

翫給ケ^レル

翫給トモ

翫給ヘカラサル

406 ⑦

406 ⑥

404 ②

406 4

434 ⑦

424 ⑤

406 ⑤

419 ①

419 ③

412 ⑩

421 ⑥

415 ⑪

420 ⑥

421 8

404 ①

413 4

404 5

413 1

419 1

翫ヒテ

翫テ

不可翫^テ

もてなす(持成)

モテナシテ

もと(下)

本

下

⑩

もとむ(求) ↓かひもとむ

不^レ求

被^レ求^ケケルニ

被^レ求^ケレトモ

求(中止法)

求テ

求トモ

可^レ求^レ彼山^ヲ

もとめう(求得)

不得(求) □□ニケリ

もの(者・物) ↓そなへ

415 7

418 ⑧

421 11

406 10

421 6

427 ②

422 2

428 5

433 6

434 ⑭

435 ⑮

405 ⑤

405 ④

405 ⑤

409 ②

405 ①

405 ①

405 ⑧

405 ⑥

もの

モノ

物

物

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

413 ③

424 4

425 5

434 9

431 10

403 10

410 14

406 ③

415 ⑩

419 ①

419 ①

419 ①

419 ①

419 ⑩

407 8

407 8

407 8

407 8

407 8

モミナ

もも(百)

百

もも(桃) ↓かりもも

もまたび(百度)

百度

もよほし(催)

催

もよほす(催)

催シテ

催スヘカラス

もらす(漏)

漏ス(運体法)

もる(漏)

モラルカ

漏 如ナル

もろこし(唐)

唐コシ

もろとも(諸共)

諸共ニ

もろもろ(諸)

421 4

410 ③

417 2

409 3

416 ⑩

428 8

434 ⑩

423 11

421 4

424 3

424 3

424 3

424 3

424 3

424 3

424 3

424 3

424 3

424 3

424 3

門 427 8 430 7 435 9

もんぐわい(門外)

門外 423 4

ヤ

ヤ(輻)

ヤ(輻)

ヤ(輻)

揚 412 7

ヤウ(様) (形式名詞)

ハ連体形+ヤウ

申ヤウ 424 12

申ケルヤウ 426 8

思候ケル様 407 3

申ケル様 408 12 423 6 425 11 432

申様 408 12 423 6 425 11 432

申ケル様 412 8

思ケル様 412 1

申ケル様 414 10

申候様 415 3

思シ食ス様 416 8

思召(召)様 417 4

仰有(有)様 419 13

申傳ケル様 432 1

秘ヒ翔ル様ニ 409 2

思召ケル様ニ 431 9

申ケル様ハ 420 2

(思)以様ハ 424 3

申様ハ 433 1

ハノナヤウ

年貢ナムトノ様ニ 410 13

幻(幻)様ニテ 425 1

ヤウキビ(楊貴妃) 407 7 411 3 416 6 418

楊貴妃 407 7 411 3 416 6 418

ヤウガンエン(楊玄瑛) 3 8 8 12 14 425 3

楊(玄)瑛 407 12

ヤウコクチウ(楊國忠) 408 13 415 5 419 4

楊國忠 408 13 415 5 419 4

ヤウシウ(楊州) 6 7 8

楊州 417 4

ヤウセイ(揚成) 412 1 415 5 417 7

揚成 412 1 415 5 417 7

楊(成) 412 4

ヤウダイ(煬帝) 404 4 429 6 7 418 8

煬帝 404 4 429 6 7 418 8

ヤウコウ(陽洞) 421 4

陽洞 421 4

ヤキイデユク(焼出行) 423 12

焼キ出行(行) 423 12

ヤク(焼) 423 4

焼テ 423 4

焼ク(連体法) 426 7

ヤサシ(優) 429 10

ヤサシク候 409 3

ヤサシキ 429 10

ヤシナヒコ(養子) 408 9

養子 408 9

ヤスむ(息) 409 7

息カ爲ナリ 409 7

息メ 403 11

安メケリ 423 4

安メケレ 425 10

ヤナギ(柳) 429 3

柳キ 429 3

ヤブ(被) (四段) 418 6

破(被) 411 12

破(被) 411 6

破(被) 411 12

破(被) 411 6

破(被) 418 10

破(被) 430 12

破(被) 418 12

ヤマ(山) ↓のやま 405 3 407 1 409 11 411 6 416 3 417

山 405 3 407 1 409 11 411 6 416 3 417

ヤマどり(山鳥) 433 8 434 1 432 7

山鳥 433 7 434 2

ヤマヒ(病) 403 1

病 403 1

ヤム(止) (四段)

不_レ止 415 8

未_レ止 415 6

不_レ止候ケリ 403 ④

止_レ給ニケリ 424 13

止ニケリ 405 ⑩

やむ(止) (下ニ段) 422 2

可_レ被_レ止 422 2

ゆ

ゆ(湯) 408 ⑩

ゆが(湯) 408 ⑩

ゆが(床) 424 2 435 ④

床 424 2 435 ④

ゆかり(縁) 428 1

ユカリ 428 1

ゆき(雪) 423 4

雪 423 4

ゆきげ(雪氣) 435 2

ユキケ 435 2

ゆく(行) ↓ やきいでゆ

行トセシ 430 4

行キ 426 ④

行タル 426 5

行テモ 424 2

可_レ行_レ 435 ①

不可_レ行_レ 419 14

行ク(連体法) 419 12

ゆくへ(行方) 426 4

ユクハ 426 4

ゆたかなり(豊) 432 4

豊カナ 432 4

ゆつり(譲) 427 9

譲リ 427 9

ゆづる(譲) 430 ①

譲ラレタリ 430 ①

ゆひべ(夕) 409 ⑥

夕 409 ⑥

ゆめ(夢) ↓ おむゆめ 426 5

ゆゆし 426 5

ユ、シキ 410 4

ゆゆしげなり 410 4

ユ、シケニ 426 ⑥

ゆるし(許) 428 5

免ルシ 428 5

ゆるす(許) 403 ⑭

放_レ給ニケリ 415 ⑦

ユルワレテ 411 6

放ユルサレネハ 411 8

放サレネハ 428 7

被_レ免_レセ 411 10

免ユルシ 427 ②

放ルシテ 411 9

放シテ 422 11

許シテ 411 10

ゆるすへからさる 415 ⑦

可_レ免_レス 422 11

ゆる(故) 433 ②

故 433 14

ゆる(故) (形式名詞) 433 14

↓ かかるゆるに、この 433 14

ゆるに 433 14

↑ 連体形 + ゆる ↓ 433 14

□ □ 候ナル故 = 411 ②

鏡なる故 = 417 2

被_レ織_レラ故 = 421 ①

不_レ置_レ故ナリ 435 ④

及故也 414 7

將_レサケイ_レ候_レ也 414 8

不知故也 418 ④

重クシ給故也 431 ⑥

思詰スル故ナリケトモ 408 ②

↑ が + ゆる ↓ 409 11

推カ故 = 411 1

遷ルカ故 = 416 ③

勝カ故 = 418 8

有カ故 = 429 ⑧

哀ミタルカ故 = 430 2

申タルカ故 = 432 ①

ハカリツヘキカ故 = 433 1

貞_レカ故 = 409 8

へ + ゆる ↓ 409 8

叶ハ又亭ノ故 = 409 8

ゆ

よ(代)

413 ② 423 ④ 425 ⑩

代

よ(世)

403 5 7 404 6 405 4 407

世

⑩ 408 10 ④ 409 6 9

⑧ 416 ⑩ 417 10 419 ④ 420

4 9 11 422 ⑩ 423 ⑧ 424

8 425 12 430 ⑤ ⑦ 434 ⑥

よ(う)オ(雍差)

雍差

よくよく(能々)

能々

よんげまなり(横)

横ナラハ

横サマナリシカハ

よ(こ)こ(夜毎)

毎夜

よ(こ)る(汚)

ヨコレム

よ(し)由()形式名詞

入連体形+よし

ヨシ

由シ

420 4 14 ② 405 ⑧

よ(し)ハ吉

吉カラ又

美ク

吉(終止法)

可(吉)

よ(キ)

吉キ

吉(連体法)

美キ

善キ

吉ウ

よ(し)なし(由無)

ヨシナシ

由シ無シ

無由

無由

無由

無由

よ(す)寄

依セテ

423 2

よ(そ)ふ(寄)

用ヨシヘテ

依ヘテ

よ(た)り(四人)

四人

よ(の)な(世中)

世ノ中

世中

よ(ひ)宵

よ(び)る(呼入)

呼ヒ入テ

よ(ぶ)呼

呼ヨヒケレハ

よ(も)す(通夜)

迎夜カラ

竟夜カラ

よ(よ)代々

代々

代々

代々

414 3 416 ⑤

よりあ(寄合)

依相セテ

よ(る)夜

よ(る)由

所[由]

よ(る)寄 ↓はしりよる

依リテ

依テ

よ(る)び(悦) ↓おむよ

よ(る)び(悦) ↓おむよ

よ(る)び(悦) ↓おむよ

悦向ケル

よ(る)こ(悦) ↓なきよ

るこぶ

悦ヒテ

悦テ

悦(連体法)

よ(る)し(宜)

不[宜]

りきうかう(驪宮高)

万 408 2 413 13 416 9

り

ら(等) ↓ こ 爪ら・わ爪

らむでん(藍田)

藍田 417 ②

り

り(利)

利 423 7

りうぐう(龍宮)

龍宮 431 ③

りえん(李淵)

李淵 429 ④

りかいふ(李開府)

李開府 427 3

りきう(驪宮)

驪宮 416 ⑤

りきうかう(驪宮高)

驪宮高 416 ③ ⑤ ⑦

りきうさん(驪宮山)

驪宮山 416 ③

りくきう(六宮)

六宮 416 ⑧

りしやうぐん(李將軍)

李將軍 425 7

りじよせん(李如選)

李如選 415 ③ 416 7

りぶにん(李夫人)

李夫人 425 7 9

りふほき(立部伎)

立部伎 406 1 1 5

りやうしゆかく(兩朱閣)

兩朱閣 417 ⑩ ⑪

りやうにんながら(兩人)

乍) ↓ ふたりながら

りよう(龍)

龍 432 1

りようめんきう(陵園宮)

陵園宮 425 ⑥ ⑩ 428 9

りようめんせふ(陵園寺)

陵園寺 425 ⑧

りよしやうぐん(盧將軍)

盧將軍 427 4

りよぼう(呂望)

呂望 420 7

りいわう(厲王)

厲王 435 ②

りうりよう(繚綾)

繚綾 422 ③ ④

りく(祿) ↓ まんろく

祿 420 10

ろくじふ(六十)

六十 407 5

ろすい(瀘水)

瀘水 408 ⑪

わ

わう(王) ↓ けんわう

王 404 ① 405 1 414 6 11 ②

わうきう(王宮)

王宮 418 ④ ④ 429 4 ⑧ 430 2

わうじ(王子)

王子 414 11 431 5

わうじども(王子共)

王子共 405 1 5

わが(我)

我 427 9

わが(我)

我 424 8 426 ⑧

わが(我)

我 433 10 427 9

わが(我)

我 403 ② 409 3 410 ⑦ ⑧ 417 6 412

420 14 ② 429 ⑦ 431 4

わかし(若)

若カリケル

少キ

わかば(若葉)

若葉

わかる(別)

別カレ

別レテ

わかれ(別)

別レ

わく(分)

ハケスシテ

わざ(態) ↓ ことわざ

(態) ハサ

わざ(態) ↓ (態) 事

(態) 事

わざ(態)

(態) ト

わざ(態) はひ(災)

災

わする(忘)

忘レサセシカ

忘レ給ケレハ

可忘日

わたくし(私)

私

わたす(渡)

渡(中止法)

渡ナムトスル

わたる(渡)

[渡](連体法)

わづかなり(僅)

僅ニ

わづらはし(煩)

煩シク

煩(連体法)

わづらはす(煩)

煩ス(連体法)

わづらひ(煩)

ワツラヒ

煩ヒ

わづらふ(煩)

煩フ

わびし(侘)

ハヒシキ

わらは(童)

童

わらふ(笑) ↓ 忍わらふ

嘲ハセム

嘲セム

嘲ラヒ給ケリ

わるし(悪)

笑ヒテ

わるき

わら(我)

吾レ

我レ

我

わら(我等)

我等

み(井)

井

みなか(田舎)

井中

みのこ(豚)

[豚]

ぬひん(溜瀆)

溜瀆^{4E4}

みる(居) ↓ あつまりぬ

る こもりぬる

居テ

居^{3E4}モ

みんきつほ (尹吉甫)

尹^{4E4}吉甫

尹^{4E4}吉甫

尹^{4E4}吉甫

み(畫)

畫

ゑいこうけ(衛公家)

衛公家

夏心(醉) 432 7
 醉テ
 夏み(咲) 418 3
 咲ミ
 夏る(刻) 417 7
 刻ラムヨリハ
 刻ケラレ 417 5
 刻ケラレ
 可刻ラレ 417 9
 可刻ラレ
 削(中止法) 434 3
 削(中止法)
 エリテ 417 9
 エリテ
 夏わらふ(咲嘲) 431 8
 咲嘲ハハヤ事
 夏んきう(圓丘) 406 3
 圓丘
 夏夏 434 3

フサメン 405 4
 治メ御坐サム 429 4
 治ケル 417 7
 治メ給ケル 403 6
 治メ給ハム 431 7
 治サメテ 417 9
 治テ 405 13
 治テ候ケレハ 403 14
 可治舞 404 5
 可治舞
 可治事 407 11
 可治事
 政ヲムル 410 12
 政ヲムル
 治ル 405 12
 治ル
 政ナラハ 409 6
 政ナラハ
 夏さむ(納) 430 11
 不心納
 納ケリ 410 12
 納ケリ
 納ケレハ 410 13
 納ケレハ
 夏しむ(惜) ↓おもんじ 421 7
 夏しむ
 惜セ給 403 6
 惜セ給
 惜ミテ 421 7
 惜ミテ
 惜イテ 421 7
 惜イテ
 惜(連体法) 421 7
 惜(連体法)

夏こころ(男) 412 6
 男コ 427 5
 男 426 3
 男
 夏むな(女) ↓ぎの夏ま 427 5
 夏むな(女)
 な 405 4
 な
 女 407 10
 女
 夏リ(折) 426 4
 夏リ(折)
 折 431 5
 折
 夏リふし(折節) 418 6
 夏リふし(折節)
 比ヲリ 421 9
 比ヲリ
 夏る(折) ↓つき夏る 421 9
 夏る(折)
 折リケル 408 4
 折リケル
 折タリケリ 409 4
 折タリケリ
 折テ 409 3
 折テ
 夏ん(恩) ↓ご夏ん 434 10
 夏ん(恩)
 恩 412 6
 恩
 夏ん(恩) ↓恩祿 424 12
 夏ん(恩)
 恩祿 419 9
 恩祿
 夏以上 419 9

◎原典新樂府よりの引用文（語句）一覽

- 魏微^{ウイ}夢ニ見シカハ子夜ニ泣キ張瑾^{チヤ}哀^{アハ}聞^カカハ辰^{チン}日^ニ哭^クス
- 絃鼓^{ケンコ}一^ト下^カ聲^{シヤウ}スレハ雙袖^{シュウ}テ擎^テカル迴雪^{クワイセツ}飄^{ヒラ}飄^{ヒラ}トシ韓蓬^{カンポン}如^ニ舞^{マシ}（405）
- 梨花^{リカ}園^{エン}中^{チュウ}ニハ冊^{サクシテ}作^ス妃^ト金鷄^{キンキ}障^{サウ}下^カニ養^{ヤシ}レテ爲^ル
- 兒^ニ（406）
- 洲杏^{シュウキョウ}ニ杜若^{トニ}（415）
- 第一^ト第二^ニ絃索^{ケンソク}（413⑤）
- 玉螺^{ギョクカ}一^ト吹^フテ椎髻^{シュイキ}骨^{ツボネ}（414②）
- 驚^{オドロク}テ藏^{カケル}レハ青塚^{セイソウ}ニ寒草^{カンソウ}疎^スナリ儉^{ケン}渡^{ワタ}レハ黃河^{ワウカ}一^ト夜^ヤノ水^{ミヅ}薄^{ウソク}（416⑤）
- 遲^{オソク}ク（416⑤）
- 四海^{シヤイ}（417⑧）
- 宿露^{シュクロ}輕^{ケイ}盈^{エイ}ニ紫艷^{シヤン}朝陽^{チヤウヤウ}照^テ曜^{ヤウ}生^{シヤウ}紅光^{コウカウ}（420⑦）
- 庫車^{コシャ}軟^{ニヤシク}輦^{ハコ}貴^キ公主^{コウシュ}杏^{キョウ}衫^{シヤン}細^{サイ}馬豪^{バコウ}郎^{ロウ}（420⑦）
- 千行^{センカウ}赤^{セキ}英霞^{エイカ}爛^{ラン}ク^ク百枝^{ヒヤクシ}綺^キ焰^{エン}シテ多^タクタリ（420⑧）
- 戲^シ蛛^ソ雙^{スウ}舞^{マシ}着^キ人^ニ久^{キウ}殘^{ザン}鴛^{ウヰン}一^ト聲^{シヤウ}春^{シュン}日^{ニチ}長^{チヤウ}（421⑤）
- 大原^{タイゲン}松^{ソウ}澀^{シヤク}絳^{キョウ}縷^ロ硬^{コウ}蜀^{シヤク}都^ト綉^{シウ}錦^{キン}花^カ冷^{レイ}（421⑥）
- 十家^{ジュウカ}祖^ソ花^カハ九家^{クウカ}ハ畢^{ヘツ}ムレハ虛^{キョ}シク受^{ウケ}吾^ガ君^{キミ}鷓^{セツ}鴒^{レイ}カ^カカ^カホ^ホ（422⑫）
- 織^{オリ}爲^シ塞^{サイ}北^{ペキ}秋^{シュウ}鴈^{エン}行^{カウ}染^{シヤン}作^{サク}江^{カウ}南^{ナン}春^{シュン}水^{スイ}色^{シキ}（422⑤）

- 君^{キミ}又^{マタ}不^フ見^ミ秦^{シン}陵^{レイ}一^ト樹^{ジュ}淚^{レイ}ヲ馬^バ冤^{エン}路^ロ上^{カミ}ニ念^{ネン}陽^{ヤウ}貴^キ（425②）
- 松門^{ソウモン}到^{トウ}曉^{キョウ}月^{ゲツ}徘徊^{ハイ}個^コ栢^{ハク}城^{シヤウ}盡^{ジン}日^{ニチ}風^{フウ}蕭^{シヤウ}瑟^{セツ}松^{ソウ}門^{モン}栢^{ハク}城^{シヤウ}幽^{ユウ}深^{シン}ク
- 聞^{クワン}蟬^{セン}一^ト聽^{テイ}燕^{ケン}感^{カン}「光^{カウ}」陰^{イン}（426②）
- 眼^{ガン}看^{カン}菊^{キク}藥^{ヤク}重^{ジュウ}陽^{ヤウ}梁^{レイ}守^{シュ}把^バ梨^{レイ}花^カ寒^{カン}食^{シキ}心^{シン}（426⑥）
- 嬋^{チエン}娟^{クワン}タル云^{クニ}（427②）

〔追記〕 本稿を成すにあたって、小林芳規先生の御指導を賜りました。記して厚く御礼申し上げます。